

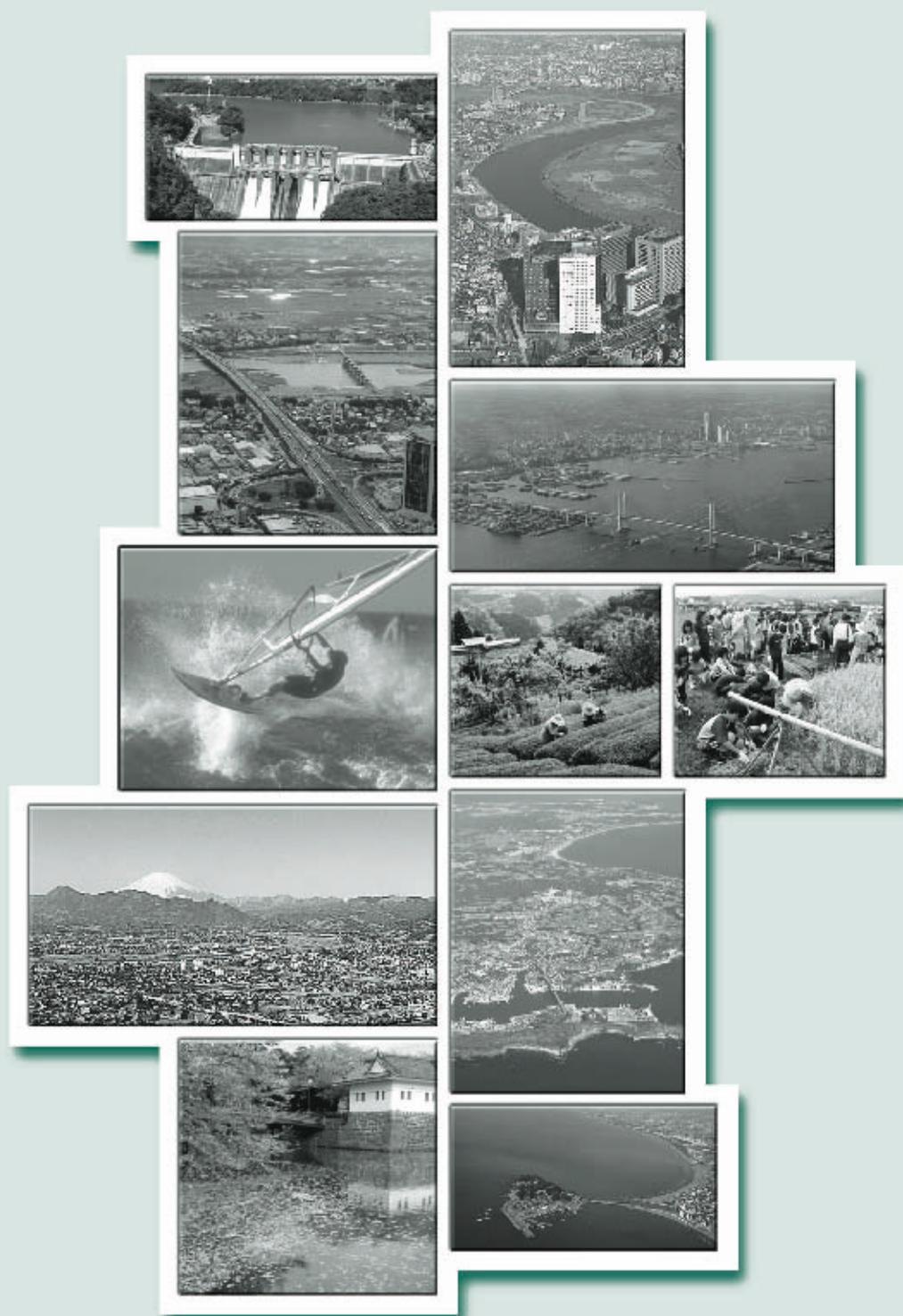


神奈川県

KANAGAWA

神奈川力構想・地域計画

「活力ある地域社会・生きがいのあるくらしの創造」をめざして



平成16年12月



ごあいさつ

神奈川は、横浜、川崎といった大都市を擁する一方で、箱根連山から丹沢に連なる風光明媚な山並みと湖、相模川や酒匂川をはじめとする豊かな川の流れ、三浦半島から湘南、真鶴に至る美しい海岸線というように、地域ごとに多様な自然環境に恵まれています。こうした多彩な県土に、古都鎌倉、城下町小田原に代表されるような歴史と文化が息づき、また日本の文明開化や近代化をけん引してきた工業力、技術力が集積し、進取の気風に富んだ人材があふれています。

県では、本年3月に『活力ある地域社会・生きがいのあるくらしの創造』を目指し「神奈川力構想・プロジェクト51」を策定したところですが、このたび、地域の個性ある発展を図るため、市町村との共同作品として、地域の将来像と諸施策を明らかにした「神奈川力構想・地域計画」を策定しました。

計画の策定にあたりましては、市町村の方々の参画を得て各地区に設置した地区地域計画策定推進会議での検討をもとに、総合計画審議会でも熱心なご審議をいただくとともに、県民の皆様から頂いたご意見を反映させ、県議会においてご議決をいただきました。

今日、地域社会が大きく変化する中で、さまざまな課題がありますが、私は、神奈川の有する豊かな潜在力、『神奈川力』を結集することで、個性豊かで活力のある地域として、さらに発展することができると思っています。

計画の推進にあたっては、県民の皆様、そして市町村の皆様と力を合わせ、全力を尽くして取り組んでまいりたいと思います。

今後とも、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成16年12月

神奈川県知事 松沢 成文

神奈川力構想・地域計画

○ はじめに 1

1 計画策定の趣旨 1

2 計画の性格 1

3 計画の構成 1

第1章 神奈川の地域のすがた 3

1 地域政策圏の設定 4

2 地域区分設定の考え方 6

3 各地区の現状 8

第2章 各地区の将来像と地域プロジェクト 17

各地区の計画の構成／凡例 18

1 **国際文化交流都市圏** 20

I **川崎地区 時代を先駆ける国際環境創造都市・川崎** 22

□ 地域の将来像 22

□ 地域プロジェクト 24

1 地域の活力があふれるまちづくり 24

2 快適で安全な暮らしを支えるまちづくり 26

3 環境にやさしいうるおいのあるまちづくり 29

□ 川崎地区で展開される主な取組み 30

II **横浜地区 世界に開かれた文化芸術創造都市・横浜** 34

□ 地域の将来像 34

□ 地域プロジェクト 36

1 国際性豊かな交流・集客のまちづくり 36

2 うるおいのあるみどり豊かなまちづくり 40

3 心豊かな暮らしを彩る県民活動の支援 41

□ 横浜地区で展開される主な取組み 42

III **横須賀三浦地区 ー 海・みどり、歴史、活力 ー まるごと公園半島** 46

□ 地域の将来像 46

□ 地域プロジェクト 48

1 海とみどり豊かな半島づくり 48

2 産業の活力あふれる半島づくり 49

3 やすらぎ・うるおい・にぎわい半島づくり 51

□ 横須賀三浦地区で展開される主な取組み 54

2 環境共生生活都市圏	58
IV 津久井地区 森と湖の都 人と自然と産業が共生するまち・津久井	60
<input type="checkbox"/> 地域の将来像	60
<input type="checkbox"/> 地域プロジェクト	62
1 水源地の豊かな自然を守り活用した魅力ある地域づくり	62
2 都市との交流による魅力ある産業づくり	63
3 地域に活力を与える道路などの基盤整備	66
<input type="checkbox"/> 津久井地区で展開される主な取組み	68
V 県央地区 うるおいと活力にあふれる快適環境都市圏・県央	72
<input type="checkbox"/> 地域の将来像	72
<input type="checkbox"/> 地域プロジェクト	74
1 自然と共生するうるおいのあるまちづくり	74
2 安心して快適にらせるまちづくり	76
3 産業の創出・活性化と地域振興によるまちづくり	78
<input type="checkbox"/> 県央地区で展開される主な取組み	80
VI 湘南地区 地域力がいきづく躍動都市圏・湘南	84
<input type="checkbox"/> 地域の将来像	84
<input type="checkbox"/> 地域プロジェクト	86
1 湘南の海、大地、風と共生する都市圏の整備	86
2 湘南の暮らしと文化を支える交通ネットワークの形成と拠点整備	88
3 湘南の地域力を活用した産業の振興	89
<input type="checkbox"/> 湘南地区で展開される主な取組み	92
3 緑住快適交流都市圏	96
VII 足柄上地区 活力と魅力あふれる快適環境生活圏・足柄	98
<input type="checkbox"/> 地域の将来像	98
<input type="checkbox"/> 地域プロジェクト	100
1 産業や定住を支える基盤整備と企業誘致による活力づくり	100
2 観光基盤の整備と地域資源の活用による交流の地域づくり	102
3 農山村の資源を生かした元気づくり	104
4 県民との協働・連携による水源の環境づくり	105
<input type="checkbox"/> 足柄上地区で展開される主な取組み	106
VIII 西湘地区 いきいき観光交流都市・西湘	110
<input type="checkbox"/> 地域の将来像	110
<input type="checkbox"/> 地域プロジェクト	112
1 地域資源を生かし世界に開かれた観光の魅力づくり	112
2 活力ある産業づくりと魅力ある中心市街地づくり	114
3 交流・連携を支える道路網などの整備	117
<input type="checkbox"/> 西湘地区で展開される主な取組み	118
○ 計画の推進にあたって	122
付属資料	123

はじめに

1 計画策定の趣旨

大きな時代の変動期にある中、本県では、2003（平成15）年度に、これまでの取組みを継承しつつ、神奈川の持つ多彩な力を生かし、新しい課題にも果敢に挑戦することを基本に、「神奈川力構想・プロジェクト51」を策定しました。

その策定にあたっては、地方分権改革が進展する状況の中で改めて地域計画の必要性やあり方に関する市町村の意見を十分に踏まえることとし、意見交換などに努めた結果、2004（平成16）年中に新たな地域計画を策定することとしました。

「神奈川力構想・地域計画」は、それぞれの地域の持つ個性や活力を生かした取組みを明らかにするものであり、地域主権の観点から、市町村との共同作品として、それぞれの地域ごとの特性や課題を踏まえて策定しました。

2 計画の性格

「神奈川力構想・地域計画」は、これまでの取組みを継承するとともに、「神奈川力構想・プロジェクト51」の「神奈川のめざすすがた」及び「施策展開の3つの基本的視点」である〈民との協働〉、〈地域からの改革〉、〈新しい神奈川の創造〉の各視点も念頭におきつつ、それぞれの地域ごとに、地域の課題を積極的に受け止め、個性を生かした、地域の将来像とその実現のための施策を示すものとしします。

3 計画の構成

全体構成は表のとおりとし、それぞれの地域ごとの計画は、地域の将来のビジョンを示す「地域の将来像」及び、その実現のために取り組む県、市町村、民間などの施策・事業からなる「地域プロジェクト」で構成します。

章 立 て	項 目	内 容
第1章 神奈川の地域のすがた	1 地域政策圏の設定	・ 地域政策圏設定の考え方と、各地域政策圏の範囲などについて示します。
	2 地域区分設定の考え方	・ 地域計画の単位となる地域区分設定の考え方とその範囲などについて示します。
	3 各地区の現状	・ 地区を全県横断的に見て、各地区の課題の前提となる社会環境について示します。
第2章 各地区の将来像と 地域プロジェクト	○ 各地域政策圏の施策の方向（3圏） [計画期間：概ね10年後（2015（平成27）年）]	・ 地域政策圏の形成の方向と地区を越える広域課題を踏まえた連携の方向を示します。
	○ 地区（8地区）	
	地域の将来像 [計画期間：概ね10年後（2015（平成27）年）]	・ 地域の課題を踏まえ、地域の個性を生かした地域形成の将来展望を示します。 ・ 地域の課題を的確に把握し、今後の進行管理の中で地域の変化を県民に対してわかりやすく示すために、数値データ（指標）を設定します。 ・ 中長期的な視点に立った施策の基本方向を図示します。
	地域プロジェクト [計画期間：計画決定時～2006（平成18）年度]	・ 地域の課題に対応して、特色ある地域づくりを行うために、「地域の将来像」を実現する県及び県と関わりのある市町村・民間などの行う施策・事業を示します。
	地区で展開される主な取組み	・ 地域における県の取組みを体系的に示した一覧表を示します。



第1章

神奈川の地域のすがた

- 1 地域政策圏の設定
- 2 地域区分設定の考え方
- 3 各地区の現状

1 地域政策圏の設定

- 神奈川は、丹沢から足柄の山々、湖、相模川や酒匂川とその周りに広がる相模平野や足柄平野、三浦から多摩、武蔵野へと続く丘陵・台地、東京湾と相模湾を分ける三浦半島など、豊かな自然に恵まれています。一方で、首都圏に位置し、交通網をはじめとする利便性の高い都市的インフラが整備され、日本有数の産業の集積や、高い技術力も持っています。これら神奈川の魅力は、地域にくらす人々の生活を多彩なものにしています。
- 「神奈川力構想・プロジェクト51」では、県土づくりの基本的方向を次のとおり示しておりますが、「神奈川力構想・地域計画」においても同様の考えに基づき、地域政策圏を設定しています。

(1) 県土形成の基本的方向

神奈川は、首都圏にありながら豊かな自然に恵まれ、人々のにぎわいや産業の集積が進んでいる大変多彩な風土を持っています。

その中で、これまで神奈川は、業務機能やものづくりなどの面で首都機能の一翼を担うとともに、過度な開発を抑制することによって、良好な都市環境の保全に努めてきました。

今後の県土づくりでは、引き続き東西バランスに配慮し、県土の均衡ある発展をめざしつつ、地域の資源や個性を生かし、多様で豊かな県民生活を支え、次の世代に良好な県土を引き継ぐ観点から県土政策を進めていきます。

このことを通して、新たな活力と魅力にあふれ、また、安全で環境に配慮した県土形成に努めます。

- 人々の生活と自然の重視
- 南北の結びつきの重視
- 隣接する都県との交流圏域の重視
- 首都圏における連携
- 都市再生などの取組みへの対応

(2) 地域政策圏形成の基本的方向

県土形成にあたっては、水、みどり、空間などの自然の連続性や将来の交通基盤の整備状況、人々の活動の広がりなどをベースに、地域の特性を生かした地域づくりを進めます。そのため、県内に「国際文化交流都市圏」「環境共生生活都市圏」「緑住快適交流都市圏」の3つの地域政策圏を設定しています。今後もそれぞれの地域政策圏の形成の基本的方向に沿って、様々な取組みを進めるとともに、地域主体のまちづくりに配慮した土地利用を進めます。

- ① **国際文化交流都市圏**（多摩川、鶴見川流域、多摩・三浦丘陵を一体としてとらえた、川崎・横浜、三浦半島を含む県東部の地域）

→p.20※

- ② **環境共生生活都市圏**（丹沢から相模川や境川、引地川、金目川の流域を一体としてとらえた、津久井から県央、湘南を含む県中央部の地域）

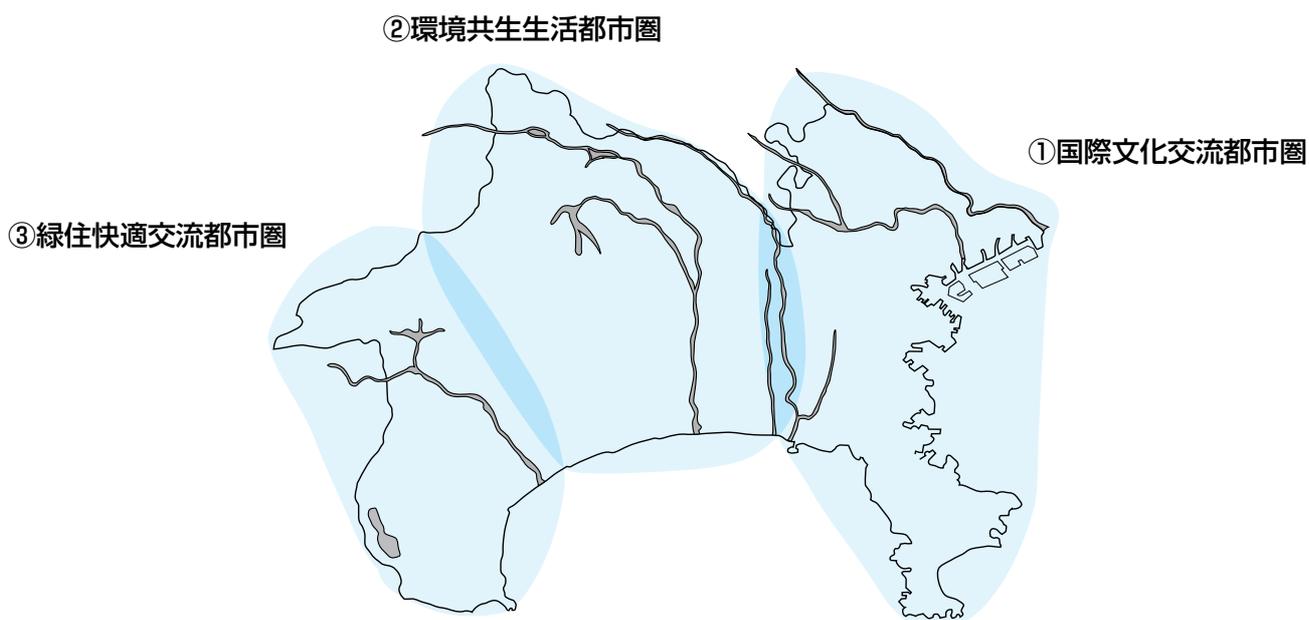
→p.58※

- ③ **緑住快適交流都市圏**（丹沢、酒匂川流域を一体としてとらえた、足柄上から西湘に至る県西部の地域）

→p.96※

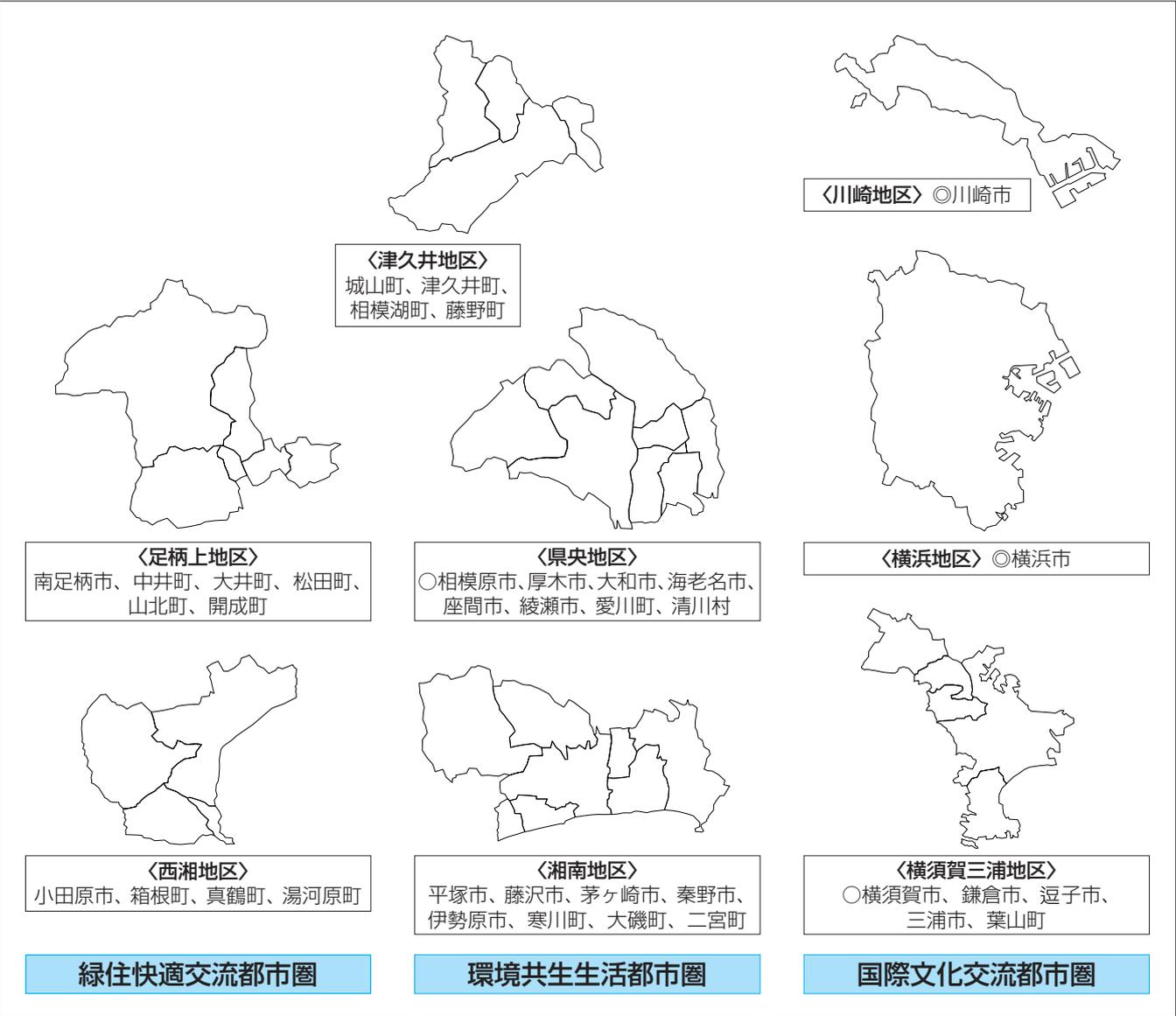
※それぞれの地域政策圏形成の基本的方向は、各ページに記載しています。

〈地域政策圏域図〉



2 地域区分設定の考え方

- 神奈川では、時代の流れとともに、社会経済環境が大きく変化してきている中で、様々な分野で行政需要が多様化、複雑化するとともに、人々の生活圏域の広がりもあいまって、地域における課題も広域化、重層化してきています。これらの課題に対応するには、ある程度まとまりのある地域が共有する課題に対して、市町村の取組みも含めた一体的な対応を行っていくことが効果的です。
- 「神奈川力構想・プロジェクト51」では、県内に「国際文化交流都市圏」「環境共生生活都市圏」「緑住快適交流都市圏」の3つの地域政策圏を設定しましたが、より地域に即した課題への対応として、まとまりのある地区を単位とした課題の抽出と、その解決に向けた地域プロジェクトを推進していくため、3つの地域政策圏に人々の通勤・通学圏や商圈などの生活の広がりを加味して、下図のとおり地域区分を設定しました。
- 地域区分により、完全に完結した地区となるわけではありませんので、むしろ各地区を完結して捉えるのではなく、地区が連携しながらそれぞれの地区の個性を生かしていくことが大切です。そこで、「神奈川力構想・地域計画」では地区を越えた広域課題への対応も考慮していきます。



◎…政令指定都市 ○…中核市



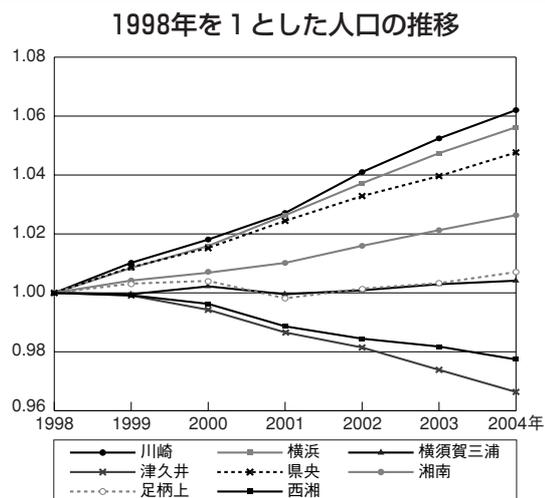
3 各地区の現状

- 「神奈川力構想・プロジェクト51」の「神奈川のめざすがた」では全県的な「時代の変化と今後の見通し」を明らかにしましたが、県内の各地区に目を移してみると、それぞれの地区の特徴が浮かび上がってきます。
- 第2章では、各地区で「地域の課題」を設定し、それを表す「数値データ（指標）」をとりあげていますが、その前提としてここでは、各地区を横断的に地域の現状を概観します。

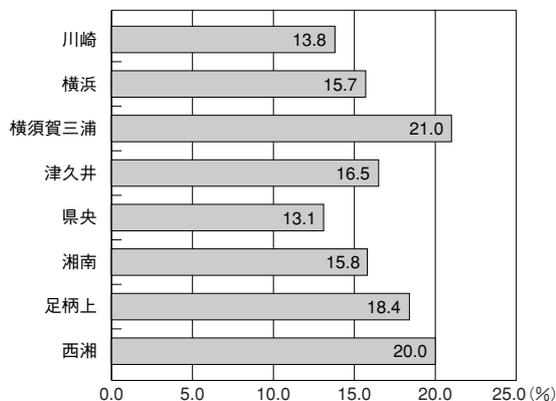
(1) 人口動態（少子・高齢化）

人口の推移は、川崎、横浜、県央及び湘南の各地区では緩やかながら増加が続いていますが、横須賀三浦、足柄上、西湘、津久井の各地区では横ばいないしは緩やかながら減少が始まっています。

また、全県では、2004（平成16）年1月1日現在での65歳以上の人の割合は15.7%であり、高齢社会*1となっていますが、地区別に見ると、横須賀三浦及び西湘地区ではすでに20%を超えている一方で、川崎、県央の両地区では、14%を超えていません。



65歳以上人口の割合（2004年1月1日現在）



（単位：人）

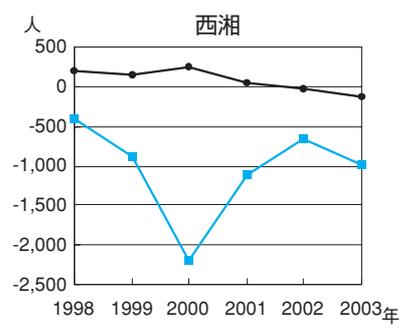
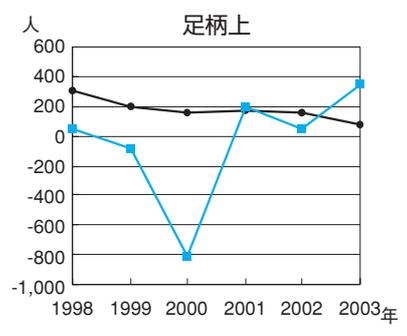
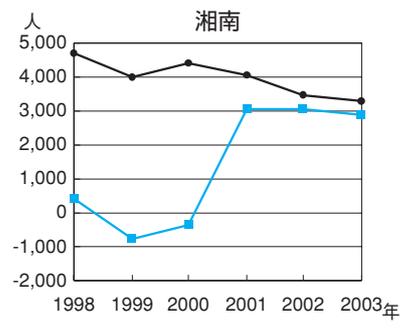
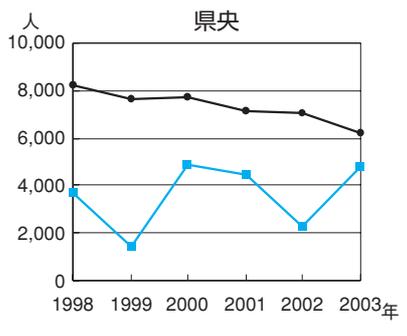
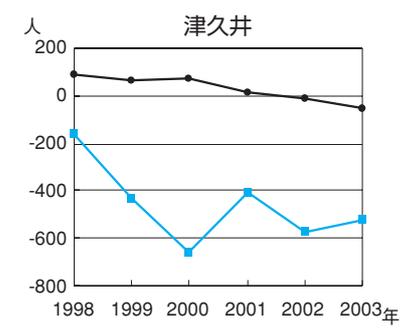
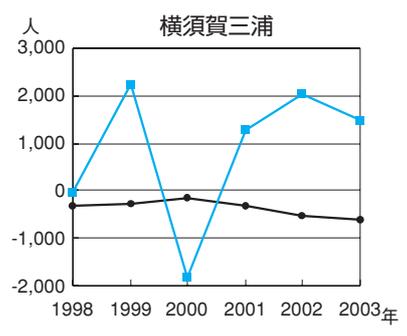
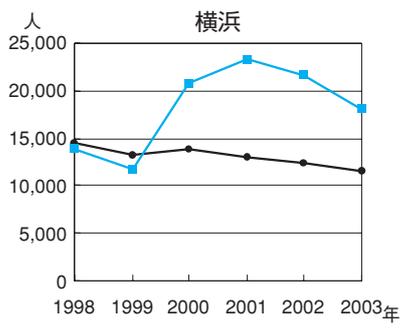
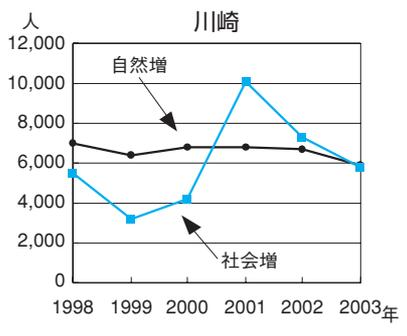
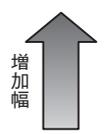
	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	全県に占める割合
川崎	1,219,475	1,231,927	1,241,552	1,252,540	1,269,469	1,283,411	1,295,121	14.9%
横浜	3,344,654	3,372,916	3,397,895	3,432,703	3,469,108	3,503,182	3,532,691	40.6%
横須賀三浦	737,089	736,750	738,715	736,750	737,741	739,258	740,132	8.5%
津久井	76,534	76,464	76,094	75,507	75,115	74,534	73,960	0.9%
県央	1,375,276	1,387,227	1,396,261	1,408,882	1,420,461	1,429,777	1,440,818	16.6%
湘南	1,221,025	1,226,126	1,229,374	1,233,445	1,240,509	1,247,009	1,253,208	14.4%
足柄上	111,082	111,430	111,534	110,875	111,242	111,450	111,867	1.3%
西湘	255,702	255,496	254,749	252,796	251,727	251,044	249,923	2.9%
全県	8,340,837	8,398,336	8,446,174	8,503,498	8,575,372	8,639,665	8,697,720	100.0%

各年1月1日現在の人口

「神奈川県人口統計調査」「神奈川県年齢別人口統計調査」より作成

*1 高齢社会：一般に、高齢化率（65歳以上の人の割合）が7%を超えた社会を「高齢化社会」、14%を超えた社会を「高齢社会」と呼んでいます。（「高齢社会白書」内閣府編（2003年版））

各地区人口の自然増、社会増の推移



「神奈川県人口統計調査」より作成

自然増については、川崎、横浜、県央、湘南及び足柄上地区ではプラスですが、横須賀三浦、津久井及び西湘地区では、マイナスとなっています。また、自然増がある地域でもその増加幅は低下傾向にあります。

社会増については、川崎、横浜、横須賀三浦、県央、湘南及び足柄上地区では最近3年間、プラスが続いていますが津久井及び西湘地区ではマイナスが続いています。また、社会増が続いている地区でも、川崎及び横浜地区では2年間連続で増加幅が減少、県央及び足柄上地区では再び上昇などの動きが見られますが、傾向は一定していません。

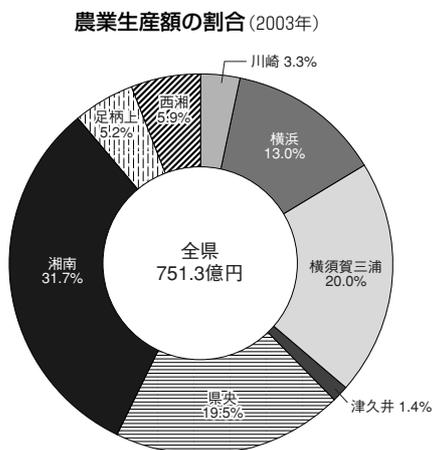
人口の推移は地域の差があると言え、それぞれの特徴に応じた対応が求められています。

(2) 産業・経済

県内の各地域ではそれぞれの地域資源を生かした産業が活発に行われていますが、我が国の経済の低迷が続く中で、地域経済にもその影響が現れており、生産年齢人口の減少もあいまって、地域経済の基盤が弱まってきています。

それぞれの地域の特徴を生かしながら、地域経済の活性化に取り組んでいく必要があります。

農業産出額を見ると、県内では、横須賀三浦、県央及び湘南の3地区で県内の約4分の3を占めています。



(単位：億円)

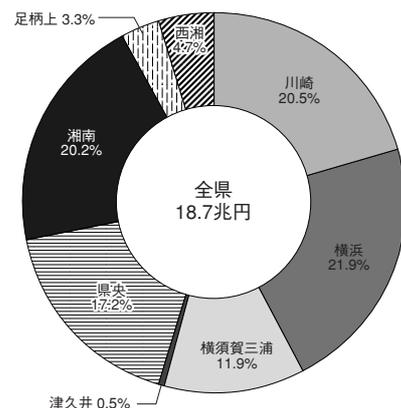
	1999	2001	2003
川崎	34.0	26.8	25.1
横浜	138.3	105.3	97.7
横須賀三浦	132.4	220.6	150.3
津久井	13.1	11.5	10.5
県央	154.7	147.1	146.5
湘南	268.7	248.8	238.2
足柄上	43.9	38.8	39.0
西湘	47.9	44.4	44.0

2003年は概算
「神奈川県農林水産統計年報」より作成

製造品出荷額等では、川崎、横浜、県央及び湘南の4地区が約20%でほぼ同じ割合となっています。

その推移を見ると、長期的には低下傾向ですが、回復の兆しも見られます。

製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)の割合 (2003年)



(単位：億円)

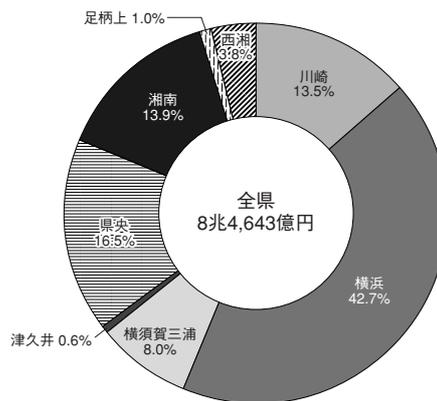
	1999	2001	2003
川崎	43,463	38,268	38,354
横浜	49,616	44,988	40,972
横須賀三浦	20,889	20,746	22,249
津久井	1,018	1,369	851
県央	41,604	38,356	32,150
湘南	42,396	40,608	37,909
足柄上	5,750	5,767	6,171
西湘	8,441	9,000	8,799

2003年は速報値
「神奈川県工業統計調査結果報告」より作成

商店街など地域に密着している小売業の年間商品販売額の割合は、各地区の人口比に近い割合です。

その動向を見ると、横須賀三浦、津久井、県央、湘南及び西湘地区で販売額の低下が続いています。

小売業の年間商品販売額の割合 (2002年)



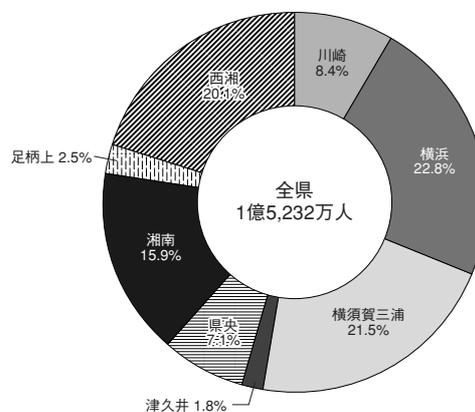
(単位：億円)

	1997	1999	2002
川崎	11,018	11,754	11,402
横浜	37,488	39,144	36,181
横須賀三浦	7,535	7,242	6,761
津久井	518	498	484
県央	14,907	14,824	13,996
湘南	13,025	12,919	11,791
足柄上	934	951	836
西湘	3,359	3,256	3,192

「神奈川県商業統計調査結果報告」より作成

観光産業はこれからの成長が見込まれ、地域資源の活用を図り定住人口だけでなく交流人口を増やすことは地域の活性化につながることを期待されています。入込観光客数は横浜、横須賀三浦、湘南及び西湘地区のウエイトが高くなっています。

入込観光客数の割合 (2003年)



(単位：千人)

	2001	2002	2003
川崎	12,811	11,766	12,764
横浜	33,784	34,536	34,665
横須賀三浦	32,407	32,676	32,770
津久井	2,691	2,651	2,688
県央	8,576	11,503	10,757
湘南	22,919	22,564	24,273
足柄上	3,415	3,497	3,834
西湘	30,146	29,755	30,576

「神奈川県入込観光客調査報告書」(神奈川県観光振興対策協議会)より作成

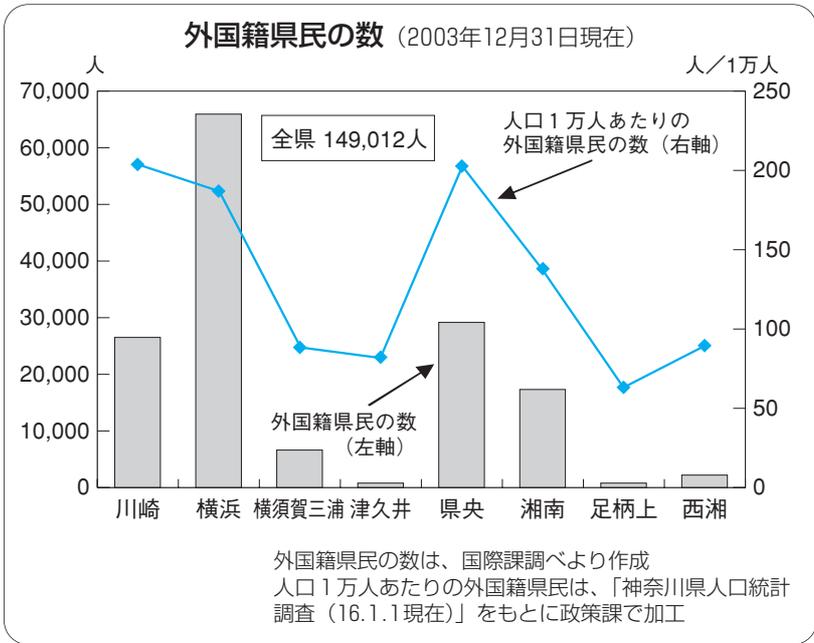
注) 大和市は2002(平成14)年から調査実施
中井町、大井町、開成町は2003(平成15)年から調査実施
綾瀬市は調査を実施していない

(3) 県民生活

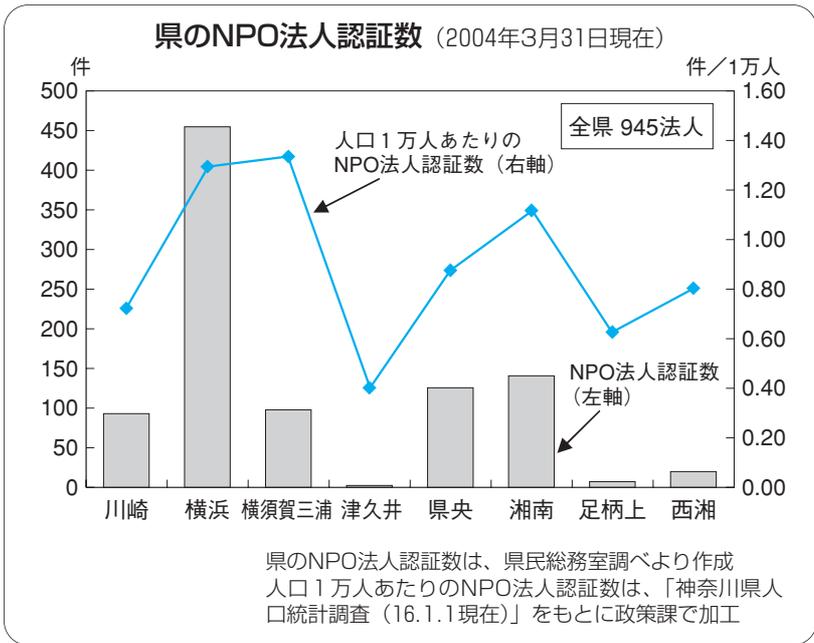
ライフスタイルの多様化やボーダレス化の流れの中で、外国籍県民の数の増加や、NPO*1をはじめとする県民の自主的な活動が活発になるなど、県民生活・県民意識も時代とともに変化してきています。

また、都市化の進展などにより、地域のコミュニティ機能が低下しており、安全で安心してくらせる社会づくりが求められています。これらの変化の中にも地域の特徴が見られます。

国境を越えた人、ものの移動がますます活発化してくる中で、外国籍県民が今後も増加する見込みですが、人口比では川崎、横浜及び県央地区が多くなっています。



県認証の特定非営利活動法人 (NPO法人) は、横浜地区に主たる事務所を置くものが多くなっています。また、人口1万人あたりでは、横浜及び横須賀三浦地区で多くなっています。



* 1 NPO…Non-Profit Organization (民間非営利団体) の略。本計画では「ボランティア活動を行う特定非営利活動法人 (いわゆるNPO法人) 及び法人格を持たない団体」をいいます。

高等教育機関である大学などの数は、横浜、県央、湘南地区の順となっています。

産学公連携による産業振興が活発化してくるなど、地域社会の中で、大学などに存在感が出てきています。

大学院・大学・短大の数 (2003年4月現在)

(単位：校)

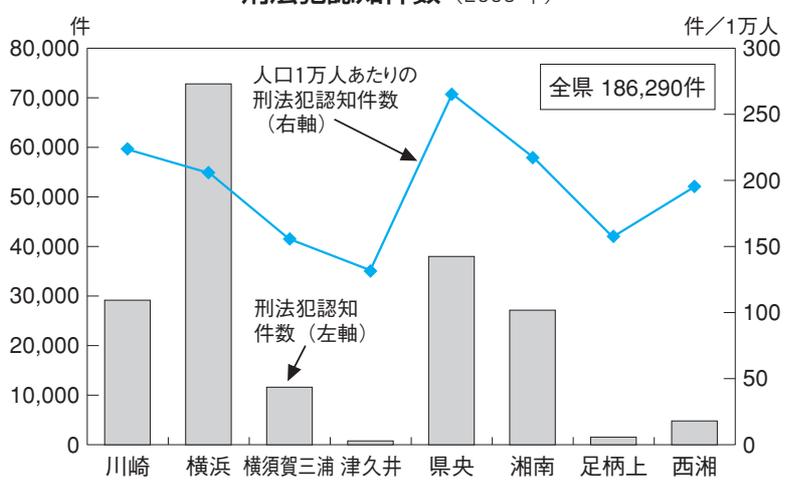
川崎	10
横浜	21
横須賀三浦	6
津久井	1
県央	16
湘南	14
足柄上	0
西湘	2

政策課調べ

注) 複数市町村に学部がある場合は、それぞれ集計

都市化の進展などにより、コミュニティ機能が弱まるとともに、人々のモラルの低下が進行する中で、身近な犯罪が多発していますが、人口1万人あたりの刑法犯認知件数で見ると、県央、川崎、湘南地区の順となっています。

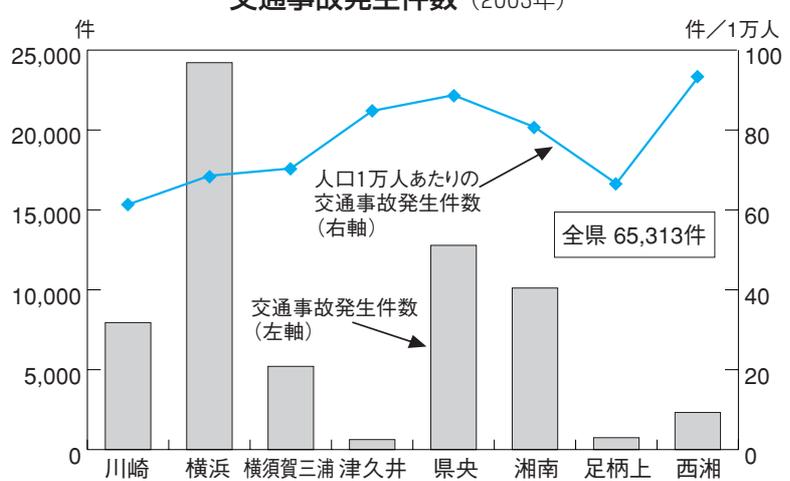
刑法犯認知件数 (2003年)



刑法犯認知件数は、警察本部調べより作成
人口1万人あたりの刑法犯認知件数は、「神奈川県人口統計調査 (16.1.1現在)」をもとに政策課で加工

人口1万人あたりの交通事故の発生件数では津久井、県央、湘南及び西湘の各地区で比較的多くなっています。

交通事故発生件数 (2003年)



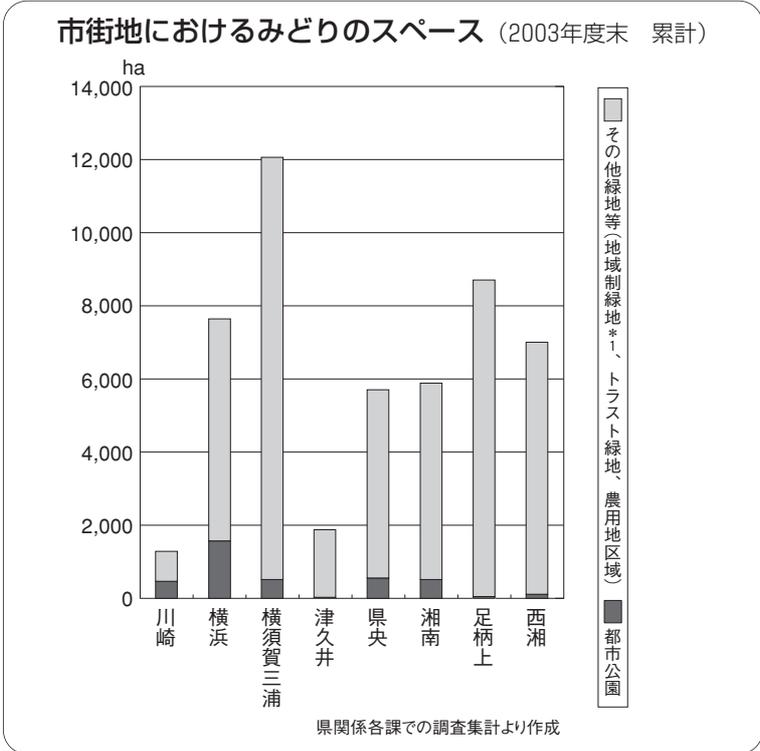
交通事故発生件数は、警察本部調べより作成
人口1万人あたりの交通事故発生件数は、「神奈川県人口統計調査 (16.1.1現在)」をもとに政策課で加工

(4) 自然・環境

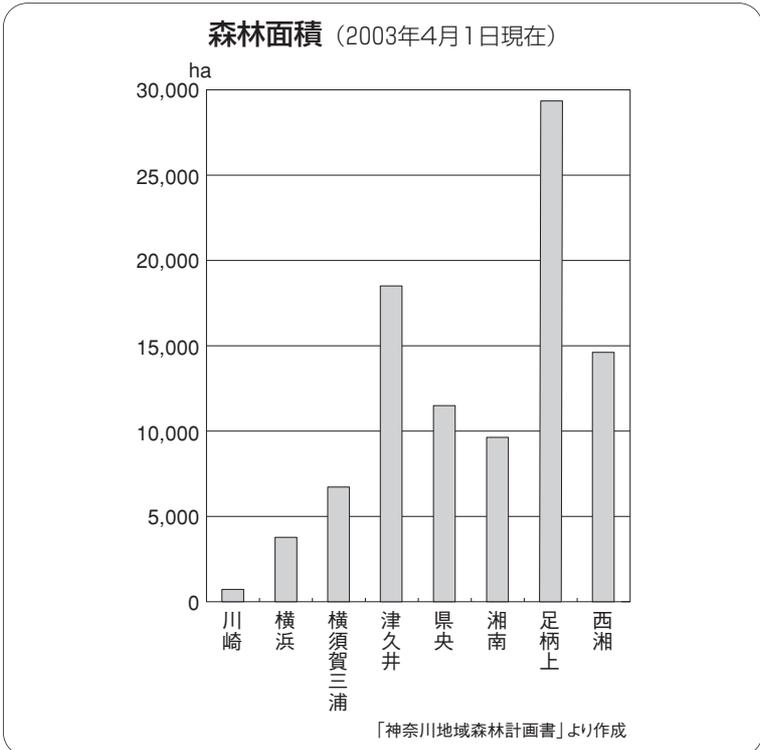
多様で豊かな自然環境に恵まれている神奈川ですが、近年の著しい都市化の進展などにより緑地の減少が進んでいます。良好な自然環境を将来の世代に引き継ぐため、各地域の特徴に応じた取組みを行っていく必要があります。

また、近年、さまざまな環境問題が生じているなかで、とりわけ廃棄物の問題は、地域の課題として現れており、発生抑制・資源化・適正処理とあわせて、不法投棄の防止対策を推進する必要があります。

都市のみどりを保全していくため、緑地の保全や都市公園の整備など、各地域で取組みが進められています。



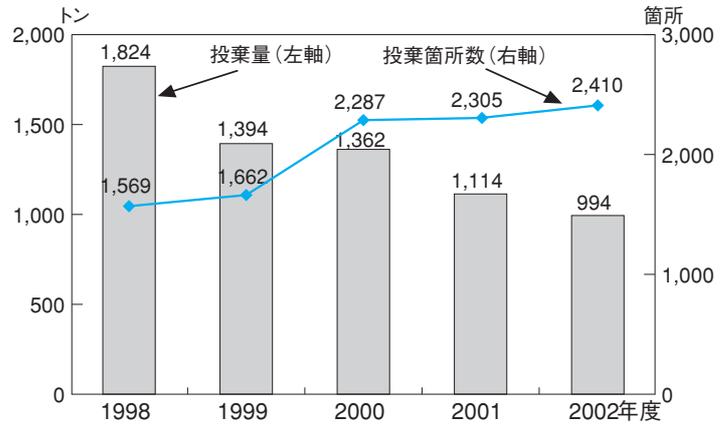
森林は清浄な空気や貴重な水などを生む母体としての役割を担ってきました。また、地域の文化にあった森林の在り方なども求められています。神奈川の森林は、足柄上、津久井及び西湘地区などに多く広がっています。



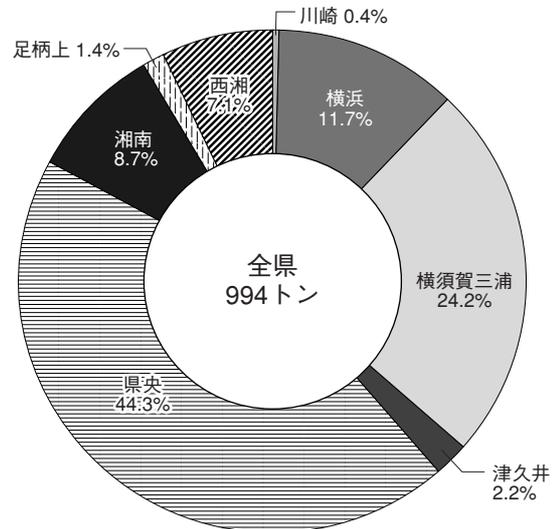
* 1 地域制緑地…首都圏近郊緑地保全法などの法律や条例などにより保全されている緑地。

不法投棄箇所数は増加傾向にあるものの、不法投棄量は減少傾向にあります。こうした中で、2002（平成14）年度の不法投棄量の地区別割合を見ると、県央地区で44.3%、横須賀三浦地区で24.2%、横浜地区で11.7%などとなっています。

県全体の不法投棄の推移



不法投棄量の割合 (2002年度)



(単位：トン)

	2000	2001	2002
川崎	6	6	4
横浜	91	89	116
横須賀三浦	348	325	241
津久井	79	30	22
県央	609	547	440
湘南	77	106	86
足柄上	76	7	14
西湘	77	7	71

廃棄物対策課調べ（毎年度末の市町村との合同パトロールなどで確認した不法投棄の量・箇所数）より作成

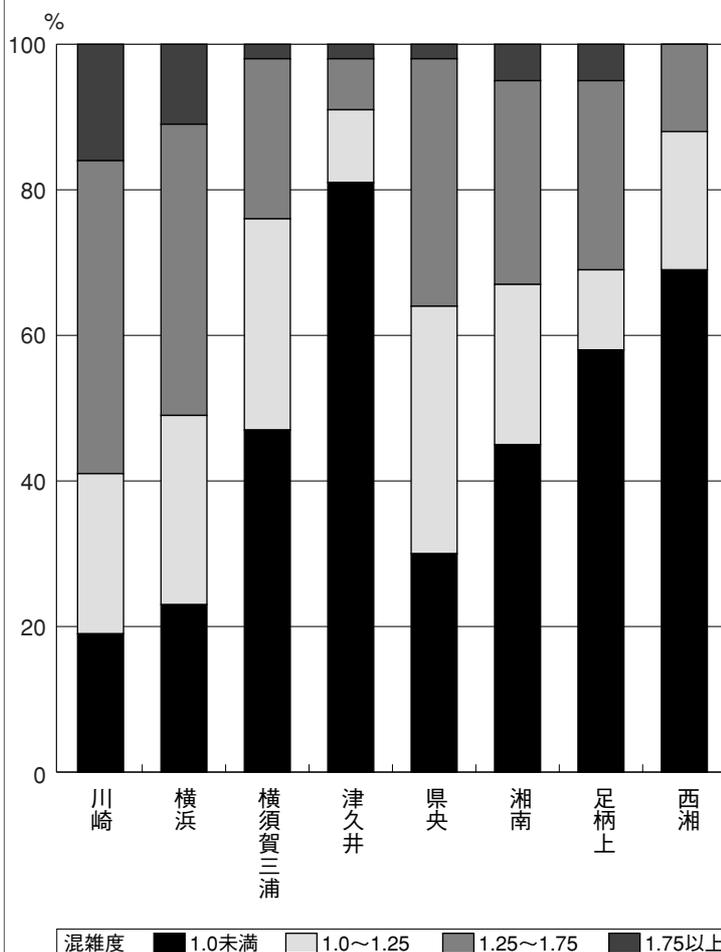
※各地区ごとにトン未満を四捨五入しているため、各地区投棄量の合計と県全体の投棄量は一致しない。

(5) 交通基盤

混雑度*1が1.0未満の箇所の割合は川崎、横浜、県央地区が低く、円滑に走行できる箇所が少ないことがわかります。

ただし、特定の箇所の混雑度が高いことが、地区の課題となっているケースもありますので、それぞれの地域の特徴に応じた対策が必要です。

混雑度の箇所の割合 (1999年度)



「道路交通センサス」より作成

注) 高速自動車国道、都市高速道路を除く

混雑度	推定される交通状況
1.0未満	昼間12時間を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる状況。
1.0~1.25	昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1~2時間(ピーク時間)ある状況。
1.25~1.75	ピーク時のみの混雑から日中に連続的混雑が生じる過渡的な状況。
1.75以上	日中に慢性的に混雑している状況。

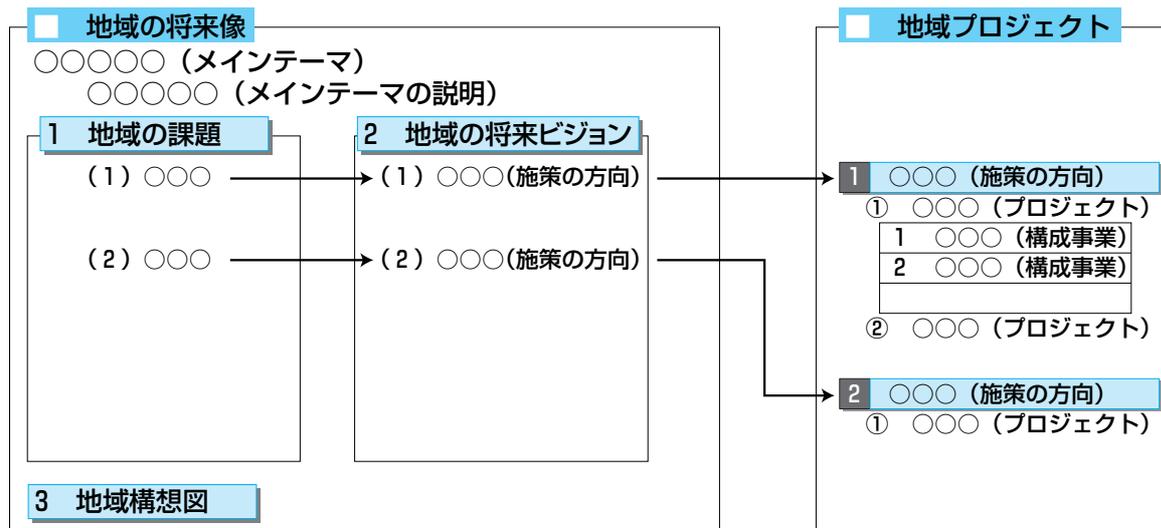
* 1 混雑度…道路の混雑の程度を表す指標で、道路の持つ交通容量(交通を通すことができる能力)に対する実際の交通量の比で示されます。数値が大きくなるほど、混雑程度の悪化を示します。

第2章

各地区の将来像と地域プロジェクト

- I 川崎地区
- II 横浜地区
- III 横須賀三浦地区
- IV 津久井地区
- V 県央地区
- VI 湘南地区
- VII 足柄上地区
- VIII 西湘地区

各地区の計画の構成



凡例

■地域の将来像

概ね10年後（2015（平成27）年）を見通して、地域の課題を踏まえ、地域の個性を生かした地域形成の将来展望を示しています。

<地域の課題>

地区内の市町村などで共通の課題や地域の個性を踏まえて対応すべき課題を示しています。

<地区の数値データ（指標）>

「地域の課題」を解決し、「地域の将来像」の実現に向けて、様々な主体が共有でき、計画の推進にあたって地域の変化を県民の皆さんが判りやすく把握できるよう、数値データ（指標）を設定しています。

基礎データ	
・ 総人口	○○○○人 (○○%)
・ 総面積	○○km ² (○○%)

※（ ）内は全県に占める割合

総人口 「神奈川県人口統計調査」より（2004年1月1日現在）

総面積 「全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）」より（2003年10月1日現在）

* 平塚市、茅ヶ崎市、大磯町の面積は境界未定のため、総務省自治行政局発行の全国市町村要覧（平成15年度版）に記載されている便宜上の概算数値。

○指標名

2000	2001	2002
○○ (○○%)	○○ (○○%)	○○ (○○%)

（ ）内は全県に占める割合

<地域の将来ビジョン>

地域の課題を踏まえて、概ね10年後の将来ビジョンを示しています。

<地域構想図>

中長期（概ね10年）を見通した地域づくりのための県や市町村の主な構想、事業や、これらと関係する主な計画道路を図示しています。

■地域プロジェクト

「地域の将来像」で設定した地域の課題に対応して、特色ある地域づくりを行うため、2004(平成16)年度から2006(平成18)年度までに取り組む国、県、市町村、民間などの事業を示しています。

○県の関わりについて

地域プロジェクトには、県の事業だけでなく、県の関わりのある市町村や民間の事業を掲載しています。県と市町村の共同作品というこの計画の性格に基づき、地域の課題に対応して県と市町村などが連携した取組みを示すとともに、民間と協働した地域づくりの取組みを示しています。

それぞれの構成事業について、県と市町村、民間の役割分担を明確にするため、県の関わり欄を設けました。

また、計画策定や調査の段階と、事業実施の段階が明確になるように、工程を帯で示し、取り組む内容をできるだけ詳しく記述しました。

構成事業名	事業を直接行う事業主体を記載しています。			年度単位で取り組む内容を記載しています。	2006年度に取り組む内容が2007年度以降も継続する場合	県の関わり
	2004	2005	2006	2006		
1 ○○の整備	(県)	○○の整備				事業実施
2 ○○の推進	(○○市、民間)	○○の調査		△△の実施		事業支援・連携

2006年度に取り組む内容が終了、または2007年度以降の工程が未定の場合

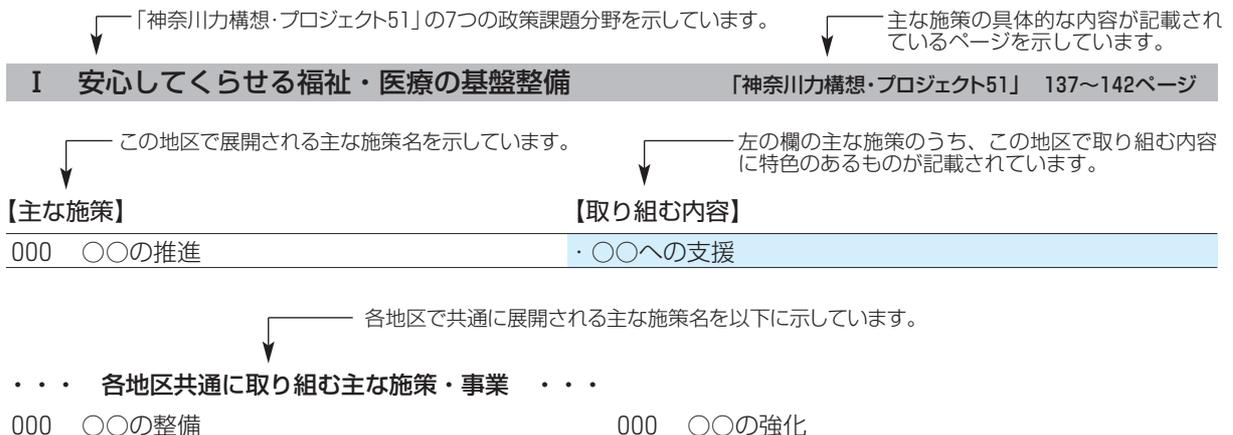
- ・ 「事業実施」は、県が直接事業を行う場合。事業の中には計画策定や調査なども含まれます。
- ・ 「事業支援」は、市町村や民間などが行う事業に県が補助などの財政的支援や、技術的支援を行う場合。技術的支援とは、例えば、各種計画の策定や調査への助言、誘致などの活動に対する支援、アドバイザーの派遣、あるいは事業推進を図るために県が行う関係機関との調整などを指します。
- ・ 「事業連携」は、市町村や民間が行う事業、計画策定や調査などで、県と市町村や民間が共通の目的のもとに、連絡会議を開くなど連携して行う場合。

■地区で展開される主な取組み

「神奈川力構想・プロジェクト51」の実施計画に記載されている「主な施策・事業」及び「まちづくり事業」のうち、当該地区で展開される県の取り組む主なものを紹介しています。

○○地区で展開される主な取組み

「神奈川力構想・プロジェクト51」の実施計画に記載されている「主な施策・事業」及び「まちづくり事業」のうち、○○地区で展開される主なものを紹介します。



1 国際文化交流都市圏

多摩川、鶴見川流域、多摩・三浦丘陵を一体としてとらえた、川崎・横浜、三浦半島を含む
県東部の地域

■ 地域政策圏形成の基本的方向

世界と神奈川の交流・結節地域として、世界とつながる産業と文化の発信都市をめざし、これまでの産業と文化の集積を生かした生活環境や生産環境を整備します。

横浜・川崎地区では、残された貴重な自然の保全や緑地の創造を図りつつ、土地の高度利用による効率的で良好な市街地を形成します。また、業務核都市の機能強化や臨海部の再活性化に配慮した土地利用を進めます。

横須賀三浦地区では、自然環境や歴史的風土の保全を図りつつ、道路網の整備など生活環境や生産環境を高める土地利用を進めます。



※ ○はおおよその対象地域を示したものです。

①京浜臨海部の再編整備

③都市緑化ベルトの整備

②三浦半島地域の整備

④相模湾沿岸地域の保全・創造

■ 各地区の施策の方向

I 川崎地区

時代を先駆ける国際環境創造都市・川崎

【施策の方向】

- 1 地域の活力があふれるまちづくり
- 2 快適で安全な暮らしを支えるまちづくり
- 3 環境にやさしいうるおいのあるまちづくり

II 横浜地区

世界に開かれた文化芸術創造都市・横浜

【施策の方向】

- 1 国際性豊かな交流・集客のまちづくり
- 2 うるおいのあるみどり豊かなまちづくり
- 3 心豊かな暮らしを彩る県民活動の支援

III 横須賀三浦地区

— 海・みどり、歴史、活力 — まるごと公園半島

【施策の方向】

- 1 海とみどり豊かな半島づくり
- 2 産業の活力あふれる半島づくり
- 3 やすらぎ・うるおい・にぎわい半島づくり

■ 広域的な取組みの方向

○京浜臨海部の活性化

■日本を代表する工業地帯として神奈川の経済活動をけん引してきた①京浜臨海部の再編整備を一体的に進めるため、地元企業や国、横浜市、川崎市などと連携し、環境や防災に配慮した新しい地域像、産業像に対応した土地利用と交通基盤整備の促進、既存産業の高度化、活性化と新たな産業の創出・集積を進めながら雇用の創出を図ります。

○川・山・みどり・海岸の自然の連なりを生かした保全と活用

■横浜市南部から三浦半島全域にかけて広がる豊かな自然や景観、貴重な歴史的文化遺産を活用した「うるおい」「にぎわい」「活力」ある三浦半島の創造をめざした地域づくりを進めるとともに貴重なみどりを保全するための取組みなど、②三浦半島地域の整備を進めます。

■多摩川、鶴見川流域、多摩・三浦丘陵の貴重なみどりの保全と、積極的なみどりの創造に取り組み、③都市緑化ベルトの整備を図ります。

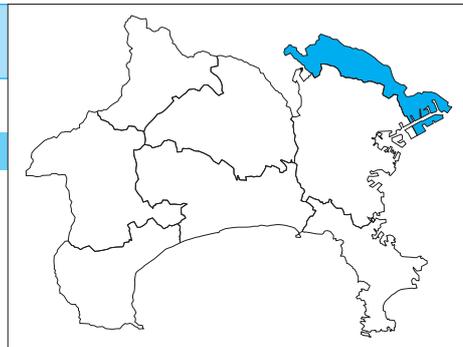
■豊かな自然環境や中世の古都鎌倉を中心とした史跡、近代の保養所・別荘の立地などの歴史・文化、特筆すべき景観など相模湾沿岸の地域資源を守り、生かし、発信するための地域づくりを県民と行政が協働・連携して進めていくことで④相模湾沿岸地域の保全・創造を図ります。

I 川崎地区

■ 地域の将来像

時代を先駆ける国際環境創造都市・川崎

環境の保全と経済・社会の発展が共存し、
世界へ羽ばたく先進のまちをめざして



1 地域の課題

川崎地区は、京浜工業地帯の中核として、これまで日本経済の発展をけん引してきましたが、産業構造や国際的な経済環境の変化などにより、空洞化が進んでいます。

そうした中で、工業都市として培われた技術や人材の集積に加え、都市再生緊急整備地域の指定や構造改革特区の認定、羽田空港の再拡張・国際化への対応など、都市再生に向けた取組みが始まっています。

また、工業都市へと歩む中で、急速に工場の立地や市街化が進み、緑地の減少などの環境への影響をもたらしたため、環境の保全や環境に配慮した取組みが進められています。

(1) 都市の再生と地域産業の活性化

産業構造や国際的な経済環境の変化に伴い、生産機能が地域の外へ移転するなど空洞化が進行しているため、蓄積された産業技術を生かした新たな産業の展開などによる、臨海部をはじめとした都市の再生、地域産業の活性化が求められています。

(2) 快適で安全なまちづくり

臨海部には主に生産・物流拠点が、内陸部には都市型生活の拠点が、北西の丘陵部には住宅地が展開するなど、多彩な地域社会を形成してきました。地域をとりまく環境が急速に変化する中で、こうした地域の多様な個性を生かした快適で安全なまちづくりが求められています。

(3) 良好な環境の保全と創造

環境と産業が調和した持続型社会の実現が求められている中で、臨海部に蓄積された環境関連技術を生かした取組みが求められています。

また、市域の大半を市街化区域が占め、都市化が進んでいる中において、みどりなどの自然環境の保全と創造が求められています。

地区の数値データ（指標）

基礎データ

・ 総人口	1,295,121人 (14.9%)
・ 総面積	142.70km ² (5.9%)

※（ ）内は全県に占める割合

○事業所数及び従業者数

(単位：事業所、人)

	1991	1996	2001
事業所数	47,119(14.6%)	46,789(14.3%)	43,058(13.9%)
従業者数	536,531(15.8%)	536,614(15.2%)	499,176(14.8%)

(「事業所・企業統計調査(総務省)」より作成)

○道路の混雑度1.75以上の箇所の割合(平日)

(単位：%)

	1994	1997	1999
	19.1(13.8)	19.1(10.2)	15.9(6.5)

※〔 〕内は全県における混雑度1.75以上の箇所の割合
混雑度とは、道路の混雑の程度を示す指標で、道路の持つ交通容量(交通を通することができる能力)に対する実際の交通量の比で示されます。混雑度1.75以上の交通状況は、慢性的交通混雑状態と推定されます。
注) 高速自動車国道及び都市高速道路を除く

(「道路交通センサス」より作成)

○市街地におけるみどりのスペース

(単位：ha)

	2001	2002	2003
	1,270(2.5%)	1,285(2.6%)	1,308(2.6%)
うち都市公園	455(12.2%)	466(12.3%)	483(12.4%)

(県関係課での調査集計より作成)

2 地域の将来ビジョン

地域の持つ高いポテンシャルや産業技術を生かし、新たな産業の創出・集積などによる地域産業の活性化を図るとともに、地域の個性を生かした快適で安全な魅力ある都市基盤の整備を一層進めます。また、環境に配慮した取組みを進め、環境の保全と経済・社会の発展が共存する持続可能な地域づくりをめざします。

(1) 地域の活力があふれるまちづくり

羽田空港の再拡張・国際化に対応した国際臨空産業などの産業の創出や集積を進めるとともに、企業活動の活性化を進め、産業活力の向上をめざします。

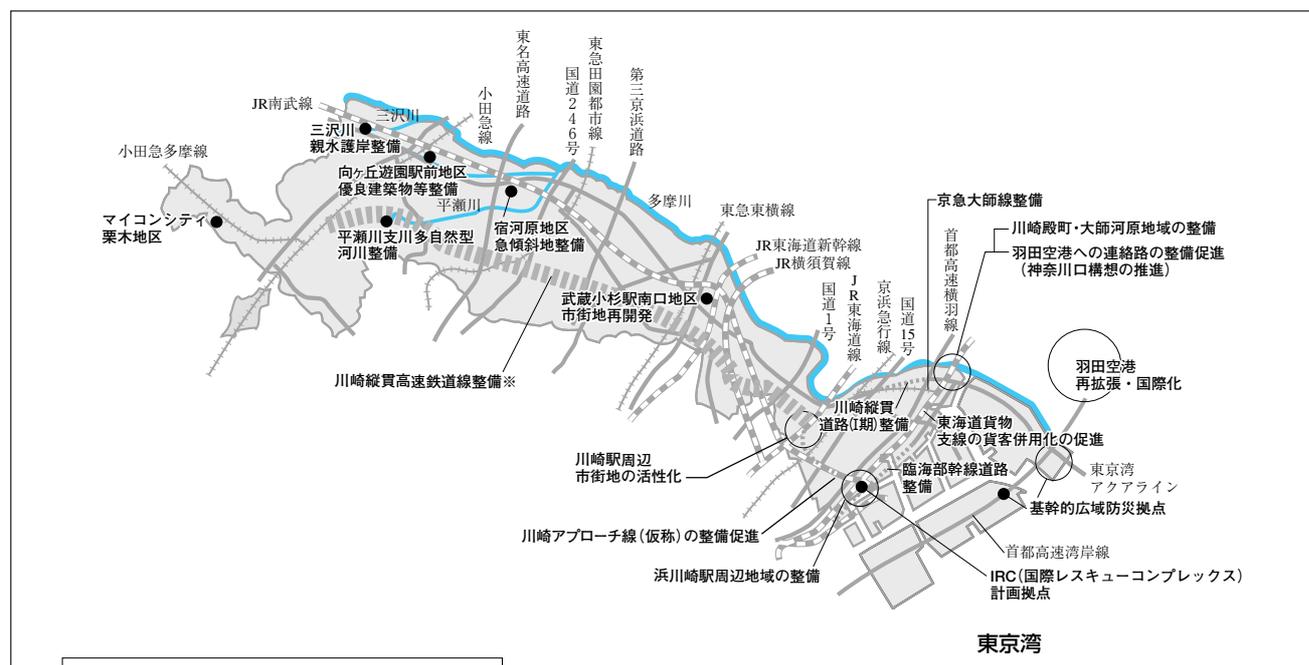
(2) 快適で安全な暮らしを支えるまちづくり

快適で安全なまちづくりを進め、地域でくらす人々の心にゆとりと活気をもたらします。

(3) 環境にやさしいうるおいのあるまちづくり

環境に配慮した取組みを進めるとともに、良好な環境の保全と創出に努め、県民の生活にうるおいをもたらします。

3 地域構想図



【凡例】

- プロジェクト構成事業
- ・ 中長期に取り組む構想・事業
- +++++ 鉄道
- 道路
- 計画路線

※ 川崎縦貫高速鉄道線整備事業については、2003(平成15)年6月に、5年程度着工を延期することを川崎市が表明しています。

■ 地域プロジェクト

1 地域の活力があふれるまちづくり

① 国際的な交流拠点の形成と産業の集積

臨海部において、国際物流機能に対応した企業誘致やホテル、コンベンション、アミューズメントなどの交流拠点形成のための調査・検討を行い、国際臨空産業の集積やアジア起業家村構想*1とも連携した新たな交流拠点の形成を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 羽田空港の再拡張・国際化に対応した産業の集積				
・ 国際物流機能の強化・高度化 (県、川崎市、民間)	総合保税地域*2を活用した機能強化 高度化に対応した企業誘致	交流拠点形成への支援		事業実施 ・ 支援 ・ 連携
・ 国際的な交流拠点の形成 (県、川崎市、民間)	導入機能の調査検討	事業具体化調査検討	民間事業者の誘致及び事業化支援	事業実施 ・ 支援 ・ 連携
(川崎市、民間)	アジア起業家村構想の推進			事業連携

② まちづくり拠点の整備

臨海部において、都市再生特別措置法などの制度を活用した都市再生に資する民間プロジェクトの事業促進を図り、基盤整備と企業誘致を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 都市再生緊急整備地域の整備				
・ 川崎殿町・大師河原地域の整備 (川崎市、民間)	整備計画策定	事業計画策定	実施設計	事業支援 ・ 連携
・ 浜川崎駅周辺地域の整備 (川崎市、民間)	事業計画策定	実施設計	基盤整備着手	事業支援 ・ 連携
	南渡田北地区の既存施設の再整備			

* 1 アジア起業家村構想…環境・起業・国際貢献をキーワードに、アジアから環境関係などのベンチャー企業や人材を誘致し、国際的な産業交流を促進することにより、産業空洞化対策や地域経済の活性化に貢献しようとする構想

* 2 総合保税地域…貿易に関する施設が集積され、かつ公益性を有する法人が管理する地域を対象に制定された保税制度をいいます。総合保税地域では、外国貨物の荷捌き・保管・加工・展示などの複合作業を「保税」状態のまま（関税、消費税などが保留されたまま）一貫処理できるため、納期の短縮、輸送コストの削減を図ることができます。

③新たな産業の集積

蓄積された先端技術を生かし、ロボット関連産業やゲノム*1・バイオ*2関連産業の集積を進めるとともに、地域資源を生かし、地域を展示場に見立てたかわさき産業ミュージアムの取組みを進めます。

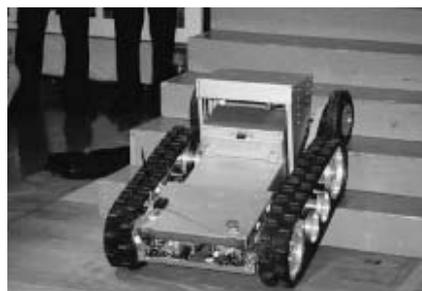
構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 IRC*3計画に基づくロボット関連産業の創出・集積				
・ 逆見本市*4の開催 (県)		逆見本市の開催等		事業実施
・ ベンチャー起業支援 (県、民間)		ワークショップの開催等		事業実施 ・ 連携
2 ゲノム・バイオ関連産業の活性化促進				
・ (財)神奈川科学技術アカデミー*5などにおける企業家人材の育成 (民間)		育成		事業支援
・ バイオ関連ベンチャーの創出促進・成長支援 (民間)		研究シーズ*6の選定、事業化、事業化後の成長支援		事業支援
3 かわさき産業ミュージアムの推進 (川崎市)		事業実施		事業連携

川崎地区

民との協働

NPOとの協働によるロボット関連産業の集積・活性化

県では、IRC計画に基づきロボット関連産業の集積・活性化をめざしています。この計画の中核として、レスキューロボットの研究者が集まったNPO法人などが中心となり、研究開発を進めています。また、このNPO法人などと協働してロボット産業の振興に向けた逆見本市を開催するとともに、ロボット開発の未来を担う青少年に対する科学教育の一端を担うため、ロボット工作教室などを行っています。



開発中のレスキューロボット



KSP (かながわサイエンスパーク)

- * 1 ゲノム…遺伝子 (gene) と染色体 (chromosome) からできた複合語で、ある生物種の細胞の中に存在する遺伝情報の総体をいいます。また、遺伝情報はA (アデニン)、T (チミン)、G (グアニン)、C (シトシン) という4種類の塩基によってDNA (デオキシリボ核酸) に書かれています。ヒトゲノムとよばれるヒト (人) の塩基がどういう順番で並んでいるかを読みとっていく作業、「ヒトゲノム解析計画」が国際協力の下、1991 (平成3) 年から始まっており、今後、医療や産業などでの活用が期待されています。
- * 2 バイオ…一般に、バイオロジー (生物学) とテクノロジー (技術) を組み合わせた造語であるバイオテクノロジーの略として使われていますが、バイオテクノロジーは生物体の生命活動の仕組みを解明し、遺伝子組み換え、細胞融合、組織培養など、工業的に利用しようとする技術をいいます。
- * 3 IRC…国際レスキューコンプレックスの略。優れた研究開発機関を核として、レスキューロボットやレスキューシステムに関する製品開発及び技術的解決策などの情報を発信するとともに、関連産業の集積を図るレスキューに関する国際的な複合拠点をいいます。
- * 4 逆見本市…通常の見本市は、製品などのメーカーが「売りたいもの」を提示するのに対し、逆見本市は、部品などの調達側の企業が「買いたいもの」を資材・部品などのメーカー側に提示し、商談を行う見本市をいいます。
- * 5 (財)神奈川科学技術アカデミー…神奈川県や企業などの出資により、産業の発展及び生活の質的向上に寄与することを目的として、1989 (平成元) 年にかながわサイエンスパーク内に設立された神奈川県の科学技術創造拠点。先端的かつ創造的な研究を行う「研究事業」、社会人を対象として大学院レベルの教育を行う「教育事業」、科学技術の普及・啓発を行う「学術交流事業」などを推進しています。
- * 6 研究シーズ…シーズは種の意味。研究機関や大学などにおける研究成果で、製品化・商品化に結びつく可能性のあるものをいいます。

④ 企業誘致と地域産業の活性化促進

マイコンシティなどにおける企業誘致を進めるとともに、ものづくり技術の継承と新技術開発などにより、地域産業の活性化を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 マイコンシティ事業の推進 (川崎市、民間)		企業誘致		事業連携
2 ものづくり支援事業の推進 (川崎市、民間)	協議会の運営、体験型啓発事業の実施			事業支援・連携
3 川崎駅周辺市街地活性化の推進 (川崎市、民間)	まちづくり機関(TMO*)の運営・支援、民間施設の立地誘導			事業支援
4 臨海部における企業誘致と企業活動の活性化促進 (県、川崎市)	企業誘致、立地企業への支援等			事業実施・連携



マイコンシティ

2 快適で安全な暮らしを支えるまちづくり

① 快適な生活空間の整備

都市機能が集積した集約的で利便性の高い都市拠点を形成するため、武蔵小杉駅南口地区西街区や向ヶ丘遊園駅前地区の市街地整備を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 市街地の整備による都市機能の更新				
・ 武蔵小杉駅南口地区西街区市街地再開発事業の促進 (民間)		調査設計計画 土地整備、共同施設整備		事業支援
・ 向ヶ丘遊園駅前地区優良建築物等整備事業の促進 (民間)	調査設計計画		共同施設整備	事業支援



武蔵小杉駅南口地区西街区市街地再開発事業イメージ

* 1 TMO…Town Management Organization (タウンマネージメント機関) の略。地域を構成する様々な主体が参加するまちづくりの運営を横断的・総合的に企画調整し、中心市街地の活性化と維持に主体的に取り組む機関をいいます。

②交通網の整備

羽田空港の再拡張・国際化への対応や、広域的なネットワークを形成する交通機能の強化を図るため、羽田空港へのアクセスに資する道路などの整備を進めるとともに、川崎縦貫道路による広域的な連携を進めるなど、基幹的な交通網を整備し、交通利便性の向上を図ります。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 道路網の整備				
<ul style="list-style-type: none"> 羽田空港への連絡路の整備促進 (国、県、川崎市) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業主体などの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 構造物の予備設計等 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画決定等 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施・支援・連携
<ul style="list-style-type: none"> 川崎縦貫道路（I期）の整備 (首都高速道路公団) 	<ul style="list-style-type: none"> 整備 		<ul style="list-style-type: none"> 供用 	<ul style="list-style-type: none"> 事業支援
<ul style="list-style-type: none"> 臨海部幹線道路などの整備 (川崎市) 	<ul style="list-style-type: none"> 概略設計 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画準備調査等 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画決定等 	<ul style="list-style-type: none"> 事業支援
2 鉄道網の整備				
<ul style="list-style-type: none"> 東海道貨物支線の貨客併用化の促進 (県、市) 	<ul style="list-style-type: none"> 需要拡大方策検討 	<ul style="list-style-type: none"> 整備手順・事業手法などの検討 		<ul style="list-style-type: none"> 事業実施・連携
<ul style="list-style-type: none"> 川崎アプローチ線（仮称）の整備促進 (川崎市) 		<ul style="list-style-type: none"> 調査・検討 		<ul style="list-style-type: none"> 事業支援
<ul style="list-style-type: none"> 京急大師線の整備 (川崎市、民間) 		<ul style="list-style-type: none"> 整備 		<ul style="list-style-type: none"> 事業支援



川崎縦貫道路（首都高速道路公団提供）



東海道貨物支線

③災害に強い安全なまちづくり

京浜工業地帯の中核として、臨海部には石油コンビナートなどが形成され、都心への交通手段に恵まれていることから人口集中が著しく、住宅地が丘陵部まで広がっているため、地震やがけ崩れなどの災害に強い安全なまちづくりを進めます。また、国が実施する基幹的広域防災拠点*1整備に協力し、連携強化を図ります。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 基幹的広域防災拠点の整備 (国、川崎市)	詳細設計・整備	整備		事業連携
2 石油コンビナート対策の強化 (県、川崎市、民間)		防災施設整備等		事業実施 ・支援
3 土砂災害防止施設などの整備（急傾斜地崩壊防止施設の整備） (県)		急傾斜地整備等 宿河原地区等		事業実施

〔平常時利用イメージ〕



〔災害時利用イメージ〕



基幹的広域防災拠点イメージ図（国土交通省関東地方整備局提供）



臨海部の工場群

* 1 基幹的広域防災拠点…首都圏の防災力向上のため、国が、東京湾臨海部の東京都有明の丘地区と川崎市東扇島地区に整備を進めている施設。東扇島地区の施設は、海外からの救援物資をはじめとした物流に関するコントロールなどの機能を担うとともに、海上輸送、河川輸送、陸上輸送などへの中継基地や広域支援部隊などの一時集結地・ベースキャンプとして機能します。また、平常時は、防災についても意識しつつ、人々の魅力的な憩いの場として利用します。

3 環境にやさしいうるおいのあるまちづくり

①人や自然にやさしい環境づくり

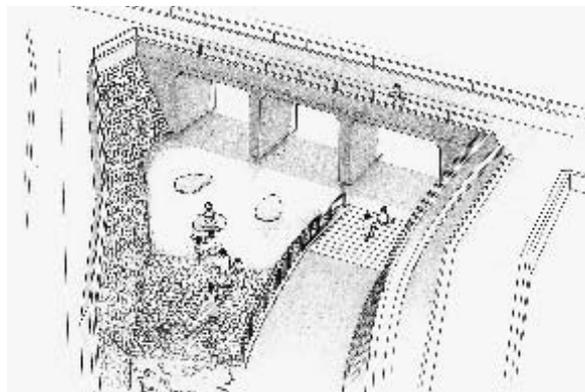
環境の保全と経済や社会の発展が両立できる持続型社会の実現に向けて、新エネルギーの活用による環境に配慮した取組みを進めるとともに、生物や景観、親水などに配慮した水辺づくりや、みどりの保全と活用を進めます。

川崎地区

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 新エネルギーの活用促進				
・ DME自動車*1普及モデル事業などの実施 (県、民間)		モデル事業実施		事業実施 ・連携
・ 工場排熱などを都市需要に有効活用するためのモデル事業の実施 (県、民間)	実現可能性調査		事業準備	事業実施 ・連携
2 人や自然にやさしい水辺づくり				
・ 三沢川の親水護岸整備 (県)	検討	委託	整備	事業実施
・ 平瀬川支川の多自然型河川整備 (川崎市)		整備		事業支援
3 緑地保全の推進 (川崎市、民間)	地域制緑地制度などによる緑地の保全			事業支援 ・連携
4 里山づくりの推進 (県、川崎市、民間)	推進体制の整備等 麻生地区			事業実施 ・支援
5 市民農園の整備推進 (民間)	推進			事業支援



DME自動車



三沢川の親水護岸整備イメージ

*1 DME自動車…ジメチルエーテル自動車。既存のディーゼルエンジン本体は改造せずに、多少のユニットを装着することで走行でき、窒素酸化物や粒子状物質を大幅に減らすことができます。

川崎地区で展開される主な取組み

「神奈川力構想・プロジェクト51」の実施計画に記載されている「主な施策・事業」及び「まちづくり事業」のうち、川崎地区で展開される主なものを紹介します。

I 安心してらせる福祉・医療の基盤整備

「神奈川力構想・プロジェクト51」 137～142ページ

【主な施策】

【取り組む内容】

1 地域医療の機能別整備	・ 病院・診療所などの連携の促進
33 福祉のまちづくりの推進	・ 都市公園のバリアフリー化の推進

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

2 救急医療体制の強化	5 保健・医療・福祉人材の養成・確保
7 保健・医療・福祉現任者教育の充実と専門性の向上	8 生活習慣病対策の推進
9 8020運動（歯科保健）の推進	18 地域における福祉コミュニティづくりの促進
21 介護保険制度の定着と適切なサービスの提供	24 高齢者の社会参画活動への支援
26 身体・知的障害者の日常生活への支援の充実	

II 県民の安全・安心の確保

「神奈川力構想・プロジェクト51」 143～149ページ

【主な施策】

【取り組む内容】

44 石油コンビナートなどの防災対策の推進	・ 川崎市内の石油コンビナート等特別防災区域における災害対策の推進
45 原子力災害対策の推進	・ 川崎市内の原子力事業所などにかかる災害対策の推進
46 治水対策の推進	・ 国の管理河川への支援（多摩川、鶴見川）
48 土砂災害防止施設などの整備	・ 急傾斜地崩壊防止施設の整備
53 災害時広域応援体制の強化	・ 東扇島地区における基幹的広域防災拠点の整備促進
78 警察施設・装備の整備	・ 幸警察署の建て替え ・ 中原警察署の建て替え

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

35 安全で安心な食の確保	38 消費者被害などの未然防止と救済
52 市町村地震防災対策への総合的支援	63 身近な犯罪の予防・検挙活動の推進
70 生涯にわたる交通安全教育の推進	72 交通安全施設などの整備
73 効果的な交通指導取締りの推進	

III 未来を担う人づくり

「神奈川力構想・プロジェクト51」 150～154ページ

【主な施策】

【取り組む内容】

101 養護学校の整備による学習機会の確保	・ 通学に長時間を要する川崎北部方面地域における県立養護学校の設置・検討
-----------------------	--------------------------------------

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

82 子育てを支える地域社会の基盤の充実	84 多様な保育サービスの拡充
90 不登校・ひきこもり、いじめ・暴力行為などへの対応	94 学校と地域社会との交流の活性化
95 新しいタイプの高校の設置拡大	98 快適な教育環境の整備
99 県立学校などの防災対策の推進	106 青少年問題への総合的取組みの推進
107 青少年を取り巻く社会環境の健全化の推進	109 教育相談の充実
110 家庭、地域の教育機能の充実	111 青少年の多様な体験活動の促進

県民に身近な、地域における保健・医療・福祉などに対する市の取組みを支援するとともに、進む少子・高齢化への対応などについて広域的な観点から県の役割に応じた取組みを進めます。

Ⅳ 産業振興による地域経済の活性化

「神奈川力構想・プロジェクト51」 155～160ページ

川崎地区

【主な施策】	【取り組む内容】
133 かながわツーリズムの推進	・産業観光事業の推進
134 京浜臨海部における産業の活性化と雇用の創出	・羽田空港の再拡張・国際化に対応した新たな産業集積 ・レスキューを核とするロボットの研究開発及び関連産業の集積拠点の形成 ・水素・メタンガスやDMEなどの普及モデル事業の実施 ・民間主導によるエコビジネスの創出・事業化の支援 ・ゲノム・バイオ関連産業の集積 ・ものづくり映像の製作・発信と人材創出の支援 ・国への規制緩和の要望や企業の立地計画への助成
147 地域に即した生産の振興	・アユの種苗放流などによる内水面漁業の振興
151 多様な生物が生息する水辺環境の保全と創造	・カワウやブラックバスなどによる在来魚への食害防止などの技術開発
154 都市住民も参加した海業の推進	・漁業・遊漁・海洋レジャーの利用調整

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

120 ベンチャー企業の創出・育成	121 新規成長分野の産業振興
122 企業誘致の促進	125 産学公連携による事業化・商品化への支援
126 ものづくり高度化への支援	129 経営革新への支援
130 まちのにぎわいを創出する産業の振興	131 地域の特性を生かした産業の振興
140 地産地消による農林水産業の振興	141 資源の有効活用による農林水産業の振興
142 地域における農政の総合推進	146 農林水産業の経営基盤の強化
150 農地の持つ多面的機能の発揮	152 環境にやさしい農業の推進

Ⅴ 地域からの環境の保全と創造

「神奈川力構想・プロジェクト51」 161～164ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
156 廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	・かながわクリーンセンター(産業廃棄物中間処理施設)の運営支援
160 新エネルギー導入の推進	・工場排熱エネルギーの活用

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

157 不法投棄の防止対策の推進	158 地球温暖化対策の推進
162 総合的な環境教育の推進	164 環境にやさしいライフスタイルの促進
165 事業者・消費者としての県の環境配慮への率先的取組み	166 参加と協働による環境保全のためのしくみづくり
169 環境に配慮した土地利用の推進	170 水環境保全対策の推進
176 都市と里山のみどりの保全と活用	

VI 心豊かなくらしと共生社会の実現

「神奈川力構想・プロジェクト51」 165～170ページ

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・

183 文化財の保存と活用	185 県立社会教育施設などの生涯学習機能の活用
186 学習内容の深化と成果を活用する場づくり	190 スポーツ活動を支えるしくみづくり
192 スポーツ活動の多様な場づくり	193 NPOなどとの協働・連携による公的サービスの推進
194 ボランティア活動支援の推進	195 NPOなどに関する情報提供・相談体制の充実
200 家庭と仕事などの両立支援	201 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重
203 地球市民意識の醸成と多文化理解の推進	204 非核・平和意識の普及
205 世界の地域との交流の推進	206 アジア地域などへの国際協力の推進
207 環境分野における人、技術、情報の国際交流の推進	208 外国籍県民とともに生きるしくみづくり
209 外国籍県民がくらしやすい環境づくり	210 県民の国際活動の支援
211 県民の国際活動との協働・連携の促進	215 県政への県民参加の充実

VII 個性あふれる地域づくり

「神奈川力構想・プロジェクト51」 171～175ページ

【主な施策】

【取り組む内容】

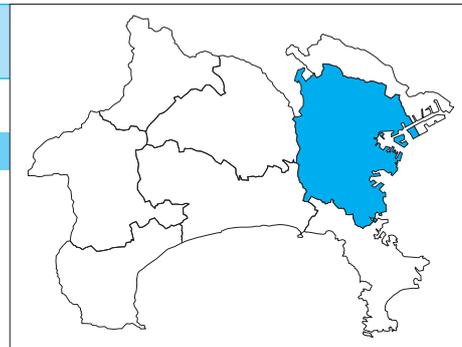
220 京浜臨海部における新しいまちづくり	・羽田空港への連絡路の整備促進 ・都市再生緊急整備地域や基幹的広域防災拠点など新たなまちづくり拠点の整備促進
222 多摩三浦丘陵のみどりの保全と活用	・県立都市公園などの整備（東高根森林公園）
231 鉄道網の整備促進	・京浜急行大師線連続立体化整備への支援 ・東海道貨物支線の貨客併用化の促進 ・川崎アプローチ線（仮称）の整備促進
235 自動車専用道路網の整備	・川崎縦貫道路（I期）
242 既成市街地の再整備による都市機能の更新	・市街地再開発の促進（武蔵小杉駅南口地区、向ヶ丘遊園駅前地区）
244 安全・安心に配慮した住まいづくり	・高齢者・障害者向け公営住宅の整備、改善の推進（県営小向団地、県営野川南台団地）
245 的確な公的住宅の整備	・トータルリモデルなどの推進（県営野川南台団地）
251 みどりを保全・活用するまちづくり	・みどりを生かしたがけ崩れ対策（宿河原地区の急傾斜地崩壊防止施設の整備）
252 都市公園などの整備	・県立都市公園などの整備
255 ひとや自然にやさしい水辺づくり	・ひとや自然にやさしい川づくり（三沢川の親水護岸整備）

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・

232 公共交通整備の総合的な推進	243 良質な都市型住宅の供給と住環境の整備
254 都市景観の保全と創造	256 環境への負荷を軽減するまちづくり



II 横浜地区



■ 地域の将来像

世界に開かれた文化芸術創造都市・横浜

市民の力が創り出すみどり豊かで国際的な
魅力あふれる文化芸術創造都市をめざして

1 地域の課題

横浜は開港以来、日本の玄関口として海外から様々な文化・文明を取り入れ、新たな産業を生み出して発展してきました。また、交通利便性も高いことから人口や産業が集積し、国際交流拠点である臨海部の「みなとみらい21地区」をはじめとした地域拠点の都市基盤整備により、多心型都市構造を形成しています。

一方、都市化の進展により、貴重なみどりの空間が失われていく傾向にあります。

また、市民の意識・価値観が多様化する中で、地域のまちづくりを進めるための自主的な活動が活発に行われています。

(1) 国際交流集客都市の確立

グローバル化する経済・貿易構造の中で、横浜地区が持つ歴史、観光・コンベンション*1資源を生かし、経済や文化の活性化をけん引力として、世界に開かれた産業・交易・交流の拠点となる国際性豊かなまちづくりを進めることが課題となっています。

(2) 都市の自然環境の保全と創造

人口や産業が集積している横浜地区の、残されたかけがえのない海・川・丘などの自然環境を、次世代を担う子どもたちに引き継いでいくために、水・みどりなどの自然環境を都市の貴重な資源・財産として守り、つくるための取組みが求められています。

(3) ボランティア活動*2の推進

横浜地区は広域的に活動する多くのNPOなどが事務所を設置するとともに、交通利便性が高く、県内各地でボランティア活動を行う県民が交流する拠点的地域となっています。

地域の課題解決のための県民の自主的な取組みや県内各地でボランティア活動を行う県民の交流などをより一層推進することが求められています。

地区の数値データ（指標）

基礎データ

・総人口	3,532,691人 (40.6%)
・総面積	437.35km ² (18.1%)

※（ ）内は全県に占める割合

○入込観光客数

(暦年) (単位：千人)

2001	2002	2003
33,784 (23.0%)	34,536 (23.2%)	34,665 (22.8%)

(「神奈川県入込観光客調査報告書」
(神奈川県観光振興対策協議会)より作成)

○市街地におけるみどりのスペース

(単位：ha)

2001	2002	2003
7,608 (15.2%)	7,641 (15.2%)	7,713 (15.3%)
うち都市公園 1,541 (41.4%)	1,573 (41.4%)	1,601 (41.0%)

(「県関係課での調査集計より作成)

○(参考) 横浜市内に事務所を置く特定非営利活動法人認証累計数(神奈川県認証分)

(単位：件)

2001	2002	2003
199 (50.0%)	299 (48.1%)	456 (48.3%)

(「県民総務室調べ」より作成)

*1 コンベンション…一般には会議、集会などを意味しますが、「人が一定期間集う催し」すべてをコンベンションと広くとらえています。

*2 ボランティア活動…不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする非営利の公益的活動。いわゆる宗教、政治、選挙活動を除きます。

■ 地域プロジェクト

1 国際性豊かな交流・集客のまちづくり

① 国際交流都市の魅力づくりとプロモーション

国際コンベンションなどの誘致を進めるとともに、訪日外国人旅行者の誘致促進を図ります。また、国際性豊かな交流・集客のまちにふさわしい個性や魅力があふれる都市づくりを推進するため、開港都市としての歴史や文化などの資源を生かしながら、業務・商業施設や文化施設など、都心地区にふさわしい機能を備えた市街地の整備を図り、新たな横浜らしさを創出する魅力ある環境づくりを進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 観光客の誘致促進				
・ 観光・コンベンション機能の強化 (横浜市、民間)	国際コンベンションの誘致			事業支援 ・ 連携
・ 国外からの観光客の誘致 (県、横浜市、民間)		事業実施		事業実施 ・ 連携
2 地域の特徴を生かした観光魅力づくり				
・ 産業施設における体験学習型観光事業の推進 (県、民間)		事業実施		事業実施 ・ 連携
3 横浜トリエンナーレ^{*1}の開催 (横浜市、民間)	第2回開催準備	第2回開催準備・開催	第3回開催準備	事業連携
4 文化芸術活動の拠点施設の整備充実				
・ 県民ホールの再整備 (県)	調査	基本・実施設計	施設整備	事業実施
・ 県立音楽堂の再整備 (県)	検討		調査	事業実施
・ 青少年センターホールの再整備 (県)	改修工事			事業実施



国際コンベンション施設



県民ホール

* 1 横浜トリエンナーレ… 3年ごとに横浜で開催する国際的な現代美術展の名称。トリエンナーレは、「3年に1度」という意味のイタリア語

②国際的な研究開発拠点の形成と産業の活性化

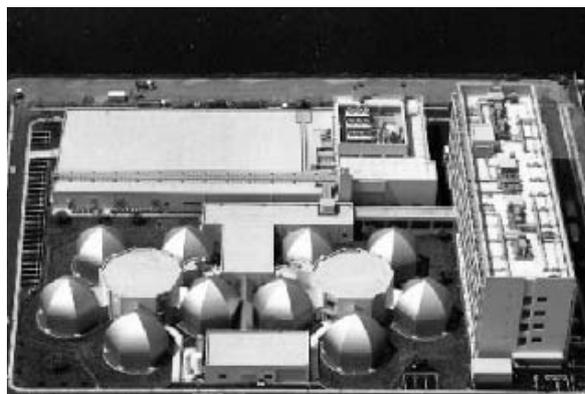
国際的なゲノム*1・バイオ*2関連の研究開発拠点の形成を進めるとともに、研究機関と連携し関連産業の集積・活性化を促進します。また、新エネルギー関連産業などの新たな産業の創出や集積を進め、産業活力の向上と雇用を創出します。さらに、京浜臨海部などへの立地企業に対する支援措置などにより、企業活動の活性化と企業誘致を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 ゲノム・バイオ関連産業の活性化促進				
・ベンチャー企業*3活動の拠点整備 (横浜市)	リーディングベンチャープラザ*4(第2期)建設			事業支援 ・連携
	リーディングベンチャープラザとの連携			
・理化学研究所などと県試験研究機関の連携 (県、民間)		共同研究		事業実施 ・連携
・(財)神奈川科学技術アカデミーなどにおける企業家人材の育成 (民間)		育成		事業支援
・バイオ関連ベンチャーの創出促進・成長支援 (民間)	研究シーズ選定、事業化、事業化後の成長支援			事業支援
2 新エネルギーの活用促進				
・DME自動車普及モデル事業などの実施 (県、民間)		モデル事業実施		事業実施 ・連携
・工場排熱などを都市需要に有効活用するためのモデル事業の実施 (県、民間)	実現可能性調査		事業準備	事業実施 ・連携
3 京浜臨海部などにおける企業誘致と企業活動の活性化促進 (県、横浜市)	企業誘致・立地企業への支援等			事業実施 ・連携

横浜地区



リーディングベンチャープラザ



理化学研究所

- *1 ゲノム…遺伝子 (gene) と染色体 (chromosome) からできた複合語で、ある生物種の細胞の中に存在する遺伝情報の総体をいいます。また、遺伝情報はA (アデニン)、T (チミン)、G (グアニン)、C (シトシン) という4種類の塩基によってDNA (デオキシリボ核酸) に書かれています。ヒトゲノムとよばれるヒト (人) の塩基がどういう順番で並んでいるかを読みとっていく作業、「ヒトゲノム解析計画」が国際協力の下、1991 (平成3) 年から始まっており、今後、医療や産業などでの活用が期待されています。
- *2 バイオ…一般に、バイオロジー (生物学) とテクノロジー (技術) を組み合わせた造語であるバイオテクノロジーの略として使われていますが、バイオテクノロジーは生物体の生命活動の仕組みを解明し、遺伝子組み換え、細胞融合、組織培養など、工業的に利用しようとする技術をいいます。
- *3 ベンチャー企業…独自技術、ノウハウを持ち、成長が著しく、会社設立後比較的若い企業か、もしくは、社歴が古くても最近業種転換した企業
- *4 リーディングベンチャープラザ…ゲノム・バイオ関連の産学共同研究の事業化、新技術開発・事業展開をめざすベンチャー企業や起業家の活動拠点として整備する施設

③魅力あふれる都市基盤の整備

個性あふれるまちの特性を生かし、地域の魅力の向上や防災上危険な密集市街地の解消、空洞化の進む中心市街地や産業系市街地の活性化などを図るため、既成市街地の再整備による都市機能の更新を進めます。

また、交通の円滑化と安全の確保を図るとともに、市民生活の利便性の向上と経済活動の活性化を図るために交通基盤の整備を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 既成市街地の再整備による都市機能の更新 (横浜市、民間)	市街地再開発事業等 北仲通南地区、新杉田駅前地区、鶴ヶ峰駅南口地区、高島二丁目地区、鶴見駅東口地区、長津田駅北口地区			事業支援
2 自動車専用道路網の整備 (国、首都高速道路公団、道路公団)	自動車専用道路網の整備 高速横浜環状南線、高速横浜環状北線、横浜湘南道路、(仮称)横浜環状北西線等			事業支援 ・連携
3 鉄道網の整備				
・ 東海道貨物支線の貨客併用化の促進 (県、市)	需要拡大方策検討	整備手順・事業手法などの検討		事業実施 ・連携
・ 横浜市営地下鉄4号線の整備 (横浜市)	用地取得	工事		事業支援



鶴ヶ峰駅南口地区市街地再開発事業イメージ



横浜湘南道路建設予定地
栄インターチェンジ・ジャンクション(仮称)付近

④地球市民意識の醸成と国際交流・協力の推進

地球市民意識の醸成や多様な民族や文化の違いを理解し、認め合えるよう、多文化理解の推進に取り組むとともに、県民の国際活動を支援します。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 地球市民意識の醸成と多文化理解の推進 (県、民間)	地球市民学習などの実施、あーすフェスタの開催			事業実施
2 地球市民かながわプラザにおける活動支援 (県)	NPO・NGO*1などの県民の国際活動の支援			事業実施
3 国際交流ラウンジ事業の推進 (横浜市)	外国人市民支援など事業推進			事業連携

横浜地区

民との協働

あーすフェスタかながわ

異なる国籍、文化、歴史的背景を持つ多くの県民が集い、出会い、それぞれの文化や考え方をアピールするとともに、互いを理解する機会をつくるため、民族団体、NGO、市民グループなどとともに実行委員会を組織して、地球市民かながわプラザにおいて、毎年開催しています。



地球市民かながわプラザ

* 1 NGO…Non-Governmental Organization（非政府組織）の略。NGOは、国連に起源をもつ言葉で、元々は、国連が協力関係を持つ、国家間では、解決しにくい難民問題などを扱う非営利組織を指して使われてきた呼称。本計画では、地球規模の課題や地域の国際化などに取り組む非政府・非営利団体をいいます。

2 うるおいのあるみどり豊かなまちづくり

①都市のみどりの保全と活用

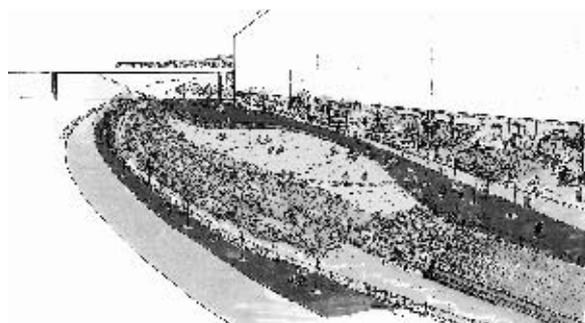
都市部におけるみどり豊かなまちづくりを進めるため、公園緑地や臨海部における緑地空間の整備を進めるとともに、地域に残された貴重な緑地や水域を保全・活用するため、大規模な樹林地や身近な緑地空間である農地、親しみのある水域を、自然とのふれあいの場として守ります。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 魅力ある都市公園などの整備				
・ 県立都市公園 (県)		拡大整備・再整備等		事業実施
		三ツ池公園、四季の森公園、 保土ヶ谷公園、境川遊水地公園		
・ 市立都市公園 (横浜市)		整備		事業支援
2 臨海部でのうるおいのある空間づくり (横浜市)		臨海部プロムナードの整備		事業連携
3 緑地保全の推進				
・ 地域制緑地制度などによる緑地の保全 (横浜市)		推進		事業支援 ・ 連携
		円海山近郊緑地特別保全地区、緑地保全地区、 緑地保存地区、市民の森		
・ トラスト緑地制度による緑地の保全 (県、民間)		推進		事業実施 ・ 支援
4 農地とふるさと景観の保全				
・ 恵みの里の整備 (横浜市、民間)		推進		事業支援
・ 市民と農とのふれあい事業（農を支える仕組みづくり） (横浜市)	仕組みづくり		推進	事業支援
・ 農業専用地区などの推進 (横浜市、民間)		農業専用地区などの指定の推進		事業支援
5 臨海部の環境保全と再生（全国豊かな海づくり大会の開催） (県、横浜市、民間)	プレ大会事業の実施			事業実施 ・ 連携
		本大会の開催		
			大会の成果の継承	

②安全でやすらぎのあるまちづくり

都市部における安全でやすらぎのあるまちづくりを進めるため、人や自然にやさしい水辺づくりやがけ崩れ対策を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 人や自然にやさしい水辺づくり				
・ 早淵川の親水護岸整備 (県)		親水護岸の整備		事業実施
・ いたち川、和泉川、阿久和川の多自然型護岸整備 (横浜市)		多自然型護岸の整備		事業支援
2 みどりを生かしたがけ崩れ対策 (県)		みどりを生かした急傾斜地整備		事業実施
		三ツ沢下町南地区等		



早淵川の親水護岸整備イメージ

3 心豊かな暮らしを彩る県民活動の支援

① ボランティア活動の広がりへの促進

拡大し多様化する県民ニーズに的確に対応するため、ボランティア活動を推進するための支援の充実やNPOなどとの協働・連携を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 ボランティア活動支援の推進				
・ かながわボランティア活動推進基金21によるボランティア活動の推進 (県、民間)	ボランティア活動に対する補助や表彰等			事業実施 ・ 連携
・ NPOなどのネットワーク形成の推進 (県、民間)	NPOなどによるネットワークづくりへの支援等			事業実施 ・ 連携
・ かながわ県民活動サポートセンターによる活動支援 (県)	活動の場や情報の提供、アドバイザーによる相談等			事業実施
・ かながわボランティアセンター事業 (民間)	相談・情報提供・学習機会の提供等			事業支援
2 NPOなどとの協働・連携による公的サービスの推進				
・ かながわボランティア活動推進基金21などによるNPOなどとの協働事業の実施 (県、民間)	県、NPOなどの提案による協働事業の実施			事業実施 ・ 連携
・ 地域におけるNPOなどとの協働による事業の実施 (横浜市、民間)	NPOなどによる提案事業の実施			事業連携
3 地域における多様な活動、交流の場の提供 (地区センター、コミュニティハウス、市民活動支援センター等) (横浜市)	活動・支援拠点の整備			事業連携



かながわ県民活動サポートセンターで活動するボランティアグループ

横浜地区で展開される主な取組み

「神奈川力構想・プロジェクト51」の実施計画に記載されている「主な施策・事業」及び「まちづくり事業」のうち、横浜地区で展開される主なものを紹介します。

I 安心してらせる福祉・医療の基盤整備

「神奈川力構想・プロジェクト51」 137～142ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
33 福祉のまちづくりの推進	・都市公園のバリアフリー化の推進
<p>・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・</p>	
1 地域医療の機能別整備	2 救急医療体制の強化
5 保健・医療・福祉人材の養成・確保	7 保健・医療・福祉現任者教育の充実と専門性の向上
8 生活習慣病対策の推進	9 8020運動（歯科保健）の推進
18 地域における福祉コミュニティづくりの促進	21 介護保険制度の定着と適切なサービスの提供
24 高齢者の社会参画活動への支援	26 身体・知的障害者の日常生活への支援の充実

II 県民の安全・安心の確保

「神奈川力構想・プロジェクト51」 143～149ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
35 安全で安心な食の確保	・養殖業に対する防疫と安全の指導
44 石油コンビナートなどの防災対策の推進	・横浜市内の石油コンビナート等特別防災区域における災害対策の推進
46 治水対策の推進	・国の管理河川への支援（鶴見川） ・都市河川重点整備「かながわSafetyリバー50」（鶴見川の川和遊水地整備、帷子川の護岸整備、境川の多自然型護岸整備、柏尾川の河床掘削）
48 土砂災害防止施設などの整備	・急傾斜地崩壊防止施設の整備（新吉田町具々田地区、釜利谷東7丁目東地区）
49 水辺施設の保全の推進	・水辺施設の保全の推進（大岡川の護岸補修）
50 安全防災を支える農林水産業の推進	・災害を未然に防止する農業施設づくり（寺家地区のため池の改修）
72 交通安全施設などの整備	・上大岡駅周辺を対象とした公共車両優先システム（PTPS）の導入
78 警察施設・装備の整備	・証拠品保管施設の新設
80 基地の整理・縮小及び返還の促進	・関係自治体との連携による基地の整理、縮小及び返還に対する積極的な要請活動の展開 ・米軍基地の跡地利用計画の策定支援
81 基地周辺住民の安全、福祉の確立と良好な生活環境の確保	・厚木基地周辺における米空母艦載機による航空機騒音の解消
<p>・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・</p>	
38 消費者被害などの未然防止と救済	52 市町村地震防災対策への総合的支援
53 災害時広域応援体制の強化	63 身近な犯罪の予防・検挙活動の推進
70 生涯にわたる交通安全教育の推進	73 効果的な交通指導取締りの推進

III 未来を担う人づくり

「神奈川力構想・プロジェクト51」 150～154ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
90 不登校・ひきこもり、いじめ・暴力行為などへの対応	・青少年サポートプラザの整備とNPOなどの行うフリースクールなどへの支援や地域連携の促進
111 青少年の多様な体験活動の促進	・青少年活動の中核拠点である青少年センターの整備・充実
<p>・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・</p>	
82 子育てを支える地域社会の基盤の充実	84 多様な保育サービスの拡充
94 学校と地域社会との交流の活性化	95 新しいタイプの高校の設置拡大
98 快適な教育環境の整備	99 県立学校などの防災対策の推進
106 青少年問題への総合的取組みの推進	107 青少年を取り巻く社会環境の健全化の推進
109 教育相談の充実	110 家庭、地域の教育機能の充実

県民に身近な、地域における保健・医療・福祉などに対する市の取組みを支援するとともに、進む少子・高齢化への対応などについて広域的な観点から県の役割に応じた取組みを進めます。

Ⅳ 産業振興による地域経済の活性化

「神奈川力構想・プロジェクト51」 155～160ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
131 地域の特性を生かした産業の振興	・業種別組合などが行う新商品開発、販路開拓などの事業に対する支援
133 かながわツーリズムの推進	・国外からの観光客の誘致促進、産業観光事業の推進
134 京浜臨海部における産業の活性化と雇用の創出	・羽田空港の再拡張・国際化に対応した新たな産業集積 ・水素・メタンガスやDMEなどの普及モデル事業の実施 ・民間主導によるエコビジネスの創出・事業化の支援 ・ゲノム・バイオ関連産業の集積 ・ものづくり映像の製作・発信と人材創出の支援 ・国への規制緩和の要望や企業の立地計画への助成
140 地産地消による農林水産業の振興	・学校給食への導入などをめざした「魚を食べること」への理解促進 ・全国豊かな海づくり大会を通じた「魚を食べること」の普及の推進
147 地域に即した生産の振興	・栽培漁業や資源管理型漁業の推進による沿岸漁業の振興
151 多様な生物が生息する水辺環境の保全と創造	・金沢湾でのアマモ場などの藻場造成技術開発
154 都市住民も参加した海業の推進	・漁業経営へ遊漁の積極的導入 ・漁業・遊漁・海洋レジャーの利用調整

横浜地区

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業

120 ベンチャー企業の創出・育成	121 新規成長分野の産業振興
122 企業誘致の促進	125 産学公連携による事業化・商品化への支援
126 ものづくり高度化への支援	129 経営革新への支援
130 まちのにぎわいを創出する産業の振興	141 資源の有効活用による農林水産業の振興
142 地域における農政の総合推進	146 農林水産業の経営基盤の強化
150 農地の持つ多面的機能の発揮	152 環境にやさしい農業の推進

Ⅴ 地域からの環境の保全と創造

「神奈川力構想・プロジェクト51」 161～164ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
160 新エネルギー導入の推進	・工場排熱エネルギーの活用
165 事業者・消費者としての県の環境配慮への率直的取組み	・県施設へのE S C O事業の率先導入

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業

156 廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	157 不法投棄の防止対策の推進
158 地球温暖化対策の推進	162 総合的な環境教育の推進
164 環境にやさしいライフスタイルの促進	166 参加と協働による環境保全のためのしくみづくり
169 環境に配慮した土地利用の推進	170 水環境保全対策の推進
176 都市と里山のみどりの保全と活用	

VI 心豊かなくらしと共生社会の実現

「神奈川力構想・プロジェクト51」 165～170ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
181 文化芸術を振興する施設の整備・充実	・文化芸術活動の総合的拠点施設の整備・充実(県民ホールの再整備) ・専門的文化施設の整備・充実(青少年センターホール、県立音楽堂の再整備)
193 NPOなどとの協働・連携による公的サービスの推進	・かながわボランティア活動推進基金21などによる協働事業の実施
194 ボランティア活動支援の推進	・かながわ県民活動サポートセンターによる活動の場や情報の提供など
207 環境分野における人、技術、情報の国際交流の推進	・(財)国際生態学センターへの支援
210 県民の国際活動の支援	・地球市民かながわプラザにおける活動支援
・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・	
183 文化財の保存と活用	185 県立社会教育施設などの生涯学習機能の活用
186 学習内容の深化と成果を活用する場づくり	190 スポーツ活動を支えるしくみづくり
192 スポーツ活動の多様な場づくり	195 NPOなどに関する情報提供・相談体制の充実
200 家庭と仕事などの両立支援	201 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重
203 地球市民意識の醸成と多文化理解の推進	204 非核・平和意識の普及
205 世界の地域との交流の推進	206 アジア地域などへの国際協力の推進
208 外国籍県民とともに生きるしくみづくり	209 外国籍県民がくらしやすい環境づくり
211 県民の国際活動との協働・連携の促進	215 県政への県民参加の充実

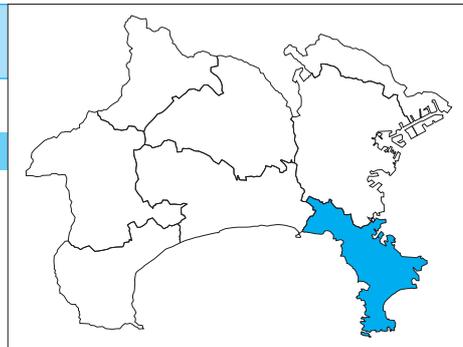
VII 個性あふれる地域づくり

「神奈川力構想・プロジェクト51」 171～175ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
222 多摩三浦丘陵のみどりの保全と活用	・県立都市公園などの整備(保土ヶ谷公園、篠原園地)
231 鉄道網の整備促進	・横浜市営地下鉄4号線整備への支援 ・東海道貨物支線の貨客併用化の促進
235 自動車専用道路網の整備	・高速横浜環状南線、高速横浜環状北線、横浜湘南道路、(仮称)横浜環状北西線
242 既成市街地の再整備による都市機能の更新	・市街地再開発の促進(北仲通南地区、鶴見駅東口地区、長津田駅北口地区、新杉田駅前地区、鶴ヶ峰駅南口地区、高島2丁目地区)
244 安全・安心に配慮した住まいづくり	・高齢者・障害者向け公営住宅の整備、改善の推進(県営大道団地、県営阿久和団地、県営汲沢団地、県営いちょう上飯田団地)
245 的確な公営住宅の整備	・公営住宅の的確な整備(県営大道団地) ・新たな手法による公営住宅整備の展開(県営阿久和団地) ・トータルモデルなどの推進(県営汲沢団地、県営いちょう上飯田団地)
251 みどりを保全・活用するまちづくり	・みどりを生かしたがけ崩れ対策(三ツ沢下町南地区等)
252 都市公園などの整備	・県立都市公園などの整備(四季の森公園、三ッ池公園) ・河川事業との連携による都市公園の整備(境川遊水地公園)
255 ひとや自然にやさしい水辺づくり	・ひとや自然にやさしい川づくり(早淵川の親水護岸整備)
257 新エネルギーを活用した都市整備	・新エネルギーを活用した公園整備(三ッ池公園)
・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・	
232 公共交通整備の総合的な推進	243 良質な都市型住宅の供給と住環境の整備
254 都市景観の保全と創造	256 環境への負荷を軽減するまちづくり



Ⅲ 横須賀三浦地区



■ 地域の将来像

－ 海・みどり、歴史、活力 －

まるごと公園半島

人と人、人と自然や歴史・文化がふれあい交流する
“うるおい” “にぎわい” “活力” あふれる三浦半島をめざして

1 地域の課題

三浦半島は、三方を海に囲まれ、変化に富んだ海岸線、多摩丘陵から続くまとまった緑の残る気候温暖、風光明媚な地域であり、古都鎌倉をはじめとした歴史的文化遺産に富み、人と自然とのふれあいの場や良好な景観に恵まれています。しかしその一方で、自然環境の悪化や産業や観光の停滞、人口の減少、少子高齢化の急速な進展がみられるなど、様々な課題を抱えています。

(1) 地域環境の保全と創造

都市化の進展に伴う緑地の減少や多様な動植物の生息環境の悪化がみられ、また、近年は移入鳥獣の増加に伴い生活被害などが拡大し、在来種の生態系への深刻な影響も懸念されていることから、早急な対応が求められています。

(2) 地域産業の活性化

事業所数の減少、大規模工場の閉鎖、農漁業就業人口の減少など地域経済の活力の低下がみられる中、新たな産業の誘致や創出を図り、幅広い業種が集積している既存産業との連携によって地域産業の活性化を図っていく必要があります。また、そのための交通網や産業拠点整備も求められています。

(3) 地域のにぎわいづくり

豊かな自然や歴史・文化といった多彩な観光資源に恵まれています。近年の個人消費の低迷や観光ニーズの多様化により観光客数が減少しています。また、この地域の人口は1990(平成2)年以降減少傾向にあり、65歳以上の老年人口は着実に増加を続けていることから、少子高齢化が急速に進展し、県内で最も高齢化の進んだ地域となっています。こうした中で、地域の資源を生かした新たな活力を生み出すため、誰もが生き生きとらせる住みよいまちづくりを進め、地域の人材の就業や社会参加の機会を創出していく必要があります。

地区の数値データ(指標)

基礎データ

・総人口	740,132人(8.5%)
・総面積	206.83km ² (8.6%)

※ () 内は全県に占める割合

○森林面積

(単位: ha)

1972	1987	2002
8,342(7.8%)	7,108(7.2%)	6,783(7.2%)

(「神奈川県国土利用計画土地統計資料」より作成)

○従業者数

(単位: 人)

1991	1996	2001
268,088(7.9%)	270,832(7.7%)	257,968(7.6%)

(「事業所・企業統計調査(総務省)」より作成)

○人口

(単位: 人)

1994	1999	2004
747,645(9.1%)	736,750(8.8%)	740,132(8.5%)

(「神奈川県人口統計調査」より作成)

○高齢化率(65歳以上の人の割合)

(単位: %)

1994	1999	2004
14.2〔10.1〕	17.7〔12.7〕	21.0〔15.7〕

※ [] 内は全県の高齢化率

(「神奈川県年齢別人口統計調査」より作成)

2 地域の将来ビジョン

豊かな自然や歴史・文化、地域の産業など特色ある資源を抱える半島全体を公園のような活動の場ととらえ、この半島を舞台に、人と人、人と自然や歴史・文化がふれあい交流し、活力ある産業が展開され、多様な営みが繰り広げられる“うるおい”“にぎわい”“活力”のあふれる三浦半島の創造をめざします。

(1) 海とみどり豊かな半島づくり

豊かな自然を活用し人と自然がふれあう「海とみどり豊かな半島づくり」を積極的に構築していくため、半島全体に広がる自然を守り、育み、楽しめるよう、緑地や海、貴重な生態系の保全を進めます。

横須賀
三浦地区

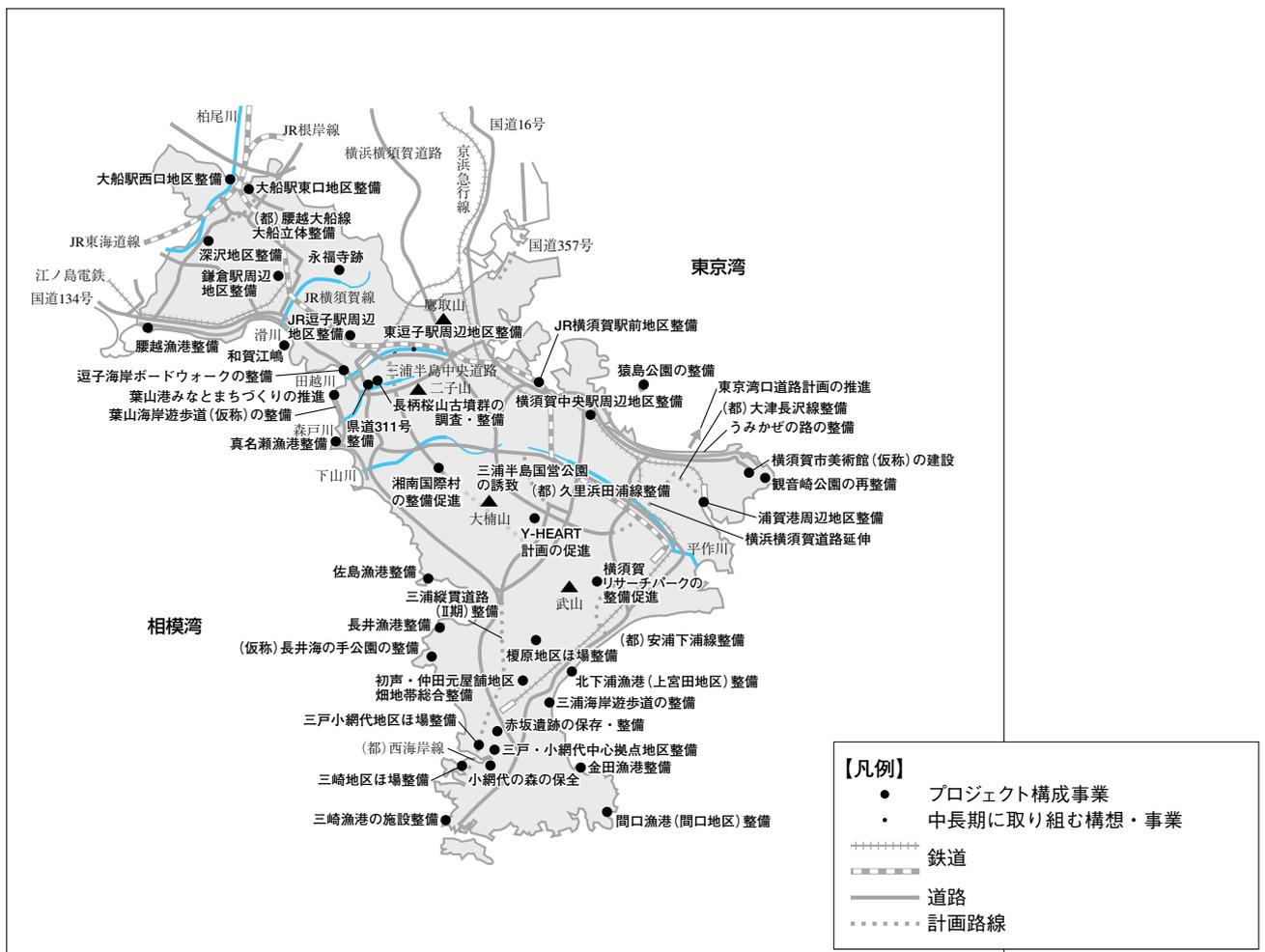
(2) 産業の活力あふれる半島づくり

農水産物や人材など特色ある地域の資源を活用した産業の振興を図り、幹線道路網や産業拠点の整備を進め、地域経済の新たなけん引役となる産業の誘致・創出、既存産業の再活性化による「産業の活力あふれる半島づくり」を進めます。

(3) やすらぎ・うるおい・にぎわい半島づくり

人と人、人と自然や文化が出会い、ふれあい、交流する場を広げるため、地域の自然・史跡、歴史・文化、産業といった特色ある多彩な資源を守り活用し、併せて、高齢者や障害者にもやさしいまちづくりを進め、「やすらぎ・うるおい・にぎわい半島づくり」を進めます。

3 地域構想図



■ 地域プロジェクト

1 海とみどり豊かな半島づくり

①海とみどりのネットワークの構築

三浦半島の優れた自然環境の保全と活用を図るための全体構想を策定し、自然とのふれあいの場づくりを進めるとともに、その広域的な拠点となる国営公園を誘致し、海とみどりのネットワークの構築を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 「三浦半島公園圏構想*1」の策定・推進 (県、市町、民間)	調査・検討、構想策定のためのしくみづくり	策定	推進	事業実施
2 三浦半島国営公園の誘致 (県、横須賀市、逗子市、三浦市、葉山町、民間)		要望・広報活動		事業実施
3 観音崎公園の再整備（海の拠点整備） (県)	調査		整備	事業実施
4 (仮称)長井海の手公園の整備 (横須賀市)	整備			事業支援
5 猿島公園の整備 (横須賀市)		整備		事業支援

②まとまりある緑地や生態系の保全

まとまりのある貴重な緑地や森を守り、多様な生物の生息環境の保全を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 地域制緑地*2の指定などによる緑地の保全と活用				
・ 小規模風致地区（10ha未満） (横須賀市)	調査	指定		事業連携
・ 逗子・葉山近郊緑地保全区域 (県)		緑地保全		事業実施
・ 逗子市内の大町・材木座歴史的風土保存区域 (名越切通とその周辺地区) (県)		緑地保全		事業実施
・ 鎌倉市内の歴史的風土保存区域及び近郊緑地保全区域 (県)		緑地保全		事業実施
・ 鎌倉三大緑地(広町・台峯・常盤山)の保全と整備 (県、鎌倉市、民間)	広町	緑地保全・整備		事業連携
	台峯	緑地保全・整備		事業連携
	常盤山	緑地保全		事業実施
2 小網代の森の保全 (県、三浦市、民間)		緑地保全		事業実施・連携
		教育・普及活動		
3 移入鳥獣による被害の防止 (県、市町)		計画的被害防除対策の検討・実施 捕獲などの実施		事業実施・支援
4 水辺環境保全のための藻場造成技術開発 (県、民間)	技術開発	技術確立	応用拡大	事業実施

* 1 三浦半島公園圏構想…三浦半島のみどりの保全・活用を図るための全体構想

* 2 地域制緑地…首都圏近郊緑地保全法などの法律や条例などにより保全されている緑地



猿島公園



小網代の森

2 産業の活力あふれる半島づくり

①地域に根ざし地域資源を生かした産業の展開

農水産物などの地域の特色ある資源を生かした産業を振興し、地域に根ざしたビジネスや中心市街地の活性化を図ります。

横須賀
三浦地区

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 農業の多様な担い手の育成と確保 (県)	中高年ホームファーマー*1の育成 後継者育成農業セミナーの開催			事業実施
2 地産地消*2の推進 (県、三浦市、民間)	全国豊かな海づくり大会地域プレ大会事業の実施 地域大会の開催			事業実施
(県、民間)	大会の成果の継承 三浦半島ふるさとの味展の開催			事業実施
3 未利用資源の有効利用の促進 (民間)	家畜排泄物処理施設の整備			事業支援
(民間)	みかん剪定枝のチップ化と活用			事業支援
(県、民間)	低利用水産資源の商品化			事業実施
4 コミュニティビジネス*3に対する創業などの支援 (県)	実態調査			事業実施
(県、市町、民間)	セミナーなどの開催			
(県、民間)	事業計画策定への個別支援			
(逗子市)	起業講座の開催			事業連携
5 中心市街地の活性化 (横須賀市、民間)	個別事業計画の実施			事業支援 ・連携
(三浦市、民間)	個別事業計画の実施			
(逗子市、民間)	基本計画、TMO*4構想策定			
	個別事業計画の実施			
6 フィルムコミッション*5のビジネス化 (三浦市、民間)	民間主導体制の構築・民間への移行 ・収益ビジネス化の促進			事業支援



コミュニティビジネス起業講座



中高年ホームファーマーの育成

- * 1 中高年ホームファーマー…中高年ホームファーマー事業とは、主として耕作されなくなった農地を県が農家から借り受け、借りた農地を耕作できる状態にし、中高年の方などに耕作していただくもので、県民の皆さんに健康と生きがいの場を提供し、併せて耕作放棄地を防止し農地の保全を図るものです。
- * 2 地産地消…地元でとれた新鮮で安全な農林水産物を地元で消費すること。食に対する安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解を深める取組みとして期待されています。
- * 3 コミュニティビジネス…県では、「地域の課題解決やニーズ充足のため、地域資源を活用しながら、地域住民自らが主体となって継続的に実施する地域密着型ビジネス」としています。
- * 4 TMO…Town Management Organization (タウンマネージメント機関)の略。地域を構成する様々な主体が参加するまちづくりの運営を横断的・総合的に企画調整し、中心市街地の活性化と維持に主体的に取り組む機関をいいます。
- * 5 フィルムコミッション…自治体や商工会議所が設置する映像制作を支援する非営利機関で、映画やTV番組などの撮影を誘致して幅広く支援を行う組織をいいます。

②海業拠点や農業基盤の整備

豊かな海の資源を活用した海業の拠点となる漁港施設を整備するとともに、野菜生産の基地となる農業生産基盤の整備を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 三崎漁港の施設整備 (県) (三浦市、民間)		防波堤の整備		事業実施
		臨港道路・公園・緑地などの整備		
		資源エネルギーセンターの事業化研究・整備の促進		事業連携
2 漁港施設の整備				
・ 佐島漁港 (横須賀市)	実施設計	防波堤の整備		事業支援
・ 長井漁港 (横須賀市)		防波堤、船揚場などの整備		事業支援
・ 腰越漁港 (鎌倉市)		施設整備計画の検討、調査、設計等		事業支援
・ 間口漁港(間口地区) (三浦市)		防波堤等の整備		事業支援
・ 北下浦漁港(上宮田地区) (三浦市)	防砂堤の整備			事業支援
・ 金田漁港 (三浦市)		防波堤の整備		事業支援
・ 真名瀬漁港 (葉山町)	調査、設計等	整備		事業支援
3 農業生産基盤の確保と整備				
・ 初声・仲田元屋舗地区 (県)		畑地帯の総合整備		事業実施
・ 三戸小網代地区 (県)		ほ場の整備		事業実施
・ 三崎地区・榎原地区 (三浦市、民間)		ほ場の整備		事業支援

③新産業の創出と交流・研究開発拠点の形成

世界各地の人々が出会い、交流し、研究開発に取り組む交流拠点を整備し、企業の誘致を進めるとともに、新たな産業の創出を促進します。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 湘南国際村の整備促進 (県、横須賀市、葉山町、民間)		基盤整備、民間系施設・公共系施設の誘致・集積等		事業実施 ・ 支援 ・ 連携
2 横須賀リサーチパークの整備促進 (横須賀市、民間)		民間系施設・公共系施設の誘致・集積		事業連携
3 Y-HEART計画*1の促進 (横須賀市、民間)		民間系施設・公共系施設の誘致・集積		事業連携
4 新産業創出の環境整備 (県、市町、民間)		地域の特性などを生かした新産業創出構想の策定		事業連携
		フォーラムやセミナーなどによる起業家人材の発掘・育成		事業実施

*1 Y-HEART(ワイハート)計画…人間科学分野に関する研究開発拠点の形成を目的とする計画
Yokosuka Human Environmental Advanced Research Town



湘南国際村



三崎漁港

④幹線道路網の整備促進

地域の活力を支え産業や交流の基盤となる幹線道路網の整備を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 交流幹線道路網などの整備				
・ 三浦縦貫道路（Ⅱ期） (県)	調査		整備	事業実施
・ (都) 安浦下浦線 (県)		整備		事業実施
・ (都) 久里浜田浦線 (県)		整備		事業実施
・ 県道311号（鎌倉葉山） (県)		整備		事業実施
・ (都) 腰越大船線大船立体 (県)	調査		整備	事業実施
2 自動車専用道路の整備 (道路公団)		横浜横須賀道路の延伸		事業連携
3 インターチェンジ接続道路の整備 (県)		(都) 大津長沢線の整備		事業実施

横須賀
三浦地区

3 やすらぎ・うるおい・にぎわい半島づくり

①三浦半島ぐるり一周プロムナード構想の推進

三浦半島をぐるりと歩く道をつなぎ、住む人も訪れる人も海とみどりと歴史・文化にふれあいながら、半島の魅力を楽しめるプロムナードづくりを進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 うみかぜの路（海と緑の10,000メートルプロムナード）の整備 (国、県、横須賀市)		整備		事業実施
2 逗子海岸ボードウォークの整備 (逗子市)		整備計画検討、実施設計		事業支援
3 葉山海岸遊歩道（仮称）の整備 (県、葉山町)		計画策定、離岸堤・遊歩道整備		事業実施 ・支援
4 三浦海岸遊歩道の整備 (県)	修景護岸整備			事業実施



うみかぜの路
(三笠公園)



若宮大路さわやかロード
(アダプト・プログラム)



鎌倉文学館
(近代建築物の保全・活用)

②人にやさしいまちづくり

高齢者や障害者をはじめすべての人が安心して生活し、自由に移動し、生き生きとくらせるまちづくりに取り組むとともに、まちの美化を地域の人々と協働で進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 歩道等のバリアフリー化の推進 (県、横須賀市、鎌倉市、逗子市、民間)	バリアフリー化の推進 〔横断歩道に接続する歩道部・バス停・ 段差のない歩道・幅の広い歩道・電線類の 地中化・鉄道駅〕			事業実施 ・支援 ・連携
2 市街地への車両流入抑制策の調査検討 (鎌倉市)	交通需要管理(TDM)*1施策の調査・検討・実施			事業支援
3 市民との協働による美化の推進 (県、市町、民間)	アダプト・プログラム*2の推進 海岸美化キャンペーンの実施			事業実施 ・支援 ・連携
4 地域の障害保健福祉の推進 (県、市町、民間)	計画の改定		計画の推進	事業実施

③歴史の継承・文化とのふれあい

武家の古都・鎌倉をはじめ三浦半島に残る多彩な歴史的遺産の保存・整備を進めるとともに、これらを活用した地域づくりや文化とのふれあいの場づくりを進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 「武家の古都・鎌倉」の世界遺産への登録推進 ・ 世界遺産への登録推進 (鎌倉市)	候補遺産確定 候補遺産の「保存管理計画」策定 史跡などの新指定・追加指定			事業支援
・ 永福寺跡 (鎌倉市)		保存・整備		事業支援
・ 和賀江嶋 (鎌倉市)	保存・整備手法に対する調査・検討			事業支援
2 赤坂遺跡の保存・整備 (三浦市)	指定手続き		指定地の公有化	事業支援
3 長柄桜山古墳群の調査・整備 (逗子市、葉山町)		指定地の公有化 史跡整備検討委員会 発掘調査		事業支援
4 横須賀市美術館(仮称)の建設 (横須賀市)		建設工事	開館準備	事業支援
5 近代建築物などを保全活用した地域づくり (県、鎌倉市、葉山町、民間)	近代建築物などの保全・活用 新たな活用手法の検討			事業実施 ・連携

* 1 交通需要管理(TDM) … TDM: Transportation Demand Management. 車を利用している人に対して、公共交通機関への利用の転換や、あるいは行動パターンを変更することにより、都市や地域の交通混雑を緩和する施策をいいます。

* 2 アダプト・プログラム … 市民と行政が協働で進める「まち美化プログラム」であり、道路や公園など公共の場所について、その管理者と市民との合意のもとに、市民が美化を行い、行政が支援するもの

④にぎわい拠点づくり

人々のくらしや交流の拠点となるまちやエリアの魅力を高め、にぎわいを創出するため、拠点地区の整備を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 葉山港みなとまちづくりの推進 (県、葉山町、民間)	ヨットハウスなどの施設整備 みなとまちづくり協議会の活動			事業実施・連携
2 地域交流拠点の形成				
・ 浦賀港周辺地区 (横須賀市、民間)	再整備計画に基づく整備			事業支援
・ 横須賀中央駅周辺地区 (横須賀市)	図書館等公益施設整備			事業支援
・ JR横須賀駅前地区 (県、横須賀市)	計画策定・事業実施			事業実施
・ 鎌倉駅周辺地区 (鎌倉市、民間)	計画策定・事業実施			事業支援
・ 大船駅東口地区 (鎌倉市)	計画策定・事業実施			事業支援
・ 大船駅西口地区 (鎌倉市)	計画策定・事業実施			事業支援
・ 深沢地区 (鎌倉市、民間)	計画策定・事業実施			事業支援
・ JR逗子駅周辺地区 (逗子市)	整備内容の検討、促進			事業支援
・ 三浦小網代中心拠点地区 (三浦市、民間)	整備計画の策定、促進			事業支援

横須賀
三浦地区

民との協働

エコミュージアム活動

三浦半島の各地域では、住民があるいは住民と行政が協働して、豊かな自然や歴史、生活文化など地域のあるがままの姿を「生きた博物館」と見立て、住民自らが学習し、調査研究し、保全していく「エコミュージアム活動」が盛んに行われており、こうした地域の人々の活動が、「やすらぎ・うるおい・にぎわい半島づくり」につながっています。



長屋門イベント

⑤地域資源の活用・ネットワーク形成

三浦半島の自然や歴史、生活文化、産業など多彩な資源を発掘し、これらの資源を活用し連携を図りながら、多くの人々が訪れ交流する“にぎわい”の場をつくり、地域力を創造します。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 三浦半島地域創造事業プログラム*1の策定・推進 (県、市町、民間)	地域資源など調査	事業プログラム策定	推進	事業実施
2 地域の特色を生かした観光魅力づくり (県、横須賀市、逗子市、三浦市、葉山町、民間)	観光プログラム開発	プロモーション活動		事業実施
3 エコツーリズム*2の推進 (三浦市、民間)	推進体制の整備	エコツアーの開発	エコツアーの展開	事業連携
4 海の体験学習の場づくり (県、民間)		体制づくり	施設整備	事業実施
5 地域と連携した保健・医療・福祉人材の養成 (県)		人材の養成		事業実施

*1 三浦半島地域創造事業プログラム…三浦半島の自然と多様な産業基盤、文化遺産などが連携を図りながら一体となって地域を創造するための実行計画

*2 エコツーリズム…地域の自然・歴史・文化などに親しみながら、これら地域資源の保護・保全への理解や関心を深める観光

横須賀三浦地区で展開される主な取組み

「神奈川力構想・プロジェクト51」の実施計画に記載されている「主な施策・事業」及び「まちづくり事業」のうち、横須賀三浦地区で展開される主なものを紹介します。

I 安心してらせる福祉・医療の基盤整備

「神奈川力構想・プロジェクト51」 137～142ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
5 保健・医療・福祉人材の養成・確保	・ 県立保健福祉大学における人材の養成及び地域に開かれた大学の運営
33 福祉のまちづくりの推進	・ 都市公園のバリアフリー化の推進 ・ 福祉のまちづくり計画を進める市町村への支援

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

1 地域医療の機能別整備	2 救急医療体制の強化 *
7 保健・医療・福祉現任者教育の充実と専門性の向上	8 生活習慣病対策の推進 *
9 8020運動（歯科保健）の推進 *	10 母子保健の推進 *
11 難治性疾患対策の充実 *	12 感染症対策の充実 *
13 エイズに関する教育、普及・啓発活動の充実と民間活動への支援 *	14 エイズに関する相談・検査及び医療体制の充実 *
18 地域における福祉コミュニティづくりの促進	20 権利擁護の推進 *
21 介護保険制度の定着と適切なサービスの提供	22 介護保険施設などの着実な整備 *
23 高齢者の介護予防などの取組みの充実 *	24 高齢者の社会参画活動への支援 *
25 身体・知的障害者の支援費制度に基づく福祉サービスの充実 *	26 身体・知的障害者の日常生活への支援の充実 *
27 身体・知的障害者の就労・社会参加の促進 *	28 障害特性を踏まえた民間障害福祉施設などの整備・充実 *
31 精神障害者福祉の充実 *	

II 県民の安全・安心の確保

「神奈川力構想・プロジェクト51」 143～149ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
35 安全で安心な食の確保 *	・ 養殖業に対する防疫と安全の指導
42 緊急輸送路などの整備	・ 緊急輸送路となる道路の整備（国道134号の道路法面の防災対策） ・ 緊急輸送路となる橋りょうの整備（県道215号（上宮田金田三崎港）毘沙門高架橋の耐震対策） ・ 緊急輸送路と連携する緊急物資受入港の機能充実（葉山港の防災施設の整備）
44 石油コンビナートなどの防災対策の推進	・ 横須賀市内の石油コンビナート等特別防災区域における災害対策の推進
45 原子力災害対策の推進	・ 横須賀市内の原子力事業所などにかかる災害対策の推進
46 治水対策の推進	・ 都市河川重点整備「かながわSafetyリバー50」（田越川の護岸整備、柏尾川の河床掘削） ・ 田越川のプレジャーボート保管施設の整備
47 海岸保全施設の整備	・ 津波・高潮対策の推進（横須賀海岸） ・ 侵食対策の推進（葉山海岸の離岸堤の整備） ・ 漁港海岸の侵食防止（北下浦漁港）
48 土砂災害防止施設などの整備	・ 砂防施設の整備（下山川） ・ 地すべり防止施設の整備（平作4丁目、大沢） ・ 急傾斜地崩壊防止施設の整備（極楽寺2丁目F地区、栗田2丁目E地区、長井1丁目A地区、晴海町D地区）
49 水辺施設の保全の推進	・ 港湾施設の保全（葉山港の港湾施設の補修）
50 安全防災を支える農林水産業の推進	・ 治山事業の推進（長柄、二階堂） ・ 災害に強い漁港の整備（三崎漁港、長井漁港、佐島漁港、間口漁港、北下浦漁港）
53 災害時広域応援体制の強化	・ 災害時における在日米軍との相互協力の推進
72 交通安全施設などの整備	・ 県道207号（森戸海岸）の交差点改良
80 基地の整理・縮小及び返還の促進	・ 関係自治体との連携による基地の整理、縮小及び返還に対する積極的な要請活動の展開 ・ 米軍基地の跡地利用計画の策定支援
81 基地周辺住民の安全、福祉の確立と良好な生活環境の確保	・ 横須賀基地防犯連絡会議の開催などによる基地周辺住民の安全と福祉の向上

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

36 浴場のレジオネラ症発生防止対策の推進 *	38 消費者被害などの未然防止と救済
52 市町村地震防災対策への総合的支援	63 身近な犯罪の予防・検挙活動の推進
70 生涯にわたる交通安全教育の推進	73 効果的な交通指導取締りの推進
78 警察施設・装備の整備	

*がついている主な施策については、中核市が事業主体となる事業を含んでいます。
これらについては、県民に身近な、地域における保健・医療・福祉などに対する市の取組みを支援するとともに、進む少子・高齢化への対応などについて広域的な観点から県の役割に応じた取組みを進めます。

Ⅲ 未来を担う人づくり 「神奈川力構想・プロジェクト51」 150～154ページ

・・・ **各地区共通に取り組む主な施策・事業** ・・・

- | | | | |
|-----|----------------------|-----|--------------------------|
| 82 | 子育てを支える地域社会の基盤の充実* | 83 | 保育所などの整備・拡充の促進* |
| 84 | 多様な保育サービスの拡充* | 85 | 児童虐待の防止に向けた取組みの促進 |
| 86 | 児童養護施設などにおける専門的ケアの充実 | 90 | 不登校・ひきこもり、いじめ・暴力行為などへの対応 |
| 94 | 学校と地域社会との交流の活性化 | 95 | 新しいタイプの高校の設置拡大 |
| 98 | 快適な教育環境の整備 | 99 | 県立学校などの防災対策の推進 |
| 106 | 青少年問題への総合的取組みの推進 | 107 | 青少年を取り巻く社会環境の健全化の推進 |
| 109 | 教育相談の充実 | 110 | 家庭、地域の教育機能の充実 |
| 111 | 青少年の多様な体験活動の促進 | | |

横須賀
三浦地区

Ⅳ 産業振興による地域経済の活性化 「神奈川力構想・プロジェクト51」 155～160ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
131 地域の特性を生かした産業の振興	・横須賀三浦地域産業振興協議会を核とした地域からの産業振興（創業応援キャラバン、創業者育成塾、インキュベート施設整備の促進、大学技術の企業への紹介等） ・鎌倉彫の後継者育成事業などに対する助成
133 かながわツーリズムの推進	・三浦半島地域をモデル地区とした観光魅力づくりの推進
140 地産地消による農林水産業の振興	・漁獲物の鮮度保持施設の整備に対する支援 ・中高年ホームファーマーの育成 ・学校給食への導入などをめざした「魚を食べること」への理解促進 ・全国豊かな海づくり大会を通じた「魚を食べること」の普及の推進
141 資源の有効活用による農林水産業の振興	・カタクチイワシなどの付加価値向上のための技術開発
143 環境に配慮した農業生産基盤の確保と整備	・畑地帯総合整備（初声・仲田元屋舗地区） ・ほ場の整備の推進（三戸小網代地区、三崎地区、榎原地区）
145 水産基盤の整備	・漁港の整備（三崎漁港） ・市町営漁港の整備 ・漁港区域の海岸整備（北下浦漁港海岸） ・魚礁などの設置による漁場造成
147 地域に即した生産の振興	・栽培漁業の推進による沿岸漁業の振興 ・資源管理型漁業の推進による沿岸・沖合漁業の振興
151 多様な生物が生息する水辺環境の保全と創造	・小田和湾でのアマモ場などの藻場造成技術開発
154 都市住民も参加した海業の推進	・三崎漁港におけるプレジャーボートの漁港内の利用調整と漁港の効率的利用の推進 ・漁業経営へ遊漁の積極的導入 ・漁業・遊漁・海洋レジャーの利用調整

・・・ **各地区共通に取り組む主な施策・事業** ・・・

- | | | | |
|-----|-------------------|-----|----------------------|
| 120 | ベンチャー企業の創出・育成 | 121 | 新規成長分野の産業振興 |
| 122 | 企業誘致の促進 | 125 | 産学公連携による事業化・商品化への支援 |
| 126 | ものづくり高度化への支援 | 129 | 経営革新への支援 |
| 130 | まちのにぎわいを創出する産業の振興 | 132 | コミュニティビジネスの創出促進 |
| 142 | 地域における農政の総合推進 | 144 | 森林づくりを支える基盤の整備と森林の保全 |
| 146 | 農林水産業の経営基盤の強化 | 150 | 農地の持つ多面的機能の発揮 |
| 152 | 環境にやさしい農業の推進 | | |

V 地域からの環境の保全と創造

「神奈川力構想・プロジェクト51」 161～164ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
156 廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	・ 民間施設の安全性のモデルとなる県立県営の産業廃棄物最終処分場の建設、運営
176 都市と里山のみどりの保全と活用	・ 小網代の森の保全、里山づくりの推進
・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・	
157 不法投棄の防止対策の推進	158 地球温暖化対策の推進
160 新エネルギー導入の推進	162 総合的な環境教育の推進
164 環境にやさしいライフスタイルの促進	165 事業者・消費者としての県の環境配慮への率先的取り組み
166 参加と協働による環境保全のためのしくみづくり	169 環境に配慮した土地利用の推進
170 水環境保全対策の推進	177 自然とのふれあいと県民と一体となった森林の保全

VI 心豊かなくらしと共生社会の実現

「神奈川力構想・プロジェクト51」 165～170ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
207 環境分野における人、技術、情報の国際交流の推進	・ (財)地球環境戦略研究機関への支援
212 湘南国際村の整備促進	・ 民間系・公共系施設の集積促進 ・ 湘南国際村における国際交流機能の充実
・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・	
183 文化財の保存と活用	185 県立社会教育施設などの生涯学習機能の活用
186 学習内容の深化と成果を活用する場づくり	190 スポーツ活動を支えるしくみづくり
192 スポーツ活動の多様な場づくり	193 NPOなどとの協働・連携による公的サービスの推進
194 ボランティア活動支援の推進	195 NPOなどに関する情報提供・相談体制の充実
200 家庭と仕事などの両立支援*	201 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重
203 地球市民意識の醸成と多文化理解の推進	204 非核・平和意識の普及
205 世界の地域との交流の推進	206 アジア地域などへの国際協力の推進
208 外国籍県民とともに生きるしくみづくり	209 外国籍県民がくらしやすい環境づくり
210 県民の国際活動の支援	211 県民の国際活動との協働・連携の促進
215 県政への県民参加の充実	

【主な施策】	【取り組む内容】
222 多摩三浦丘陵のみどりの保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・「三浦半島公園圏構想」の策定・推進 ・三浦半島国営公園の誘致促進 ・県立都市公園などの整備（観音崎公園・城ヶ島公園、塚山公園・葉山公園・はやま三ヶ岡山緑地）
227 相模湾沿岸の地域資源を生かした魅力ある地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・相模湾沿岸地域保全等構想の策定
228 「うるおい」「にぎわい」「活力」のある三浦半島の創造	<ul style="list-style-type: none"> ・三浦半島地域創造事業プログラムの策定・推進
234 みなとまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・葉山港の再整備
235 自動車専用道路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・高速横浜環状南線、横浜湘南道路、横浜横須賀道路延伸、東京湾口道路の計画の推進
236 インターチェンジ接続道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・(都)大津長沢線
237 交流幹線道路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・(都)安浦下浦線、(都)久里浜田浦線、三浦縦貫道路(Ⅱ期)、県道311号(鎌倉葉山)
238 地域分断・交通のボトルネックの解消	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道との立体交差化((都)腰越大船線大船立体)
239 道路施設の適正な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・橋りょうの修繕及び補強(県道215号(上宮田金田三崎港)宮川橋の補修) ・舗装の補修(県道26号(横須賀三崎)) ・安全施設の維持(県道214号(武上宮田)の歩道補修)
244 安全・安心に配慮した住まいづくり*	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・障害者向け公営住宅の整備、改善の推進(県営追浜第二団地)
251 みどりを保全・活用するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりを生かしたたけ崩れ対策(西逸見町1丁目A地区、公郷町5丁目B地区、長井1丁目A地区の急傾斜地崩壊防止施設の整備)
252 都市公園などの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・県立都市公園などの整備 ・近代建造物と邸園を保全活用した地域づくり
253 うるおいのあるみち空間の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の整備(県道211号(久里浜港久里浜停車場)) ・幅の広い歩道の整備(国道134号) ・電線の地中化(国道134号) ・段差のない歩道の整備(県道214号(武上宮田))
254 都市景観の保全と創造	<ul style="list-style-type: none"> ・相模湾沿岸における「景観まちづくりのための指針」の策定
<p>・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……</p>	
232 公共交通整備の総合的な推進	243 良質な都市型住宅の供給と住環境の整備
249 下水道整備の推進	256 環境への負荷を軽減するまちづくり

横須賀
三浦地区

2 環境共生生活都市圏

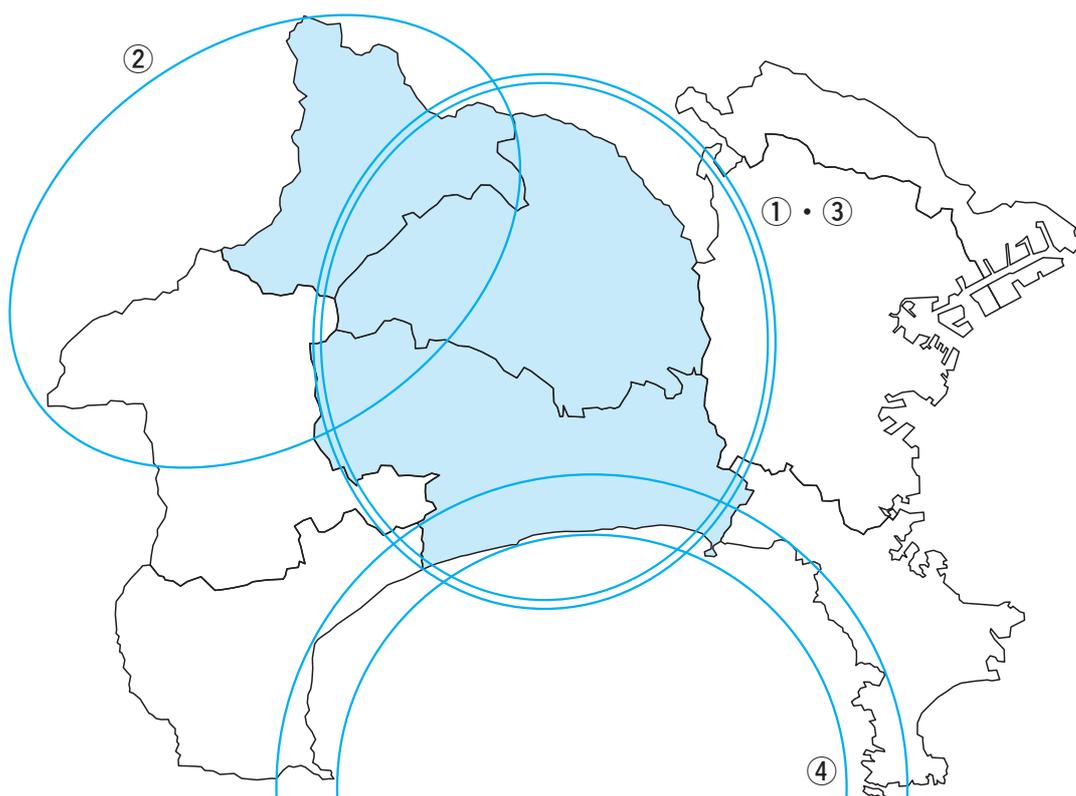
丹沢から相模川や境川、引地川、金目川の流域を一体としてとらえた、津久井から県央、湘南を含む県中央部の地域

■ 地域政策圏形成の基本的方向

神奈川における東西交流・南北交流の結節地域として、みどりの中で産業と調和する生活都市をめざし、広域的な交通機能の整備を踏まえた生活環境や生産環境の整備を進めます。

県央・湘南地区では、良好な自然環境の保全を図りつつ、交通拠点の整備など、生活環境や生産環境を高めるとともに、業務核都市の機能強化にも配慮した土地利用を進めます。

津久井地区では、豊かな自然環境を保全しつつ、都市基盤を整備し、文化や産業の振興などによる地域主体のまちづくりと地域の活性化につながる土地利用を進めます。



※ ○はおおよその対象地域を示したものです。

- ① 県央・湘南都市圏の整備
- ② 水源地域の総合保全整備

- ③ 都市緑化ベルトの整備
- ④ 相模湾沿岸地域の保全・創造

■ 各地区の施策の方向

IV 津久井地区

森と湖の都 人と自然と産業が共生するまち・津久井

【施策の方向】

- 1 水源地の豊かな自然を守り活用した魅力ある地域づくり
- 2 都市との交流による魅力ある産業づくり
- 3 地域に活力を与える道路などの基盤整備

V 県央地区

うるおいと活力にあふれる快適環境都市圏・県央

【施策の方向】

- 1 自然と共生するうるおいのあるまちづくり
- 2 安心して快適にらせるまちづくり
- 3 産業の創出・活性化と地域振興によるまちづくり

VI 湘南地区

地域力がいきづく躍動都市圏・湘南

【施策の方向】

- 1 湘南の海、大地、風と共生する都市圏の整備
- 2 湘南の暮らしと文化を支える交通ネットワークの形成と拠点整備
- 3 湘南の地域力を活用した産業の振興

■ 広域的な取組みの方向

○南北・東西の交通ネットワークの形成と都市連携

■交通の要衝地として交通基盤を整備し、都市間相互の連携を図るなど①**県央・湘南都市圏の整備**を図ります。津久井地区と相模原方面を結ぶ道路の整備を進めるとともに、JR相模線沿線の活性化を図り同線の利用を促進することでJR相模線の複線化など交通の利便性向上を図ります。

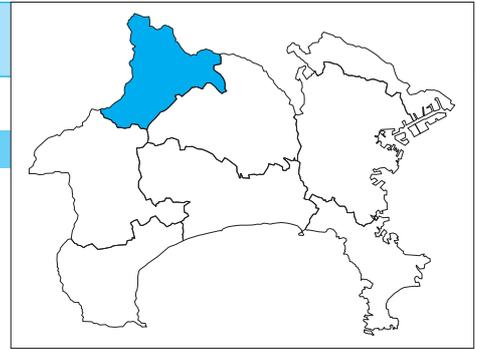
○川・山・みどり・海岸の自然の連なりを生かした保全と活用

■神奈川の水源地域の森林を守り育てるとともに、相模川流域環境保全行動などにより水源地域の環境に対する負荷の低減を図り、良好な水環境の創造に取り組み、②**水源地域の総合保全整備**を進めます。

■相模川流域などの貴重なみどりの保全と、積極的なみどりの創造に取り組み、③**都市緑化ベルトの整備**を図ります。

■浜辺のみどりなどの豊かな自然環境や近代の保養所・別荘の立地などの歴史・文化、特筆すべき景観など相模湾沿岸の地域資源を守り、生かし、発信するための地域づくりを県民と行政が協働・連携して進めていくことで④**相模湾沿岸地域の保全・創造**を図ります。また、海岸のつながりを生かし鎌倉を含めた湘南の観光を振興します。

IV 津久井地区



■ 地域の将来像

森と湖の都 人と自然と産業が共生するまち・津久井

豊かな自然と地域資源が一体的に結びついた
産業の振興による交流とにぎわいをめざして

1 地域の課題

津久井地区の森や清流、湖などの豊かな自然は、県民の水源地として、また、ゆとりとうるおいをもたらす身近な憩いの場として大切な役割を果たしています。

この地域では水源地域という環境特性に配慮しつつ、都市基盤整備や生活に根ざした芸術・文化のまちづくり、自然を生かした特色ある地域産業の振興などに取り組んできましたが、引き続き自然環境と共生する地域づくりを進めていきます。

(1) 水源地域の環境保全とみどり豊かな自然の活用

豊かな自然環境は地域住民の深い関わりにより保全されてきましたが、近年の都市化の進展による自然への負荷や森林の荒廃などのため、環境の悪化が顕在化してきています。良好な環境を保全するため、都市住民と連携し、県民・行政一体の取組みが必要です。また、地域の住民が自然を生かし、豊かに生き生きとくらす地域づくりが必要です。

(2) 地域の特色を生かした魅力ある産業づくり

津久井地区は、中山間地域という地勢上の制約や鉄道駅へのアクセスなどが要因となり、商工業は盛んとはいえず、農業も平均耕作面積が非常に少ない小規模複合経営となっています。農業従事者の高齢化と後継者不足、さらにニホンザルなどの鳥獣による農作物被害の拡大による生産意欲の減退などにより、耕作放棄による農地の荒廃が進んでいます。

そこで、地域の豊かな自然・歴史・文化的資源と農林・商工業などを一体的に結びつけた「地域の魅力づくり」を行い、観光客の誘致など地域の特色を生かした産業の振興が求められています。

(3) 交通ネットワークの形成

地勢上の制約による道路網の不足のため幹線道路は朝夕の通勤通学時や休日に交通渋滞が生じており、さらに公共交通（バス路線）の撤退も相次いでいることから産業活動や住民生活に支障をきたしています。この地域を広域的に連携させ多様な交流を促進させる幹線道路網の整備などによる交通ネットワークの形成が望まれています。

地区の数値データ（指標）

基礎データ

- ・ 総人口 73,960人 (0.9%)
- ・ 総面積 238.44km² (9.9%)

※（ ）内は全県に占める割合

○生活排水処理施設整備状況

(単位：%)

2001	2002	2003
51.6 (94.3)	55.6 (94.7)	57.1 (95.3)

※〔 〕内は、県全体の整備率

(「大気水質課調べ」より作成)

○入込観光客数

(暦年) (単位：千人)

1983	1993	2003
4,328 (3.4%)	3,104 (2.0%)	2,688 (1.8%)

(「神奈川県入込観光客調査報告書」
神奈川県観光振興対策協議会)より作成)

○販売農家戸数、耕地面積、耕作放棄地

項目	1990	1995	2000
販売農家数(戸)	826 (3.3%)	593 (2.7%)	460 (2.4%)
65歳以上の農業就業人口比率(%)	40.7 (-)	52.7 (-)	62.3 (-)
耕地面積(ha)	1,176 (4.4%)	981 (4.1%)	812 (3.7%)
耕作放棄地(ha)	186 (12.5%)	155 (12.8%)	164 (11.3%)

(耕地面積は「神奈川県農林統計年報」、
他は「世界農林業センサス結果概要」より作成)

○主要道路の平日12時間交通量

(単位：台)

路線名	観測点	1990	1994	1999
国道412号	津久井町長竹	8,175	9,450	11,422
国道412号	津久井町三ヶ木	8,061	9,090	12,078
国道413号	津久井町中野	13,844	14,228	15,466
国道413号	城山町久保沢	12,031	11,010	12,471

※交通量は、乗用車・バス・小型貨物・普通貨物の合計

※午前7時から午後7時までの交通量

(「道路交通情報調査」より)

2 地域の将来ビジョン

地域の魅力を高めるため豊かな自然環境の保全と活用、地域資源と観光を一体的に結びつけた産業の振興により地域の活性化を促進し、交流によるにぎわいと地域の人々が自立したうらおいのあるまちづくりをめざします。

(1) 水源地の豊かな自然を守り活用した魅力ある地域づくり

良好な自然環境を保全し良質な水資源を確保するため、県民と行政が協働して水源地域の森林を守り育てていくとともに、水質保全対策および不法投棄の防止対策に取り組みます。また、守るばかりではなく、だれもが身近に自然とふれあうことのできる魅力あふれる自然公園の整備を促進するとともに、上下流の交流により水源地域を都市地域住民に理解してもらうための施設を整備するなど自然環境の活用を図ります。

(2) 都市との交流による魅力ある産業づくり

豊かな自然・歴史・文化などの資源と地域の特産品などを活用した新しい魅力ある郷づくりをめざして観光を基幹とした産業振興を図ります。都市地域との交流を軸に都市公園や観光・体験農園などの施設整備を進めるとともに、中高年ホームファーマー*1の育成などにより農業の多様な担い手を育成・確保することで耕作放棄地などの再生を図ります。また、鳥獣被害対策の推進や県産木材の有効活用を促進します。

(3) 地域に活力を与える道路などの基盤整備

津久井広域道路やさがみ縦貫道路など幹線道路の整備を進めることで、広域的な交流連携を図るとともに地域を支える交通ネットワークの形成を促進して地域の活性化を図ります。また、通学路などの歩道整備や自然災害に備えた治山治水事業を進めるなど、地域住民の安全・安心の確保に努めます。

津久井
地区

3 地域構想図



* 1 中高年ホームファーマー…中高年ホームファーマー事業とは、主として耕作されなくなった農地を県が農家から借り受け、借りた農地を耕作できる状態にし、中高年の方などに耕作していただくもので、県民の皆さんに健康と生きがいの場を提供し、併せて耕作放棄地を防止し、農地の保全を図るものです。

■ 地域プロジェクト

1 水源地の豊かな自然を守り活用した魅力ある地域づくり

①水源地域の環境保全

津久井地区の良好な自然環境を保全し良質な水資源を確保するため、県民と行政が一体となって水源地域の森林を守り育てていくとともに、水質保全と不法投棄対策に取り組めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 県民との協働による水源の森林づくり (県、町、民間)	水源林の確保・整備			事業実施 ・支援
2 ダム貯水池の水質浄化対策の推進 (県)	エアレーション装置などによる水質浄化			事業実施
3 ダム貯水池対策の推進(ダム貯水池の堆砂対策) (県)	堆積土砂の除去及び流入土砂の抑制			事業実施
4 生活排水処理施設整備の促進 (県、町)	施設整備の促進			事業実施 ・支援
5 不法投棄の防止対策の推進 (県、町、民間)	監視パトロール・撤去、防護柵の設置			事業実施 ・支援 ・連携



ダム貯水池の堆砂対策(堆積土砂の除去)

民との協働

森の再生を目指す森林ボランティア

市民参加による森林整備「森林ボランティア」は、各地で活動を行っています。一例として相模湖町嵐山の森林を活動フィールドにしているNPO法人は、下草刈りなどの森林整備をはじめ、生態系調査、炭焼き、間伐材利用などさまざまな活動を行っています。

県はこれら森林ボランティアの団体と協働して森林づくりを進めています。



②みどり豊かな自然の活用

豊かな自然環境を活用するため、自然公園などの整備を促進するとともに、都市住民の理解を深め連携する機会を提供し、その拠点となる施設の整備を図ります。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 県立自然公園などの整備と活用				
・ 県立陣馬相模湖自然公園 (県、相模湖町、藤野町)	公園計画の見直し	公園歩道などの整備		事業実施 ・ 連携
・ 丹沢大山国定公園 (県)	公園歩道などの整備			事業実施
2 水源地域交流の里づくり				
・ 交流基盤の整備 (津久井町) (藤野町)	青根交流センター(仮称)の整備 篠原の里交流センター(仮称)の整備			事業支援
・ 地域資源を活用した各種交流イベントの実施 (県、町、民間)		イベントの開催		事業実施 ・ 支援



陣馬山山頂付近



交流イベント(さがみこファームフェスタ)

津久井
地区

2 都市との交流による魅力ある産業づくり

①都市公園など観光拠点づくり

歴史風土や里山の伝統・文化などを活用した観光拠点施設として、都市公園の整備や民間活力を生かした里山づくりなどを推進します。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 魅力ある都市公園などの整備				
・ 津久井湖城山公園 (県)		園路などの整備		事業実施
・ 川尻歴史公園 (城山町)		発掘調査・用地購入		事業支援
2 都市住民との交流による里山づくりの推進				
・ 小松・城北地区の整備 (県、城山町)		事業計画及び保存活動・簡易整備		事業実施 ・ 支援
・ ふじの里山くらぶへの支援 (民間)		事業支援		事業支援



県立津久井湖城山公園(水の苑地)

民との協働

住民の手による里山保全

県は、里山の再生を目的とした「里山推進事業」を進めています。この事業は、農家や地域住民などを交えた推進体制を整備し、ワークショップを通じて里山保全のあり方や保全活動などの事業計画づくりを支援するものです。

津久井地区では、城山湖東側に位置する城山町小松・城北地区がモデル地区に指定され、2004（平成16）年4月に「小松・城北」里山を守る会が発足し、里山保全による「農」の再生や地域の活性化に取り組んでいます。



②地域資源を活用した観光魅力づくり

自然・歴史・文化や特産品など地域の観光資源の開発・活用を図り、地域の活性化と一体となった魅力ある観光産業づくりを推進します。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 魅力ある観光産業の育成				
・ 新たなイベントの開発やプロモーション活動の実施 (県、町、民間)	検討会開催	事業実施		事業実施 ・ 連携
・ ゾーン別観光メニュー・コースの策定、モデルツアーの企画 (県、町、民間)	検討会開催	事業実施		事業実施 ・ 連携
・ 観光スポットの整備 (県、町、民間)		施設案内などの整備		事業実施 ・ 連携
2 藤野フィルムコミッション*1事業の推進 (藤野町)		事業実施		事業連携
3 藤野ふるさと芸術村の新たな推進 (藤野町)		事業実施		事業連携
4 グリーンツーリズム*2の推進				
・ 森林ミュージアム事業実施に伴う体験型観光の推進 (津久井町)		事業実施		事業連携
・ 篠原の里交流センター（仮称）の整備に伴う体験型観光の推進 (藤野町)		事業実施		事業連携



藤野フィルムコミッション事業の推進



正覚寺滝つつじ（観光スポット）

* 1 フィルムコミッション…自治体や商工会議所が設置する映像製作を支援する非営利機関で、映画やTV番組などの撮影を誘致して幅広く支援を行う組織。

* 2 グリーンツーリズム…みどり豊かな自然や美しい景観、個性豊かな伝統文化や人情味あふれる日常生活など、都会にはないゆとりとやすらぎを求めて、農村にゆっくり滞在することを目的とした旅行のことです。

③特色ある農林業の展開

都市地域との交流を軸にした地域特産物の育成・販売、ふれあいの場の整備や農業の多様な担い手の育成を図るとともに鳥獣被害対策を推進します。また、間伐材など県産木材の活用促進によって林業の振興を図ります。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 地産地消*1を推進する「みのりの郷(さと)」づくり ・ 地域特産物の産地育成 (民間)	検討	整備 (苗木生産)	生産	事業支援
・ 地域特産品販売・加工施設の整備 (民間)	検討	計画づくり	整備	事業支援
2 優良肉用繁殖雌牛導入による畜産振興 (県)	肉用繁殖雌牛の導入			事業実施
3 都市住民との交流による耕作放棄地の有効活用 (県)	中高年ホームファーマーの育成			事業実施
4 鳥獣被害対策の推進 (県、町、民間)	広域獣害防止柵の整備 ニホンザルなどの被害対策の推進 生息環境などのモニタリング			事業実施 ・ 支援 ・ 連携
5 県産木材の有効活用の促進 (県、町、民間)	森林整備事業 (間伐・主伐、作業道などの整備)の推進 県産木材の利用の推進			事業実施 ・ 支援

津久井
地区



鳥居原ふれあいの館(直売所)



中高年ホームファーマーの育成と農園整備

*1 地産地消…地元でとれた新鮮で安全な農林水産物を地元で消費すること。食に対する安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解を深める取組みとして期待されています。

3 地域に活力を与える道路などの基盤整備

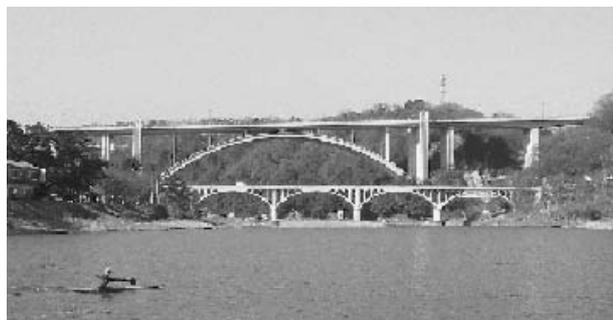
①多様な交流を支える道路網の整備

津久井広域道路やさがみ縦貫道路など幹線道路の整備や通学路の歩道整備などを進め、地域の交通ネットワークの形成を促進します。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 津久井広域道路の整備 (県)		事業実施		事業実施
2 さがみ縦貫道路の整備 (国、道路公団)		事業実施		事業支援 ・連携
3 広域交流幹線道路網の整備 (県)		整備		事業実施
4 地域分断・交通のボトルネックの解消 (県)		国道412号、国道413号 橋りょうの架替		事業実施
5 交通安全施設などの整備 (県、津久井町)		国道413号(東原宿交差点)、 県道48号、県道76号、 県道510号(荒匂橋)、 県道513号(三井大橋歩道橋)、 県道520号(秋川橋)、 名手橋		事業実施 ・支援
6 道路施設の適正な維持管理 (県)		橋りょうの補修、 防災対策の推進		事業実施
7 公共交通整備の推進 (国、県、城山町、津久井町、藤野町)		乗合バス路線維持		事業実施 ・支援 ・連携



橋りょうの架替 県道520号(勝瀬橋)完成予想図



新小倉橋

②自然災害に強い治山治水対策などの推進

地域住民の安全・安心の確保のため、自然災害に強い治山治水対策などを推進します。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 河川・土砂災害防止施設などの整備 (県)	多自然型護岸整備			事業実施
	申川、境川			
	河川環境整備			
	道志川			
	砂防施設整備			
	柏木沢ほか6箇所 急傾斜地崩壊防止施設の整備			
2 治山事業の推進 (県)	与瀬ほか3箇所			事業実施
	治山工事 相模湖地域、道志川地域、串川・鳥屋地域			

津久井
地区



境川多自然型護岸整備



間伐材を使った谷止工（串川地域）

津久井地区で展開される主な取組み

「神奈川力構想・プロジェクト51」の実施計画に記載されている「主な施策・事業」及び「まちづくり事業」のうち、津久井地区で展開される主なものを紹介します。

I 安心してらせる福祉・医療の基盤整備

「神奈川力構想・プロジェクト51」 137～142ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
1 地域医療の機能別整備	・ 地域の中核的病院の整備
18 地域における福祉コミュニティづくりの促進	・ 市町村社会福祉協議会への支援
33 福祉のまちづくりの推進	・ 都市公園のバリアフリー化の推進
・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・	
2 救急医療体制の強化	5 保健・医療・福祉人材の養成・確保
7 保健・医療・福祉現任者教育の充実と専門性の向上	8 生活習慣病対策の推進
9 8020運動（歯科保健）の推進	10 母子保健の推進
11 難治性疾患対策の充実	12 感染症対策の充実
13 エイズに関する教育、普及・啓発活動の充実と民間活動への支援	14 エイズに関する相談・検査及び医療体制の充実
20 権利擁護の推進	21 介護保険制度の定着と適切なサービスの提供
22 介護保険施設などの着実な整備	23 高齢者の介護予防などの取組みの充実
24 高齢者の社会参画活動への支援	25 身体・知的障害者の支援費制度に基づく福祉サービスの充実
26 身体・知的障害者の日常生活への支援の充実	27 身体・知的障害者の就労・社会参加の促進
28 障害特性を踏まえた民間障害福祉施設などの整備・充実	31 精神障害者福祉の充実

II 県民の安全・安心の確保

「神奈川力構想・プロジェクト51」 143～149ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
35 安全で安心な食の確保	・ 養殖業に対する防疫と安全の指導
42 緊急輸送路などの整備	・ 緊急輸送路となる橋りょうの整備（県道76号(山北藤野)大羽橋の耐震対策）
46 治水対策の推進	・ 都市河川の整備（申川、境川の多自然型護岸整備、道志川の河川環境整備）
48 土砂災害防止施設などの整備	・ 砂防施設の整備（葦尾根沢、大久保沢） ・ 急傾斜地崩壊防止施設の整備（与瀬地区） ・ 落石などの危険箇所の整備（県道35号(四日市場上野原)）
50 安全防災を支える農林水産業の推進	・ 治山事業の推進（青根）
51 災害時情報収集・伝達体制の充実	・ 城山ダム放流警報設備の整備
72 交通安全施設などの整備	・ 県道76号(山北藤野)の歩道整備、県道513号(鳥屋川尻)三井大橋、国道413号の交差点改良
・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・	
36 浴場のレジオネラ症発生防止対策の推進	38 消費者被害などの未然防止と救済
52 市町村地震防災対策への総合的支援	53 災害時広域応援体制の強化
63 身近な犯罪の予防・検挙活動の推進	70 生涯にわたる交通安全教育の推進
73 効果的な交通指導取締りの推進	78 警察施設・装備の整備

【主な施策】

【取り組む内容】

101	養護学校の整備による学習機会の確保	・通学に長時間を要する津久井地域における県立養護学校の新設
<p>・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・</p>		
82	子育てを支える地域社会の基盤の充実	83 保育所などの整備・拡充の促進
84	多様な保育サービスの拡充	85 児童虐待の防止に向けた取組みの促進
86	児童養護施設などにおける専門的ケアの充実	90 不登校・ひきこもり、いじめ・暴力行為などへの対応
94	学校と地域社会との交流の活性化	95 新しいタイプの高校の設置拡大
98	快適な教育環境の整備	99 県立学校などの防災対策の推進
106	青少年問題への総合的取組みの推進	107 青少年を取り巻く社会環境の健全化の推進
109	教育相談の充実	110 家庭、地域の教育機能の充実
111	青少年の多様な体験活動の促進	

津久井
地区

Ⅳ 産業振興による地域経済の活性化

【主な施策】

【取り組む内容】

131	地域の特性を生かした産業の振興	・ 県央北地域産業振興協議会を核とした地域からの産業振興（創業応援キャラバン、創業者育成塾、インキュベーター施設整備の促進、大学技術の企業への紹介等）
140	地産地消による農林水産業の振興	・ 中高年ホームファーマーの育成
141	資源の有効活用による農林水産業の振興	・ 計画的な間伐にかかる協定の締結及び間伐材の集材・搬出の支援 ・ 私有林の森林整備への支援
144	森林づくりを支える基盤の整備と森林の保全	・ 林道の計画的な整備（神の川林道等）
147	地域に即した生産の振興	・ アユの種苗放流とワカサギ卵の確保などによる内水面漁業の振興 ・ 茶の生産振興による傾斜地農業の活性化
151	多様な生物が生息する水辺環境の保全と創造	・ カワウやブラックバスなどによる在来魚への食害防止などの技術開発
<p>・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・</p>		
120	ベンチャー企業の創出・育成	121 新規成長分野の産業振興
122	企業誘致の促進	125 産学公連携による事業化・商品化への支援
126	ものづくり高度化への支援	129 経営革新への支援
130	まちのにぎわいを創出する産業の振興	132 コミュニティビジネスの創出促進
142	地域における農政の総合推進	146 農林水産業の経営基盤の強化
150	農地の持つ多面的機能の発揮	152 環境にやさしい農業の推進

V 地域からの環境の保全と創造

「神奈川力構想・プロジェクト51」 161～164ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
160 新エネルギー導入の推進	・木質バイオマスエネルギーなどの活用
167 協働による環境保全活動の実践の推進	・桂川・相模川流域環境保全行動の推進
174 県民との協働による水源の森林づくり	・水源地域の私有林の公的管理・支援の推進
175 丹沢大山などの自然環境の保全としくみづくり	・丹沢大山総合調査の実施 ・自然環境管理システムに基づいた新しい丹沢大山保全計画の策定 ・ニホンジカなどの保護管理の推進 ・ブナ林・林床植生の保全 ・オーバーユース対策の推進 ・丹沢大山地域などにおける鳥獣保護区の指定、被害対策にかかる市町村への支援
176 都市と里山のみどりの保全と活用	・県民主体による里山保全の計画づくりの推進 ・農家や地域住民などによる里山の保全活動への支援
177 自然とのふれあいと県民と一体となった森林の保全	・自然公園の整備と活用(丹沢大山国定公園、県立丹沢大山自然公園) ・宮ヶ瀬湖周辺園地の整備

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・

156 廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	157 不法投棄の防止対策の推進
158 地球温暖化対策の推進	162 総合的な環境教育の推進
164 環境にやさしいライフスタイルの促進	165 事業者・消費者としての県の環境配慮への率先的取組み
166 参加と協働による環境保全のためのしくみづくり	169 環境に配慮した土地利用の推進
170 水環境保全対策の推進	

VI 心豊かなくらしと共生社会の実現

「神奈川力構想・プロジェクト51」 165～170ページ

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・

183 文化財の保存と活用	185 県立社会教育施設などの生涯学習機能の活用
186 学習内容の深化と成果を活用する場づくり	190 スポーツ活動を支えるしくみづくり
192 スポーツ活動の多様な場づくり	193 NPOなどとの協働・連携による公的サービスの推進
194 ボランティア活動支援の推進	195 NPOなどに関する情報提供・相談体制の充実
200 家庭と仕事などの両立支援	201 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重
203 地球市民意識の醸成と多文化理解の推進	204 非核・平和意識の普及
205 世界の地域との交流の推進	206 アジア地域などへの国際協力の推進
207 環境分野における人、技術、情報の国際交流の推進	208 外国籍県民とともに生きるしくみづくり
209 外国籍県民がくらしやすい環境づくり	210 県民の国際活動の支援
211 県民の国際活動との協働・連携の促進	215 県政への県民参加の充実

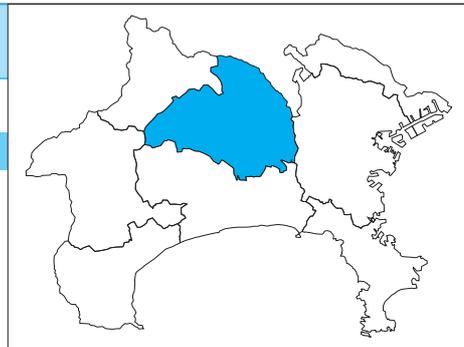
【主な施策】	【取り組む内容】
221 上流と下流の住民で支える水源地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域交流の里づくり ・水源地域上下流間交流の促進 ・水源地域が整備する交流促進施設、情報提供施設の整備への支援
223 相模連携軸整備の推進	・自動車専用道路の整備
235 自動車専用道路網の整備	・さがみ縦貫道路
236 インターチェンジ接続道路の整備	・津久井広域道路
237 交流幹線道路網の整備	・国道412号、国道413号
238 地域分断・交通のボトルネックの解消	<ul style="list-style-type: none"> ・橋りょうの架替（県道510号（長竹川尻）御堂橋、県道520号（吉野上野原停車場）勝瀬橋）
248 水源地域の水環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム湖上流の砂防施設の整備（柏木沢、大久保沢、青山川） ・ダム貯水池保全対策の強化（沼本地区の植物浄化施設の整備）
252 都市公園などの整備	・県立都市公園などの整備（津久井湖城山公園）
253 うるおいのあるみち空間の形成	・段差のない歩道の整備（県道48号（鍛冶谷相模原））

津久井
地区

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 232 公共交通整備の総合的な推進 | 243 良質な都市型住宅の供給と住環境の整備 |
| 244 安全・安心に配慮した住まいづくり | 249 下水道整備の推進 |
| 254 都市景観の保全と創造 | 256 環境への負荷を軽減するまちづくり |

V 県央地区



■ 地域の将来像

うるおいと活力にあふれる 快適環境都市圏・県央

豊かな自然、安全な暮らしと多様な産業が調和した
質の高い都市圏・県央をめざして

1 地域の課題

県央地区は、山、湖、川などの多様な自然環境と都市化の進んだ区域の均衡がとれた地域として、また、東名高速道路などの幹線道路や様々な鉄道路線が集中する交通の要衝の地として発展してきました。しかし、近年では、貴重な自然の喪失、犯罪の多発や交通渋滞の深刻化といった問題が生じているとともに、事業所数の減少傾向にみられるように地域活力の低下も顕在化してきており、こうした課題を解決することが必要になっています。

(1) 良質な生活環境の確保

住みやすい生活環境を創造し、豊かな自然を次の世代に引き継いでいくために、自然環境の保全や、身近に自然とふれあえる工夫をこらしたまちづくりが求められています。さらに、山間部や河川周辺などで不法投棄が多発しており、自然環境や生活環境への影響が懸念されることから、不法投棄を未然に防止することが課題となっています。

(2) 暮らしの安全と利便性の向上

ひたたくり、空き巣など身近な犯罪が多発しており、暮らしの安全が脅かされようとしていることから、安心してらせるまちづくりが求められています。また、著しい交通量に都市基盤整備が追いつかず、市街地の交通渋滞は深刻な状態が続くとともに、交通事故が多発しており、生活の安全と利便性が損なわれていることが重大な問題となっています。さらに、米軍基地の存在がまちづくりそのものに障害を与えているとともに、住民生活に騒音や事故の不安など多くの障害や危険をもたらしており、こうした問題を取り除くことが課題となっています。

(3) 新たな地域活力の創造

工業について事業所数や従業者数の減少傾向がみられるとともに、空き店舗の増加により地域コミュニティとして重要な機能を持つ商店街の働きが沈滞化するなど、地域経済の活力が低下していることから、その活性化が強く求められています。また、地域の資源を活用した観光振興や水源地域の振興が大きな課題となっています。

地区の数値データ（指標）

基礎データ

- ・ 総人口 1,440,818人 (16.6%)
- ・ 総面積 383.22km² (15.9%)

※ () 内は全県に占める割合

○不法投棄箇所数

(単位：箇所)

2000	2001	2002
952 (41.6%)	1,320 (57.3%)	1,399 (58.0%)

(「廃棄物対策課調べ」(毎年度末の市町村との合同パトロールなどで確認した不法投棄箇所数)より作成)

○人口1万人あたりの刑法犯認知件数

(暦年) (単位：件)

2001	2002	2003
264.2 (209.5)	271.8 (220.1)	264.8 (214.2)

※ [] 内は全県

(「神奈川県警察本部調べ」より作成)

○人口1万人あたりの交通事故発生件数

(暦年) (単位：件)

2001	2002	2003
92.2 (80.6)	92.3 (78.3)	88.7 (75.1)

※ [] 内は全県

(「神奈川県警察本部調べ」より作成)

○工業事業所数

(単位：事業所)

1999	2001	2003
3,286 (23.7%)	3,067 (24.3%)	2,876 (24.3%)

2003は速報値

(「神奈川県工業統計調査結果報告」より作成)

○商業事業所数

(単位：店)

1994	1997	2002
13,390 (15.7%)	12,706 (15.7%)	12,392 (16.2%)

(「神奈川県商業統計調査結果報告」より作成)

2 地域の将来ビジョン

自然環境の保全と活用、安心してらせるまちづくり、新しい産業の創出や既存産業の活性化などに取り組むことにより、うるおいと活力にあふれる快適環境都市圏・県央の実現をめざします。

(1) 自然と共生するうるおいのあるまちづくり

山、湖、川などの多様な自然環境の保全を図るとともに、それらの自然に親しむ施設の整備などを進めます。また、不法投棄を未然に防止するための普及啓発活動や監視体制の強化など、不法投棄を許さない地域環境づくりの取組みを進め、良好な生活環境を確保して、自然と共生するうるおいのあるまちづくりをめざします。

(2) 安心して快適にらせるまちづくり

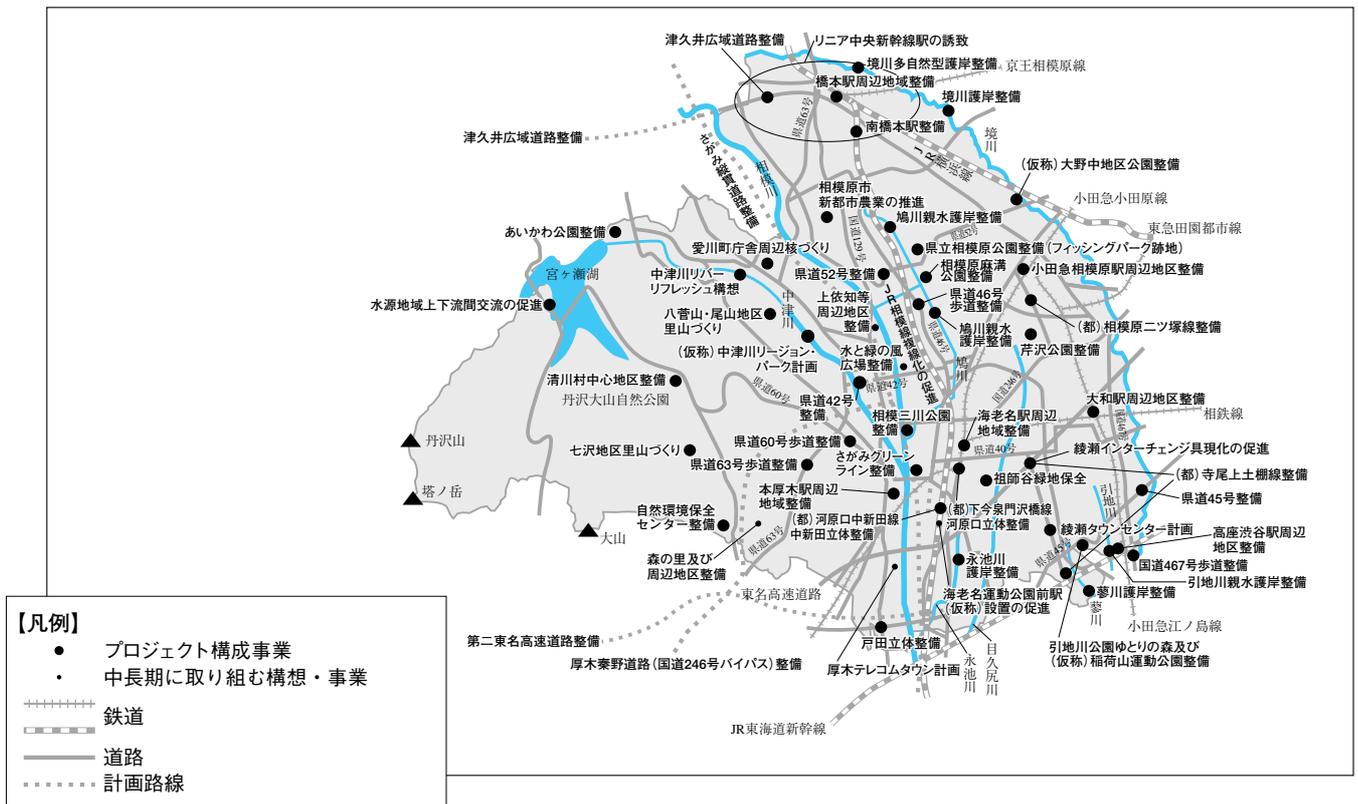
警察のパトロールや検挙活動などの強化と地域住民やNPOなどによる自主防犯活動の活発化により、地域における犯罪抑止機能を高め、犯罪の防止を図ります。また、道路網の整備などを進め、交通渋滞を緩和するとともに交通事故をなくすことにより生活の安全と利便性の向上を図り、安心して快適にらせるまちづくりをめざします。さらに、米軍基地の返還の促進などを行うため、基地に起因する様々な問題に取り組みます。

(3) 産業の創出・活性化と地域振興によるまちづくり

さがみ縦貫道路などの骨格的な道路網整備やJR相模線の複線化、市街地整備などの促進を図り、あわせて新たな交通手段についての調査検討を行うとともに、地域間交流の活発化や産学公の連携推進などによる新しい産業の創出、既存産業の活性化を図ります。また、魅力ある商店街や商業地域の整備により地域のにぎわいを生み出すとともに、地域の多様な資源を生かした観光振興や地産地消による地域振興、水源環境の保全と調和した水源地域の振興を図り、活力あるまちづくりをめざします。

県央地区

3 地域構想図



■ 地域プロジェクト

1 自然と共生するうるおいのあるまちづくり

①美しい山、湖、川の保全

豊かな自然を次の世代に引き継いでいくために、自然環境を守り、育てる取組みを進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 宮ヶ瀬湖周辺水源の森林づくりの推進 (県、市町村)	水源林の確保、整備			事業実施 ・支援
2 里山づくりの推進 ・ 七沢地区里山づくり (県、厚木市)	推進体制の整備等	保全活動の実践等		事業実施 事業支援
・ 八菅山・尾山地区里山づくり (県、愛川町)	推進体制の整備等	保全活動の実践等		事業実施 事業支援
3 自然環境保全センターの整備 (県)	基本計画	調査設計 基本設計・実施設計		事業実施
4 自然豊かで安全な水辺づくりの推進 ・ 災害を防ぎ自然環境に配慮する河川空間の整備 (県)	護岸などの整備 相模川、中津川、鳩川、引地川、境川、永池川、蓼川等			事業実施
・ ふるさとの川整備事業の推進 (相模原市)	道保川の整備			事業支援
・ (仮称)中津川リージョン・パーク計画の推進 (厚木市)	環境調査	実施設計	整備	事業支援
・ 中津川リバーリフレッシュ構想の推進 (愛川町)	関係機関協議・計画策定			事業支援
5 豊かな自然と共存するための災害防止施設整備の推進 (県)	土砂災害防止施設などの整備			事業実施
6 祖師谷緑地の保全 (綾瀬市)	緑地保全			事業支援



ふるさとの川整備

②人と自然にやさしいまちづくり

公園や緑道の整備など、身近に自然とふれあえるまちづくりを進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 拠点となる公園の整備				
・ 相模三川公園	厚木市側 海老名市側 (県)	調査・検討	施設整備	事業実施
・ あいかわ公園	(県)	工芸工房村などの整備		事業実施
	(愛川町)	(仮称)郷土資料館の整備		事業支援
・ 相模原公園(フィッシングパーク跡地)	(県)	施設整備		事業実施
・ 相模原麻溝公園	(相模原市)	陸上競技場の整備		事業支援
・ (仮称)大野中地区公園	(相模原市)	計画策定	施設整備	事業支援
・ 引地川公園ゆとりの森及び(仮称)稲荷山運動公園 (大和市、綾瀬市)		計画策定	施設整備	事業支援
・ 芹沢公園	(座間市)	用地取得		事業支援
2 さがみグリーンラインの整備	(県)	用地取得		事業実施

県央地区



相模三川公園

③不法投棄の防止対策の推進

自然環境や生活環境を良好に保つために、多発している山間部や河川周辺などの不法投棄の防止対策を推進します。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 不法投棄未然防止対策の推進 (県、市町村、民間)	廃棄物監視パトロールなどの実施			事業実施 ・支援 ・連携
2 不法投棄原状回復の推進 (県、市町村、民間)	不法投棄物の早期撤去			事業実施 ・支援 ・連携

2 安心して快適にらせるまちづくり

①身近な犯罪に対する防犯活動の推進

くらしの安全の向上を図るために、身近な犯罪に対する防犯活動を推進します。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 警察の取組みの強化 (県)	パトロールなどの強化			事業実施
2 地域安全情報の積極的な提供 (県)	情報の提供			事業実施
3 防犯設備の整備 (県)	スーパー防犯灯の設置			事業実施
4 NPOとの連携による自主防犯活動の推進 (大和市、民間)	自主防犯活動の推進			事業連携
5 地域防犯対策の推進 (市町村、民間)	防犯モデル地区の指定、自主防犯活動の推進等			事業支援

民との協働

NPOとの連携による自主防犯活動の推進

大和市内では、地域の防犯活動に取り組むNPOが、独自に、あるいは、自治会などと連携して、防犯パトロールや啓発活動などを行っています。

県では、このような自治会やNPOなど多様な主体による地域防犯の取組みを支援していきます。



明るい街づくりの会（大和市上和田地区）などと日本ガーディアン・エンジェルス大和支部によるパトロール



座間市入谷地区住民による「愛のひと声運動」

②安全で円滑な交通環境の確立

交通渋滞を緩和するとともに交通事故をなくすことにより生活の安全と利便性の向上を図るため、道路網の整備や交通安全対策などを進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 日常生活を支える道路網の整備 (県)		整備		事業実施
		県道42号(藤沢座間厚木)、県道45号(丸子中山茅ヶ崎)、 (都)寺尾上土棚線、(都)相模原二ツ塚線等		
2 道路施設の適正な維持管理 (県)		維持管理		事業実施
		国道129号、県道40号(横浜厚木)等		
3 交通安全施設などの整備 (県)		歩道の整備等		事業実施
		国道467号、県道46号(相模原茅ヶ崎)、 県道60号(厚木清川)、県道63号(相模原大磯)等		
4 効果的な交通指導取締りの推進 (県)		効果的な交通指導取締り		事業実施
5 交通安全教育の推進 (県)		交通安全教室の開催等		事業実施
6 交通需要マネジメント*1の推進				
・カーシェアリング*2の推進 (県、民間)		カーシェアリングの普及・啓発		事業実施 ・連携
・TDM施策の推進 (相模原市)	施策抽出	社会実験	検証	事業支援

県央地区

③米軍基地問題に対する取組みの推進

相模総合補給廠、厚木基地、キャンプ座間などの米軍基地の整理、縮小及び返還を促進するとともに、基地返還までの当面の対策として、周辺住民の良好な生活環境の確保を図るため、基地に起因する様々な問題に取り組みます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 関係自治体との連携による基地の整理、縮小及び返還の促進 (県、市)		積極的な要請活動の展開		事業実施 ・連携
2 米軍基地の跡地利用計画の策定支援 (県)		地元市の計画策定への支援		事業実施
3 厚木基地周辺における航空機騒音の解消 (県、市)		具体的な方策の検討等		事業実施 ・連携
4 基地周辺住民の安全と福祉の向上 (県、市)		県央地区渉外連絡委員会の開催等		事業実施 ・連携

*1 交通需要マネジメント…TDM：Transportation Demand Management。車を利用している人に対して、公共交通機関への利用の転換や、あるいは行動パターンを変更することにより、都市や地域の交通混雑を緩和する施策をいいます。

*2 カーシェアリング…交通需要マネジメント手法の1つで、1台の自動車を複数の会員が共同利用する自動車の新しい利用形態をいいます。

3 産業の創出・活性化と地域振興によるまちづくり

①多様な交流を支える道路網や公共交通網の整備

地域間交流を活発化し、多様な交流を生かした産業の新たな展開を図るために、道路網や公共交通網の整備などを進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 交流連携を支えるさがみ縦貫道路などの道路網の整備				
・ 自動車専用道路網の整備 (国、道路公団)		整備		事業支援 ・ 連携
・ インターチェンジ接続道路の整備 (県)		整備		事業実施
		津久井広域道路、県道52号(相模原町田)、 (都)下今泉門沢橋線河原口立体、 (都)河原口中新田線中新田立体等		
2 JR相模線複線化の促進				
・ 相模線複線化に向けた取組みの推進 (県、市町、民間)	要望・広報活動、調査			事業実施 ・ 連携
	要望・広報活動、事業化に向けた協議等			
・ 相模線沿線地域活性化の促進 (県、市町、民間)		PR、イベント事業の実施		事業実施 ・ 連携
3 南橋本駅の整備 (相模原市)		東西自由通路などの整備		事業支援
4 綾瀬インターチェンジ具現化の促進 (綾瀬市)	調査検討			事業支援
	事業化に向けた調整、地域との合意形成			
5 新たな交通手段についての調査検討 (県、市、民間)		調査検討		事業実施 ・ 連携



施工中のさがみ縦貫道路海老名北ジャンクション（仮称）
（東名高速道路を跨ぐさがみ縦貫道路本線を前方に望む）

②地域に根ざした新しい産業の創出と振興

新産業創出の環境整備を進めるとともに、まちのにぎわい創出や、地域の多様な資源を生かした観光振興、地産地消*1による地域振興、水源地域の振興を図ります。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 産学公連携と新技術開発の推進 (県、民間)	産業技術総合研究所*2などによる共同研究			事業実施 ・ 連携
2 新規成長分野の産業振興支援 (県、市町村、民間)	フォーラムやセミナーなどによる創業・新事業展開への支援			事業実施 ・ 連携
3 まちのにぎわいを創出する商業の振興 (県、市町村、民間)	中心市街地活性化事業の推進			事業実施 ・ 支援 ・ 連携

* 1 地産地消…地元でとれた新鮮で安全な農林水産物を地元で消費すること。食に対する安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解を深める取組みとして期待されています。

* 2 産業技術総合研究所…中小企業に対しさまざまな技術支援を行う県の試験研究機関。県内の工業技術振興の中核的役割を担っており、企業の研究開発支援をはじめ、産学公連携を進める共同研究や交流の場を提供しています。特に、東西交流・南北交流の結節点である県央地区に立地していることから、この地区においてより積極的な取組みをしています。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
4 地域特性を生かした観光の振興 (県、市町村、民間)		調査・検討・展開		事業実施・連携
5 地産地消による農林業の振興 (県、市町村、民間)		中高齢ホームファーマー*1の育成、直売施設などの整備		事業実施・支援
6 水源地域の振興				
・ 水源地域交流の里づくりの推進 (県、愛川町、清川村、民間)		情報提供・各種イベントの実施		事業実施・支援
・ 水源地域上下流間交流の促進 (県、愛川町、清川村、民間)		交流事業の実施		事業実施・支援
・ 交流基盤の整備 (愛川町、清川村)		交流促進施設などの計画		事業支援
7 相模原市新都市農業の推進 (相模原市、民間)		拠点整備等		事業支援

③既存産業の活性化と集積促進

技術の高度化と競争力の強化により産業を活性化するとともに、企業誘致と交流拠点の整備を進め、産業の集積を促進します。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 ものづくり高度化への支援 (県)		産業技術総合研究所による技術支援		事業実施
2 中小企業の経営革新への支援 (県)		技術・経営が一体となった支援の検討・試行	支援	事業実施
3 工場跡地などへの企業誘致の促進 (県、市町村)		企業誘致		事業実施・連携
4 交流拠点整備の推進				
・ 小田急相模原駅周辺地区の整備 (相模原市、座間市、民間)		市街地再開発事業等		事業支援
・ 橋本駅周辺地域の整備 (相模原市、民間)		民間開発などへの支援		事業支援
・ 本厚木駅周辺地域の整備 (厚木市、民間)		地域再生マネージャーの活用	市街地再開発事業	事業支援
・ 大和駅周辺地区の整備 (大和市、民間)		市街地再開発事業等		事業支援
・ 高座渋谷駅周辺地区の整備 (大和市)		土地区画整理事業		事業支援
・ 海老名駅周辺地域の整備 (海老名市、民間)		市街地開発事業等		事業支援
・ 綾瀬タウンセンター計画の推進 (綾瀬市)		土地区画整理事業		事業支援
・ 愛川町庁舎周辺核づくりの推進 (愛川町)	消防庁舎建設		公共施設集中化検討	事業支援
・ 清川村中心地区の整備 (清川村)	地域福祉活動拠点整備		公共施設集中化	事業支援

* 1 中高齢ホームファーマー…中高齢ホームファーマー事業とは、主として耕作されなくなった農地を県が農家から借り受け、借りた農地を耕作できる状態にし、中高齢の方などに耕作していただくもので、県民の皆さんに健康と生きがいの場を提供し、併せて耕作放棄地を防止し農地の保全を図るものです。

県央地区で展開される主な取組み

「神奈川力構想・プロジェクト51」の実施計画に記載されている「主な施策・事業」及び「まちづくり事業」のうち、県央地区で展開される主なものを紹介します。

I 安心してらせる福祉・医療の基盤整備

「神奈川力構想・プロジェクト51」 137～142ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
1 地域医療の機能別整備	・ 病院・診療所などの連携の促進
18 地域における福祉コミュニティづくりの促進	・ 市町村社会福祉協議会への支援
33 福祉のまちづくりの推進	・ 都市公園のバリアフリー化の推進
・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・	
2 救急医療体制の強化 *	5 保健・医療・福祉人材の養成・確保
7 保健・医療・福祉現任者教育の充実と専門性の向上	8 生活習慣病対策の推進 *
9 3020運動（歯科保健）の推進 *	10 母子保健の推進 *
11 難治性疾患対策の充実 *	12 感染症対策の充実 *
13 エイズに関する教育、普及・啓発活動の充実と民間活動への支援 *	14 エイズに関する相談・検査及び医療体制の充実 *
20 権利擁護の推進 *	21 介護保険制度の定着と適切なサービスの提供
22 介護保険施設などの着実な整備 *	23 高齢者の介護予防などの取組みの充実 *
24 高齢者の社会参画活動への支援 *	25 身体・知的障害者の支援費制度に基づく福祉サービスの充実 *
26 身体・知的障害者の日常生活への支援の充実 *	27 身体・知的障害者の就労・社会参加の促進 *
28 障害特性を踏まえた民間障害福祉施設などの整備・充実 *	31 精神障害者福祉の充実 *

II 県民の安全・安心の確保

「神奈川力構想・プロジェクト51」 143～149ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
35 安全で安心な食の確保 *	・ BSEなど食肉の検査 ・ 養殖業に対する防疫と安全の指導
42 緊急輸送路などの整備	・ 緊急輸送路となる道路の整備（県道46号（相模原茅ヶ崎）の道路法面の防災対策）
46 治水対策の推進	・ 都市河川重点整備「かながわSafetyリバー50」（永池川、蓼川、引地川、鳩川、中津川の護岸整備、境川の多自然型護岸整備） ・ 大河川の整備（相模川の多自然型護岸整備）
48 土砂災害防止施設などの整備	・ 地すべり防止施設の整備（田代） ・ 急傾斜地崩壊防止施設の整備（日向地区、戸室A地区） ・ 落石などの危険箇所の整備（県道70号（秦野清川））
50 安全防災を支える農林水産業の推進	・ 災害を未然に防止する農業施設づくり（煤ヶ谷地区、尾山地区、杉久保・本郷地区、万年堰地区の取水堰） ・ 治山事業の推進（宮ヶ瀬）
51 災害時情報収集・伝達体制の充実	・ 城山ダム放流警報設備の整備
53 災害時広域応援体制の強化	・ 災害時における在日米軍との相互協力の推進
63 身近な犯罪の予防・検挙活動の推進	・ 検挙活動の強化、地域安全情報の積極的な提供 ・ スーパー防犯灯の設置
72 交通安全施設などの整備	・ 県道63号（相模原大磯）の歩道整備
78 警察施設・装備の整備	・ 相模原北部地区警察署（仮称）の新設
80 基地の整理・縮小及び返還の促進	・ 関係自治体との連携による基地の整理、縮小及び返還に対する積極的な要請活動の展開 ・ 米軍基地の跡地利用計画の策定支援
81 基地周辺住民の安全、福祉の確立と良好な生活環境の確保	・ 厚木基地周辺における米空母艦載機による航空機騒音の解消 ・ 県央地区渉外連絡委員会の開催などによる基地周辺住民の安全と福祉の向上
・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・	
36 浴場のレジオネラ症発生防止対策の推進 *	38 消費者被害などの未然防止と救済
52 市町村地震防災対策への総合的支援	70 生涯にわたる交通安全教育の推進
73 効果的な交通指導取締りの推進	

*がついている主な施策については、中核市が事業主体となる事業を含んでいます。
これらについては、県民に身近な、地域における保健・医療・福祉などに対する市の取組みを支援するとともに、進む少子・高齢化への対応などについて広域的な観点から県の役割に応じた取組みを進めます。

Ⅲ 未来を担う人づくり

「神奈川力構想・プロジェクト51」 150～154ページ

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・

82	子育てを支える地域社会の基盤の充実*	83	保育所などの整備・拡充の促進*
84	多様な保育サービスの拡充*	85	児童虐待の防止に向けた取組みの促進
86	児童養護施設などにおける専門的ケアの充実	90	不登校・ひきこもり、いじめ・暴力行為などへの対応
94	学校と地域社会との交流の活性化	95	新しいタイプの高校の設置拡大
98	快適な教育環境の整備	99	県立学校などの防災対策の推進
106	青少年問題への総合的取組みの推進	107	青少年を取り巻く社会環境の健全化の推進
109	教育相談の充実	110	家庭、地域の教育機能の充実
111	青少年の多様な体験活動の促進		

県央地区

Ⅳ 産業振興による地域経済の活性化

「神奈川力構想・プロジェクト51」 155～160ページ

【主な施策】

【取り組む内容】

125	産学公連携による事業化・商品化への支援	・産業技術総合研究所などによる共同研究
126	ものづくり高度化への支援	・産業技術総合研究所による技術支援
131	地域の特性を生かした産業の振興	・県央北地域産業振興協議会を核とした地域からの産業振興（創業応援キャラバン、創業者育成塾、インキュベーター施設整備の促進、大学技術の企業への紹介等） ・業種別組合などが行う新商品開発、販路開拓などの事業に対する支援
133	かながわツーリズムの推進	・丹沢大山地域をモデル地区とした観光魅力づくりの推進
140	地産地消による農林水産業の振興	・食肉センター整備の支援 ・中高年ホームファーマーの育成 ・大型直売センターの整備に対する支援
141	資源の有効活用による農林水産業の振興	・計画的な間伐にかかる協定の締結及び間伐材の集材・搬出の支援 ・私有林の森林整備への支援
142	地域における農政の総合推進	・集落の道路整備への支援
143	環境に配慮した農業生産基盤の確保と整備	・農村総合整備（半原地区）、山村振興対策（煤ヶ谷・宮ヶ瀬地区） ・ほ場の整備の推進（新戸地区） ・用排水路の整備（相模川右岸地区、相模川左岸地区）
144	森林づくりを支える基盤の整備と森林の保全	・林道の計画的な整備（半原中央林道等）
147	地域に即した生産の振興	・アユの種苗放流とワカサギ卵の確保などによる内水面漁業の振興 ・茶の生産振興による傾斜地農業の活性化
151	多様な生物が生息する水辺環境の保全と創造	・カワウやブラックバスなどによる在来魚への食害防止などの技術開発 ・農業用水施設への魚道整備（相模川小沢頭首工）
155	都市と交流するふれあい農林業の展開	・うるおい施設の整備（望地地区）

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・

120	ベンチャー企業の創出・育成	121	新規成長分野の産業振興
122	企業誘致の促進	129	経営革新への支援
130	まちのにぎわいを創出する産業の振興	132	コミュニティビジネスの創出促進
146	農林水産業の経営基盤の強化	150	農地の持つ多面的機能の発揮
152	環境にやさしい農業の推進		

V 地域からの環境の保全と創造

「神奈川力構想・プロジェクト51」 161～164ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
167 協働による環境保全活動の実践の推進	・桂川・相模川流域環境保全行動の推進
174 県民との協働による水源の森林づくり	・水源地域の私有林の公的管理・支援の推進
175 丹沢大山などの自然環境の保全としくみづくり	・丹沢大山総合調査の実施 ・自然環境管理システムに基づいた新しい丹沢大山保全計画の策定 ・自然環境保全センターの施設整備 ・ニホンジカなどの保護管理の推進 ・ブナ林・林床植生の保全 ・オーバーユース対策の推進 ・丹沢大山地域などにおける鳥獣保護区の指定、被害対策にかかる市町村への支援
176 都市と里山のみどりの保全と活用	・県民主体による里山保全の計画づくりの推進
177 自然とのふれあいと県民と一体となった森林の保全	・自然公園の整備と活用（丹沢大山国定公園、県立丹沢大山自然公園） ・宮ヶ瀬湖周辺園地の整備

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

156 廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	157 不法投棄の防止対策の推進
158 地球温暖化対策の推進	160 新エネルギー導入の推進
162 総合的な環境教育の推進	164 環境にやさしいライフスタイルの促進
165 事業者・消費者としての県の環境配慮への率先的取組み	166 参加と協働による環境保全のためのしくみづくり
169 環境に配慮した土地利用の推進	170 水環境保全対策の推進

VI 心豊かなくらしと共生社会の実現

「神奈川力構想・プロジェクト51」 165～170ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
209 外国籍県民がくらしやすい環境づくり	・外国籍児童・生徒への教育の充実

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

183 文化財の保存と活用	185 県立社会教育施設などの生涯学習機能の活用
186 学習内容の深化と成果を活用する場づくり	190 スポーツ活動を支えるしくみづくり
192 スポーツ活動の多様な場づくり	193 NPOなどとの協働・連携による公的サービスの推進
194 ボランティア活動支援の推進	195 NPOなどに関する情報提供・相談体制の充実
200 家庭と仕事などの両立支援*	201 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重
203 地球市民意識の醸成と多文化理解の推進	204 非核・平和意識の普及
205 世界の地域との交流の推進	206 アジア地域などへの国際協力の推進
207 環境分野における人、技術、情報の国際交流の推進	208 外国籍県民とともに生きるしくみづくり
210 県民の国際活動の支援	211 県民の国際活動との協働・連携の促進
215 県政への県民参加の充実	

【主な施策】	【取り組む内容】
221 上流と下流の住民で支える水源地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域交流の里づくり ・水源地域上下流間交流の促進 ・水源地域が整備する交流促進施設、情報提供施設の整備への支援 ・宮ヶ瀬湖周辺地域の整備・振興
223 相模連携軸整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア中央新幹線の建設促進と駅誘致 ・環境共生モデル都市ツインシティの整備 ・JR相模線駅周辺のまちづくり ・自動車専用道路の整備
231 鉄道網の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> ・JR相模線複線化の促進 ・東海道新幹線新駅の誘致
232 公共交通整備の総合的な推進	<ul style="list-style-type: none"> ・環境共生生活都市圏における新たな交通システムの導入に向けた調査・検討
235 自動車専用道路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・さがみ縦貫道路、第二東名高速道路、厚木秦野道路
236 インターチェンジ接続道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・津久井広域道路、国道129号、県道52号（相模原町田）、（都）下今泉門沢橋線河原口立体、（都）河原口中新田線中新田立体
237 交流幹線道路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・県道22号（横浜伊勢原）、県道42号（藤沢座間厚木）、（都）寺尾上土棚線、（都）相模原二ツ塚線
238 地域分断・交通のボトルネックの解消	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道との立体交差化（（都）寺尾上土棚線深谷立体）
239 道路施設の適正な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・橋りょうの修繕及び補強（国道129号新昭和橋の補修）
241 計画的な宅地供給の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理の促進（渋谷南部地区）
242 既成市街地の再整備による都市機能の更新	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地再開発の促進（相模大野駅西側地区、小田急相模原駅北口A地区）
244 安全・安心に配慮した住まいづくり*	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・障害者向け公営住宅の整備、改善の推進（県営横山団地、県営吾妻団地、県営いちょう下和田団地）
245 的確な公的住宅の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅の的確な整備（県営横山団地） ・トータルリモデルなどの推進（県営吾妻団地、県営いちょう下和田団地）
246 良質な住宅ストック形成と活用による住まいづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション管理組合ネットワーク構築の促進
247 安全で良質な水の安定供給の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・県営水道の充実（水道施設の相互融通化（大和市））
252 都市公園などの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・県立都市公園などの整備（あいかわ公園、相模三川公園、さがみグリーンライン）
253 うるおいのあるみち空間の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・幅の広い歩道の整備（国道467号） ・電線の地中化（県道46号（相模原茅ヶ崎）） ・段差のない歩道の整備（県道57号（相模原大蔵町）、県道60号（厚木清川））
256 環境への負荷を軽減するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・環境と共生する都市づくりの誘導とその普及啓発

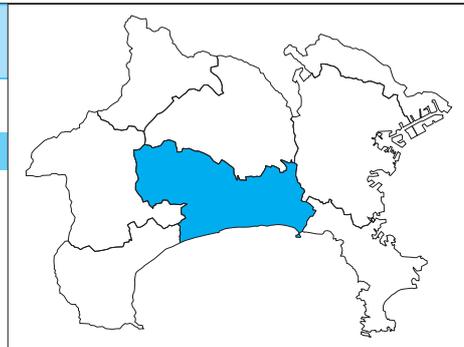
・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

- 243 良質な都市型住宅の供給と住環境の整備
- 254 都市景観の保全と創造

- 249 下水道整備の推進

県央地区

VI 湘南地区



■ 地域の将来像

地域力がいきづく躍動都市圏・湘南

豊かな自然と歴史・文化、産業が織りなす
活力あふれる湘南をめざして

1 地域の課題

湘南地区は、丹沢・大山や相模川、湘南海岸などの自然環境に恵まれるとともに、農業、商工業、観光といった多彩な産業の集積もあり、豊かな生活・文化環境を形成してきた地域ですが、地域内を結ぶ鉄道や道路網の不足や広域交通へのアクセスの不便性、大規模事業所の転出などに見られるような地域経済の活力の低下などの課題を抱えています。

(1) 自然環境の保全と活用

丹沢・大山をはじめとするやまなみや、相模川などの河川流域、相模湾沿岸などの豊かな自然に恵まれています。こうした良好な自然環境を将来の世代に引き継げるよう、保全・活用していく必要があります。

(2) 交通ネットワークの整備促進

鉄道や道路網の不足により、地域内の拠点間の交流に支障をきたしており、また、広域交通としての自動車専用道路にアクセスしにくい地域が生じているなど、交通ネットワークの整備促進が必要となっています。

(3) 地域経済の活力の向上

製造品出荷額等や農業産出額では、県内でも有数のシェアを占めている地域ですが、大規模事業所の転出、中心市街地における空き店舗の増加など地域経済の活力が低下しています。

地区の数値データ（指標）

基礎データ

- ・ 総人口 1,253,208人 (14.4%)
- ・ 総面積 371.86km² (15.4%)

※ () 内は全県に占める割合

○道路の混雑度が1.0以上の箇所数（平日）

(単位：箇所)

1994	1997	1999
54 (56.8%)	52 (53.6%)	53 (55.2%)

混雑度1.0以上の箇所では、昼間12時間のうち、混雑する可能性のある時間帯が1~2時間以上生じ始めると推定されます。

※ () 内は地区内調査箇所数に対する割合

注) 高速自動車国道を除く

(「道路交通センサス」より作成)

○製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）

(暦年) (単位：億円)

1999	2001	2003
42,396 (19.9%)	40,608 (20.4%)	37,909 (20.2%)

2003は速報値

(「神奈川県工業統計調査結果報告」より作成)

○入込観光客数

(暦年) (単位：千人)

	2001	2002	2003
日帰り	22,227 (16.6%)	21,932 (16.1%)	23,690 (17.0%)
宿泊	690 (5.5%)	632 (4.9%)	583 (4.5%)
延べ	22,919 (15.6%)	22,564 (15.1%)	24,273 (15.9%)

(「神奈川県入込観光客調査報告書」
(神奈川県観光振興対策協議会)より作成)

○小売業の年間商品販売額

(単位：億円)

1997	1999	2002
13,025 (14.7%)	12,919 (14.3%)	11,791 (13.9%)

(「神奈川県商業統計調査結果報告」より作成 西暦は調査実施年を示す)

2 地域の将来ビジョン

湘南地区に広がる豊かな自然環境の保全と活用に努めるとともに、くらしと文化を支える交通ネットワークの形成と拠点整備を進め、環境と共生しながら、少子高齢社会の中で、地域力がいきづく躍動都市圏・湘南の創造をめざします。

(1) 湘南の海、大地、風と共生する都市圏の整備

丹沢・大山のやまなみ、相模川や湘南海岸など湘南の魅力ある自然空間を生かし、それぞれの都市が個性豊かなまちづくりを進め、持続可能な社会を支える環境と共生する都市圏をめざします。

(2) 湘南のくらしと文化を支える交通ネットワークの形成と拠点整備

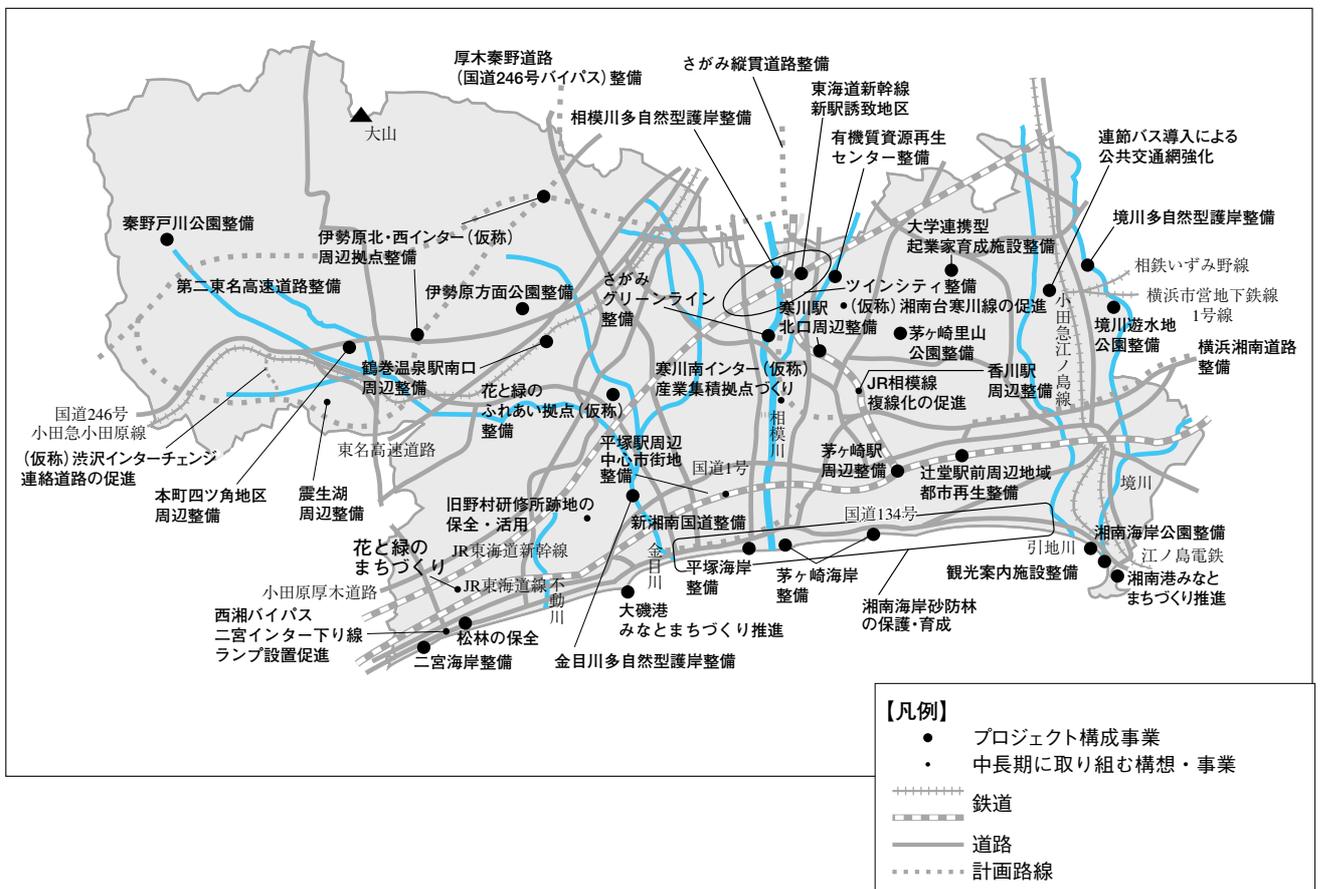
生活利便性の向上や産業活動を支える基盤となるさがみ縦貫道路をはじめとした交通ネットワークづくりを進め、地区全体のバランスある発展をめざすとともに、交流・連携の拠点を整備します。

(3) 湘南の地域力を活用した産業の振興

地区内にある多くの試験研究機関や大学を生かした新産業創出の促進や企業誘致、全国的にも有名な江の島などの観光地を生かした観光客の増加など、湘南が築きあげてきた歴史・文化、産業などの地域資源（地域力）を生かした地域産業の活性化を図ります。

湘南地区

3 地域構想図



■ 地域プロジェクト

1 湘南の海、大地、風と共生する都市圏の整備

① 里山大地の保全と活用

都市公園や里山など身近なみどりの保全・活用を図りつつ、人とみどりがふれあう場づくりを推進するとともに、市町や各種団体、ボランティアなどとさまざまな分野で協働・連携を図ります。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 都市公園の整備 (県)		整備		事業実施
		湘南海岸公園、秦野戸川公園、伊勢原方面公園等		
(県、茅ヶ崎市)		整備・周辺整備		事業実施 ・支援 ・連携
		茅ヶ崎里山公園		
2 里山づくりの推進 (県、市町)		里山保全推進事業		事業実施 ・連携
(秦野市)		里山支援モデル事業(名古木地区)		事業支援
3 里地里山保全再生モデル事業の推進 (国、秦野市)		里地里山支援モデル事業計画策定		事業支援
			モデル事業実施	
4 里山ふれあいの森事業の推進 (秦野市、民間)		里山林の整備		事業支援
5 森林ボランティアリーダーの養成 (藤沢市、民間)		養成講座の開催		事業支援
6 さがみグリーンラインの整備 (県)		用地取得		事業実施



茅ヶ崎里山公園

② 丹沢大山の再生

丹沢・大山などの森林の持つ水源かん養などの機能を高めるため、私有林の公的管理・支援*1を進め、豊かな自然環境の保全に努めるとともに、不法投棄の防止やニホンジカなどの被害を防ぐための防護柵の設置など、幅広い取組みを進めていきます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 私有林の公的管理・支援 (県、秦野市、伊勢原市)		水源林の確保・整備		事業実施 ・支援
2 自然公園(丹沢・大山)地域の整備 (県、秦野市、伊勢原市)		施設整備等		事業実施 ・支援
3 不法投棄防止システムの整備 (秦野市)		パトロールビデオ設置		事業支援
4 シカなどの被害防除 (県)		広域獣害防止柵の設置		事業実施
(県、秦野市、伊勢原市、民間)		被害対策の推進		事業実施 ・支援

*1 私有林の公的管理・支援…水源の森林づくり事業では、手入れの行き届かなくなった森林を県が森林所有者に代わって整備する公的管理と、自ら整備を行っている森林所有者を県が支援する公的支援により、水源かん養機能の高い森林づくりを推進しています。



丹沢大山の遠景

③風薫る河川・海岸周辺の環境整備

生活にうるおいを与えてくれる湘南の豊かな海や川といった水辺環境を保全・創造し、湘南らしい景観を保つために、松林や砂防林の整備、水と親しむことのできる多自然型護岸の整備などを進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 人や自然にやさしい河川環境の整備 (県、藤沢市、秦野市、伊勢原市)	相模川、境川、小出川、目久尻川、引地川、千の川、金目川、鈴川、滝川、歌川等	整備		事業実施・支援
2 「よみがえれ、ふるさとのせせらぎ」事業の推進 (平塚市、民間)		事業実施 河内川等		事業支援
3 水循環水環境千の川整備事業の推進 (茅ヶ崎市、民間)		事業実施 千の川		事業支援
4 海岸環境の保全・整備 (県)	海岸保全、施設整備等 平塚、茅ヶ崎、二宮海岸等			事業実施
5 松林の保全 (二宮町)		保護育成		事業支援
6 湘南海岸砂防林の保護・育成 (県)		保護育成		事業実施

湘南地区

民との協働

河川環境の整備における地域との協働

伊勢原市や平塚市を流れる「鈴川」や平塚市西部を流れる金目川の支流の「河内川」、茅ヶ崎市中心部を流れる「千の川」などでは、水辺環境向上のため、県や市などの行政と流域の住民などが、ワークショップを開催し、自然に配慮した環境対策などについて、意見を出し合っって計画づくりをしているほか、親水施設の整備や地域住民などによる植栽、清掃などの河川愛護活動も活発に行われています。



鈴川



河内川

2 湘南の暮らしと文化を支える交通ネットワークの形成と拠点整備

① 暮らしを支える交通ネットワーク整備の総合的な推進

湘南の暮らしと文化、産業活動を支えるさがみ縦貫道路や第二東名高速道路などの広域幹線道路網や多様な交流を支える交通網の整備を推進するとともに、JR相模線複線化の促進や連節バスの導入による公共交通網の強化など交通基盤の整備に努めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 自動車専用道路網の整備 (国、道路公団)		整備		事業支援 ・連携
	さがみ縦貫道路、第二東名高速道路、厚木秦野道路、横浜湘南道路、新湘南国道			
2 インターチェンジ接続道路の整備 (県)		整備		事業実施
	県道44号(伊勢原藤沢)、県道45号(丸子中山茅ヶ崎)、県道603号(上粕屋厚木)等			
3 交流幹線道路網の整備 (県)		整備		事業実施
	県道22号(横浜伊勢原)、国道134号、(都)藤沢厚木線等			
4 東海道新幹線新駅の誘致 (県、市町、民間)		要望・広報活動、調査		事業実施 ・連携
5 JR相模線複線化の促進 (県、市町、民間)	要望・広報活動、調査			事業実施 ・連携
	要望・広報活動、事業化に向けた協議等			
6 連節バス導入による公共交通網の強化 (藤沢市、民間)	走行環境整備			事業支援
		連節バスの運行		
			情報システムの整備、連携	



さがみ縦貫道路寒川地区橋脚設置状況

② 湘南の生活と交流を生み出す拠点の整備

生活の利便性向上と地域の活性化を図るため、魅力ある業務・商業拠点としての駅周辺整備、辻堂駅周辺の都市拠点整備を進めるとともに、海洋性レクリエーションや観光などを核としたみなとづくりなど地域の交流拠点の整備を促進します。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 ツインシティの整備 (県、平塚市、寒川町、民間)		調査、設計、環境アセス		事業実施 ・連携
2 業務・商業拠点としての駅周辺の整備 (県、秦野市、寒川町、民間)		整備		事業実施 ・支援
	東海大学前駅、鶴巻温泉駅南口、寒川駅北口等			
3 辻堂駅周辺地域の都市再生事業の推進 (藤沢市、茅ヶ崎市、民間)				事業支援
	都市再生緊急整備地域指定に基づく都市再生事業の推進等			
4 伊勢原北・西インター(仮称)周辺の拠点整備 (伊勢原市)		検討、調整		事業支援
5 湘南港、大磯港みなとまちづくりの推進 (県、藤沢市、大磯町、民間)				事業実施 ・連携
	施設整備・みなとまちづくり協議会の活動			



ツインシティ整備地域の遠景

3 湘南の地域力を活用した産業の振興

①地元大学などと連携した新産業創出

地元の大学・研究機関の技術力を生かして産学公連携を促進し、新しい産業の集積を図るとともに、(財)神奈川中小企業センターや市町・商工会議所・商工会等と連携を図り、創業者の発掘と育成に向けて、段階的な取組みを推進します。

湘南地区

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 地域力を生かした創業者発掘・育成 (県、市町、民間)	地元大学と連携した創業フォーラムの開催等			事業実施・連携
2 大学連携型起業家育成施設の整備 (藤沢市、民間)	調整			事業支援
	施設整備			
		運営		
3 湘南らしい産業集積の推進 (県、市町)		事業実施		事業実施・連携
4 湘南地域産学公交流の推進 (県) (県、市町、民間)		事業実施		事業実施
		湘南地域産学公交流推進協議会活動への支援		事業実施・連携



創業者の講座

②まちなぎわいを創出する産業の振興

魅力ある商店街づくりを支援し、地域の活気とにぎわいの再生を図るとともに、市町との連携により、まちづくりと一体となった商業地の活性化を促進します。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 中心市街地の活性化 (茅ヶ崎市、秦野市)	計画策定・事業実施 茅ヶ崎駅周辺、秦野市本町四ツ角地区周辺			事業支援
2 地域との共生をめざす活力ある商店街づくり (県、市町、民間)	事業実施			事業実施 ・連携



茅ヶ崎駅周辺

③湘南ツーリズムの推進

かながわツーリズムの推進の一環として、湘南地区への観光客の増加を図るため、観光情報の提供や体験型観光を実施するとともに湘南が築きあげてきた歴史、文化や景観などの地域資源の保全・活用などによる湘南ツーリズムの推進により地域の活性化を図ります。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 観光情報の提供・誘客キャンペーンの実施 (県、市町、民間)	観光情報などの研究・検討			事業実施 ・連携
	観光情報提供システム整備			
(市町)	誘客キャンペーンの実施			事業支援
2 観光案内施設の整備 (藤沢市)	実施設計、施設建設、運営開始			事業支援
3 観光農業の推進 (秦野市、民間)	計画策定	観光農業施設整備		事業支援
4 近代建造物などを保全活用した地域づくり (県、大磯町、民間)	近代建造物などの保全・活用 新たな活用手法の検討			事業実施 ・連携



左義長（大磯町）

④地域にいきづく湘南農業の展開

高い生産性を誇り、地域と生活に溶け込んだ湘南の農業の特徴を生かして、農業生産基盤の整備や直売などの地場流通の促進、地域特産物の育成などを支援します。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 花と緑のふれあい拠点（仮称）の整備 （県、平塚市）	調査	PFI手法の導入決定等 事業者の募集、選定、契約等		事業実施・連携
2 地産地消*1の推進 （市町、民間） （民間）		野菜産地等活性化の推進 流通施設などの整備		事業支援 事業支援
3 農産物ブランド化の推進 （市町、民間）		推進		事業支援
4 農業農村の整備（ほ場の整備など） （県） （平塚市）		県営ほ場整備事業 大田地区 農業集落排水事業 土屋地区		事業実施 事業支援
5 有機質資源再生センターの整備 （藤沢市、民間）	造成工事	施設整備	運営	事業支援

湘南地区



地産地消施設「はだのじばさんず」

* 1 地産地消…地元でとれた新鮮で安全な農林水産物を地元で消費すること。食に対する安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解を深める取組みとして期待されています。

湘南地区で展開される主な取組み

「神奈川力構想・プロジェクト51」の実施計画に記載されている「主な施策・事業」及び「まちづくり事業」のうち、湘南地区で展開される主なものを紹介します。

I 安心してらせる福祉・医療の基盤整備

「神奈川力構想・プロジェクト51」 137～142ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
1 地域医療の機能別整備	・ 病院・診療所などの連携の促進 ・ 地域の中核的病院の整備
18 地域における福祉コミュニティづくりの促進	・ 市町村社会福祉協議会への支援
33 福祉のまちづくりの推進	・ 都市公園のバリアフリー化の推進 ・ 福祉のまちづくり計画を進める市町村への支援
・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・	
2 救急医療体制の強化	5 保健・医療・福祉人材の養成・確保
7 保健・医療・福祉現任者教育の充実と専門性の向上	8 生活習慣病対策の推進
9 8020運動（歯科保健）の推進	10 母子保健の推進
11 難治性疾患対策の充実	12 感染症対策の充実
13 エイズに関する教育、普及・啓発活動の充実と民間活動への支援	14 エイズに関する相談・検査及び医療体制の充実
20 権利擁護の推進	21 介護保険制度の定着と適切なサービスの提供
22 介護保険施設などの着実な整備	23 高齢者の介護予防などの取組みの充実
24 高齢者の社会参画活動への支援	25 身体・知的障害者の支援費制度に基づく福祉サービスの充実
26 身体・知的障害者の日常生活への支援の充実	27 身体・知的障害者の就労・社会参加の促進
28 障害特性を踏まえた民間障害福祉施設などの整備・充実	31 精神障害者福祉の充実

II 県民の安全・安心の確保

「神奈川力構想・プロジェクト51」 143～149ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
35 安全で安心な食の確保	・ 養殖業に対する防疫と安全の指導
42 緊急輸送路などの整備	・ 緊急輸送路となる道路の整備（県道30号（戸塚茅ヶ崎）の道路法面の防災対策） ・ 緊急輸送路と連携する緊急物資受入港の機能充実（湘南港、大磯港の防災施設の整備）
46 治水対策の推進	・ 国の管理河川への支援（相模川） ・ 都市河川重点整備「かながわSafetyリバー50」（不動川、引地川、鈴川の護岸整備、境川、金目川、小出川、目久尻川の多自然型護岸整備、境川遊水地の整備） ・ 都市河川の整備（千の川、室川の護岸整備）
47 海岸保全施設の整備	・ 津波・高潮対策の推進（藤沢海岸、大磯港海岸） ・ 侵食対策の推進（平塚海岸の人工岬、茅ヶ崎海岸の消波堤の整備）
48 土砂災害防止施設などの整備	・ 砂防施設の整備（大山沢、東沢） ・ 急傾斜地崩壊防止施設の整備（平沢小原地区）
49 水辺施設の保全の推進	・ 港湾施設の保全（湘南港、大磯港） ・ 海岸施設の保全（平塚海岸の補修・改良）
50 安全防災を支える農林水産業の推進	・ 災害を未然に防止する農業施設づくり（下大槻地区、筒川地区の用排水路、大堰地区の取水堰） ・ 治山事業の推進（寺山） ・ 災害に強い漁港の整備（片瀬漁港、平塚漁港）
51 災害時情報収集・伝達体制の充実	・ 城山ダム放流警報設備の整備
78 警察施設・装備の整備	・ 秦野警察署の建て替え
80 基地の整理・縮小及び返還の促進	・ 関係自治体との連携による基地の整理、縮小及び返還に対する積極的な要請活動の展開
81 基地周辺住民の安全、福祉の確立と良好な生活環境の確保	・ 厚木基地周辺における米空母艦載機による航空機騒音の解消
・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・	
36 浴場のレジオネラ症発生防止対策の推進	38 消費者被害などの未然防止と救済
52 市町村地震防災対策への総合的支援	53 災害時広域応援体制の強化
63 身近な犯罪の予防・検挙活動の推進	70 生涯にわたる交通安全教育の推進
72 交通安全施設などの整備	73 効果的な交通指導取締りの推進

Ⅲ 未来を担う人づくり

「神奈川力構想・プロジェクト51」 150～154ページ

・・・各地区共通に取り組む主な施策・事業・・・

82	子育てを支える地域社会の基盤の充実	83	保育所などの整備・拡充の促進
84	多様な保育サービスの拡充	85	児童虐待の防止に向けた取組みの促進
86	児童養護施設などにおける専門的ケアの充実	90	不登校・ひきこもり、いじめ・暴力行為などへの対応
94	学校と地域社会との交流の活性化	95	新しいタイプの高校の設置拡大
98	快適な教育環境の整備	99	県立学校などの防災対策の推進
106	青少年問題への総合的取組みの推進	107	青少年を取り巻く社会環境の健全化の推進
109	教育相談の充実	110	家庭、地域の教育機能の充実
111	青少年の多様な体験活動の促進		

Ⅳ 産業振興による地域経済の活性化

「神奈川力構想・プロジェクト51」 155～160ページ

【主な施策】

【取り組む内容】

131	地域の特性を生かした産業の振興	・ 湘南地域産業振興協議会を核とした地域からの産業振興（創業応援キャラバン、創業者育成塾、インキュベート施設整備の促進、大学技術の企業への紹介等）
133	かながわツーリズムの推進	・ 丹沢大山地域をモデル地区とした観光魅力づくりの推進
140	地産地消による農林水産業の振興	・ 漁獲物の鮮度保持施設の整備に対する支援 ・ 中高年ホームファーマーの育成 ・ 県民が農業を学び、体験できる花と緑のふれあい拠点（仮称）の整備 ・ 大型直売センターの整備に対する支援 ・ 学校給食への導入などをめざした「魚を食べること」への理解促進
141	資源の有効活用による農林水産業の振興	・ 計画的な間伐にかかる協定の締結及び間伐材の集材・搬出の支援 ・ 私有林の森林整備への支援 ・ カタクチイワシなどの付加価値向上のための技術開発
143	環境に配慮した農業生産基盤の確保と整備	・ 農村総合整備（赤羽根地区） ・ ほ場の整備の推進（大田地区、神戸木津根地区、久松地区） ・ 用排水路の整備（新川地区、相模川右岸地区） ・ 農道整備の推進（岡崎比々多地区、北西秦野地区）
144	森林づくりを支える基盤の整備と森林の保全	・ 林道の計画的な整備（浅間山林道等）
145	水産基盤の整備	・ 市営漁港の整備 ・ 魚礁などの設置による漁場造成
147	地域に即した生産の振興	・ 栽培漁業の推進による沿岸漁業の振興 ・ 資源管理型漁業の推進による沿岸・沖合漁業の振興 ・ アユの種苗放流などによる内水面漁業の振興 ・ みかんや茶の生産振興による傾斜地農業の活性化
151	多様な生物が生息する水辺環境の保全と創造	・ カワウやブラックバスなどによる在来魚への食害防止などの技術開発
154	都市住民も参加した海業の推進	・ 漁業経営へ遊漁の積極的導入 ・ 漁業・遊漁・海洋レジャーの利用調整

湘南地区

・・・各地区共通に取り組む主な施策・事業・・・

120	ベンチャー企業の創出・育成	121	新規成長分野の産業振興
122	企業誘致の促進	125	産学公連携による事業化・商品化への支援
126	ものづくり高度化への支援	129	経営革新への支援
130	まちのにぎわいを創出する産業の振興	132	コミュニティビジネスの創出促進
142	地域における農政の総合推進	146	農林水産業の経営基盤の強化
150	農地の持つ多面的機能の発揮	152	環境にやさしい農業の推進

V 地域からの環境の保全と創造

「神奈川力構想・プロジェクト51」 161～164ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
160 新エネルギー導入の推進	・ B D F などバイオマスエネルギーの活用
167 協働による環境保全活動の実践の推進	・ 桂川・相模川流域環境保全行動の推進
170 水環境保全対策の推進	・ 農業集落排水施設整備への支援（平塚市土屋地区）
174 県民との協働による水源の森林づくり	・ 水源地域の私有林の公的管理・支援の推進
175 丹沢大山などの自然環境の保全としくみづくり	・ 丹沢大山総合調査の実施 ・ 自然環境管理システムに基づいた新しい丹沢大山保全計画の策定 ・ ニホンジカなどの保護管理の推進 ・ ブナ林・林床植生の保全 ・ オーバーユース対策の推進 ・ 丹沢大山地域などにおける鳥獣保護区の指定、被害対策にかかるとする市町村への支援
176 都市と里山のみどりの保全と活用	・ 県民主体による里山保全の計画づくりの推進
177 自然とのふれあいと県民と一体となった森林の保全	・ 自然公園の整備と活用（丹沢大山国定公園、県立丹沢大山自然公園）

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・

156 廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	157 不法投棄の防止対策の推進
158 地球温暖化対策の推進	162 総合的な環境教育の推進
164 環境にやさしいライフスタイルの促進	165 事業者・消費者としての県の環境配慮への率先的取組み
166 参加と協働による環境保全のためのしくみづくり	169 環境に配慮した土地利用の推進

VI 心豊かなくらしと共生社会の実現

「神奈川力構想・プロジェクト51」 165～170ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
209 外国籍県民がくらしやすい環境づくり	・ 外国籍児童・生徒への教育の充実

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・

183 文化財の保存と活用	185 県立社会教育施設などの生涯学習機能の活用
186 学習内容の深化と成果を活用する場づくり	190 スポーツ活動を支えるしくみづくり
192 スポーツ活動の多様な場づくり	193 NPOなどとの協働・連携による公的サービスの推進
194 ボランティア活動支援の推進	195 NPOなどに関する情報提供・相談体制の充実
200 家庭と仕事などの両立支援	201 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重
203 地球市民意識の醸成と多文化理解の推進	204 非核・平和意識の普及
205 世界の地域との交流の推進	206 アジア地域などへの国際協力の推進
207 環境分野における人、技術、情報の国際交流の推進	208 外国籍県民とともに生きるしくみづくり
210 県民の国際活動の支援	211 県民の国際活動との協働・連携の促進
215 県政への県民参加の充実	

【主な施策】	【取り組む内容】
223 相模連携軸整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・環境共生モデル都市ツインシティの整備 ・JR相模線駅周辺のまちづくり ・自動車専用道路の整備
227 相模湾沿岸の地域資源を生かした魅力ある地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・相模湾沿岸地域保全等構想の策定
231 鉄道網の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> ・JR相模線複線化の促進 ・東海道新幹線新駅の誘致
232 公共交通整備の総合的な推進	<ul style="list-style-type: none"> ・環境共生生活都市圏における新たな交通システムの導入に向けた調査・検討
234 みなとまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・湘南港、大磯港の再整備
235 自動車専用道路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・さがみ縦貫道路、第二東名高速道路、厚木秦野道路、横浜湘南道路、新湘南国道
236 インターチェンジ接続道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・(都)湘南新道、県道22号(横浜伊勢原)、県道44号(伊勢原藤沢)、県道45号(丸子中山茅ヶ崎)、県道603号(上粕屋厚木)、(都)藤沢大磯線
237 交流幹線道路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・国道134号、国道467号、県道22号(横浜伊勢原)、(都)藤沢厚木線
238 地域分断・交通のボトルネックの解消	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道との立体交差化((都)横浜伊勢原線伊勢原立体) ・橋りょうの新設(湘南大橋)
239 道路施設の適正な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・舗装の補修(国道467号) ・安全施設の維持(県道704号(秦野停車場)の歩道補修)
240 先導的な都市拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・第二東名高速道路などのインターチェンジ周辺地区の整備促進
241 計画的な宅地供給の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理の促進(大浜地区、香川・下寺尾地区、今泉台地区、真田地区、柄沢地区、湘南の丘地区)
244 安全・安心に配慮した住まいづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・障害者向け公営住宅の整備、改善の推進(県営伊勢原申橋団地)
245 的確な公営住宅の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな手法による公営住宅整備の展開(県営伊勢原申橋団地)
246 良質な住宅ストック形成と活用による住まいづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション管理組合ネットワーク構築の促進
249 下水道整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・相模川流域下水道の整備(左岸処理場、右岸処理場の整備)
250 下水道施設・資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・相模川流域下水道処理場の上部を利用した緑地整備 ・太陽光発電設備の設置(相模川流域下水道右岸処理場) ・下水道資源の有効活用
251 みどりを保全・活用するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・湘南海岸砂防林の保護育成(藤沢海岸、茅ヶ崎海岸、平塚海岸)
252 都市公園などの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・県立都市公園などの整備(秦野戸川公園、茅ヶ崎里山公園、さがみグリーンライン) ・河川事業との連携による都市公園の整備(境川遊水地公園) ・新たな手法による都市公園などの整備(伊勢原方面公園) ・県立都市公園機能の充実(湘南海岸公園) ・近代建造物と邸園を保全活用した地域づくり
253 うるおいのあるみち空間の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の整備(国道129号) ・幅の広い歩道の整備(県道404号(遠藤茅ヶ崎)) ・段差のない歩道の整備(県道22号(横浜伊勢原))
254 都市景観の保全と創造	<ul style="list-style-type: none"> ・相模湾沿岸における「景観まちづくりのための指針」の策定
255 ひとや自然にやさしい水辺づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとや自然にやさしい川づくり(金目川の護岸補修) ・ひとや自然にやさしい海岸づくり(平塚海岸、二宮海岸の養浜の整備) ・ひとや自然にやさしい溪流づくり(下子易沢の溪流保全の整備)
256 環境への負荷を軽減するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・環境と共生する都市づくりの誘導とその普及啓発

湘南地区

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

243 良質な都市型住宅の供給と住環境の整備

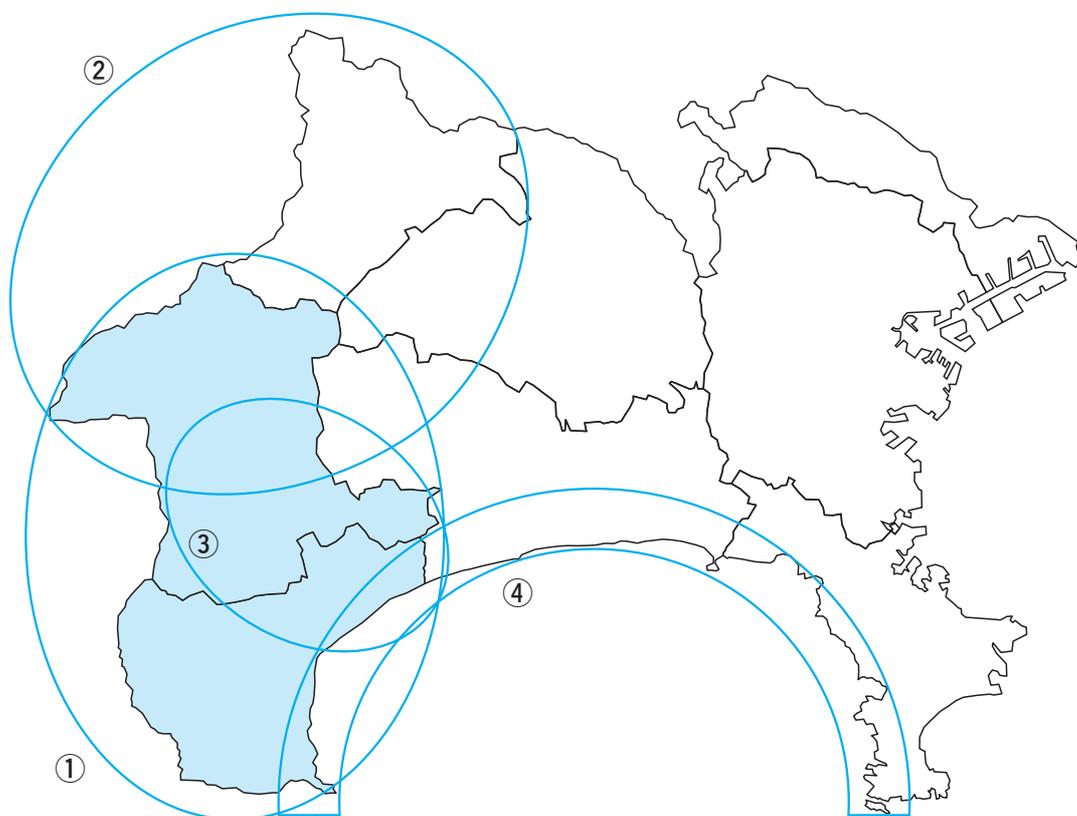
3 緑住快適交流都市圏

丹沢、酒匂川流域を一体としてとらえた、足柄上から西湘に至る県西部の地域

■ 地域政策圏形成の基本的方向

隣接県との交流・結節地域として、交流・発信できる成熟した定住都市をめざします。

豊かな自然環境を保全し、文化的遺産などの観光資源を維持・活用しつつ、都市基盤や産業基盤の整備など生活環境や生産環境の整備に努めるとともに、文化や産業の振興などによる地域主体のまちづくりと地域の活性化につながる土地利用を進めます。



※ ○はおおよその対象地域を示したものです。

- ① 県西地域の活性化
- ② 水源地域の総合保全整備

- ③ 都市緑化ベルトの整備
- ④ 相模湾沿岸地域の保全・創造

■ 各地区の施策の方向

VII 足柄上地区

活力と魅力あふれる快適環境生活圈・足柄

【施策の方向】

- 1 産業や定住を支える基盤整備と企業誘致による活力づくり
- 2 観光基盤の整備と地域資源の活用による交流の地域づくり
- 3 農山村の資源を生かした元気づくり
- 4 県民との協働・連携による水源の環境づくり

VIII 西湘地区

いきいき観光交流都市・西湘

【施策の方向】

- 1 地域資源を生かし世界に開かれた観光の魅力づくり
- 2 活力ある産業づくりと魅力ある中心市街地づくり
- 3 交流・連携を支える道路網などの整備

■ 広域的な取組みの方向

○地域資源を生かした県西地域の活性化

■山梨、静岡、神奈川の54市町村*1を含む地域（富士箱根伊豆交流圏）の交流・連携を図り、富士箱根伊豆の豊かな地域資源を生かすとともに、相模湾や酒匂川あるいは梅林、あじさいなどを生かした花と水の交流圏づくりや酒匂川流域の都市づくりなど、①**県西地域の活性化**を図ります。

○川・山・みどり・海岸の自然の連なりを生かした保全と活用

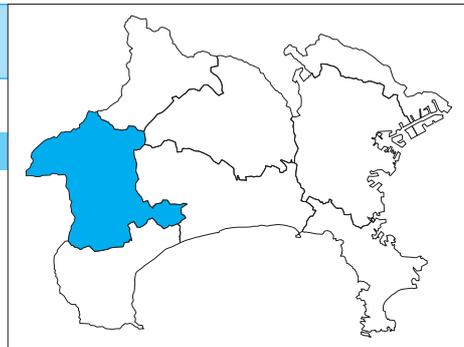
■神奈川の水源地域の森林を守り育てるとともに、水源地域の環境に対する負荷の低減を図り、良好な水環境の創造に取り組み、②**水源地域の総合保全整備**を進めます。

■酒匂川流域などの貴重なみどりの保全と、積極的なみどりの創造に取り組み、③**都市緑化ベルトの整備**を図ります。

■豊かな自然環境や城下町小田原を中心とした史跡、近代の保養所・別荘の立地などの歴史・文化、特筆すべき景観など相模湾沿岸の地域資源を守り、生かし、発信するための地域づくりを県民と行政が協働・連携して進めていくことで④**相模湾沿岸地域の保全・創造**を図ります。

* 1 2004(平成16)年11月1日現在

Ⅶ 足柄上地区



■ 地域の将来像

活力と魅力あふれる快適環境生活圏・足柄

豊かな森林と水と田園のある空間に実現する、
活力とうるおいのある快適な暮らし・いきいき足柄を
めざして

1 地域の課題

足柄上地区は、面積の8割を森林が占める水源地域で、酒匂川を軸に豊かな自然環境に恵まれたまとまりのある生活圏を形成しています。人口は減少傾向の自治体もあるものの、全体としては微増傾向にあり、製造業や農業の就業者が比較的多い状況です。今後はこうした豊かな自然の保全を図りながら、いかに活用していくかが課題となっています。また、本地域は2つの東名高速道路インターチェンジを持つ交通の結節点ですが、道路網などの都市基盤整備が十分でないことから、今後の地域活性化に向け、これらへの対応も強く求められます。

(1) 産業や定住を支える基盤整備と企業立地の促進

道路網など都市基盤の状況や地理的条件も要因となって、産業立地が進まず、人口減少傾向の自治体もあり、定住の促進や経済基盤の確立が求められています。

(2) 観光・交流を促進する基盤整備と地域資源の活用

箱根外輪山と丹沢に囲まれた立地条件ですが、入込観光客が少なく、体験型観光などの新しい観光の取組みが必要であり、交流人口の拡大が求められています。

(3) 農山村地域の資源を生かした活性化

農業の後継者不足や山間部での人口減少・高齢化、需要の変化などにより農林業が停滞し、耕作放棄地など農地・林地の荒廃を招いており、地域の資源・人材を生かした振興策が求められています。

(4) 水源地域としての環境保全対策の推進

県全体の3割の森林を有しますが、手入れが必要な森林も多く、県民と協働した保全の取組みが必要であり、また、低い下水道普及率の向上や不法投棄の防止が求められています。

地区の数値データ（指標）

基礎データ

・総人口 111,867人 (1.3%)
・総面積 380.37km² (15.7%)

※ () 内は全県に占める割合

○人口増加率

(単位：%)

1990-1995	1995-2000	2000-2004
3.6(3.3)	1.0(3.0)	0.8(2.4)

※ [] 内は全県の人口増加率（「神奈川県人口統計調査」より作成）

○製造品出荷額等

(暦年) (単位：億円)

1999	2001	2003
5,750(2.7%)	5,767(2.9%)	6,171(3.3%)

(「神奈川県工業統計調査結果報告」より作成)

○入込観光客数

(暦年) (単位：千人)

2001	2002	2003
3,415(2.3%)	3,497(2.3%)	3,834(2.5%)

(「神奈川県入込観光客調査報告書」
神奈川県観光振興対策協議会)より作成)

○販売農家数、耕地面積、耕作放棄地面積

(単位：戸、ha)

項目	1990	1995	2000
販売農家数	2,563(10.2%)	2,306(10.6%)	2,075(10.7%)
耕地面積	2,729(10.1%)	2,578(10.7%)	2,438(11.2%)
耕作放棄地面積	224(15.0%)	187(15.4%)	234(16.2%)

(敷地面積は、「神奈川県農林水産統計年報」、
他は「世界農業林業センサス結果概要」より作成)

○水源の森林づくりで適切に管理されている森林面積

(単位：ha)

2001	2002	2003
2,095(48.9%)	2,276(46.3%)	2,437(43.8%)

(「水源の森林推進課調べ」より作成)

2 地域の将来ビジョン

企業立地が進み、地域の特色を生かしたモノづくりなど様々な生産活動が営まれ、地域資源を生かした交流活動も活発に行われ、都市部住民と地元住民との協働・連携による環境保全活動が展開されるなど、活力と魅力あふれる快適環境生活圏・足柄をめざします。

(1) 産業や定住を支える基盤整備と企業誘致による活力づくり

道路網などの基盤整備や地域の活性化につながる土地利用により、企業などの活動に適した生産環境や住民・就業者の快適な生活環境が整備されるとともに、都市部と均衡のとれた発展を図り、地域経済基盤の確立をめざします。

(2) 観光基盤の整備と地域資源の活用による交流の地域づくり

都市部との交流が活発に行われるよう、田園・丘陵・森林・水辺に魅力ある回遊・体験型の拠点やスポット、ルートを整備するとともに、これら地域資源を活用する施策の充実を図ります。

(3) 農山村の資源を生かした元気づくり

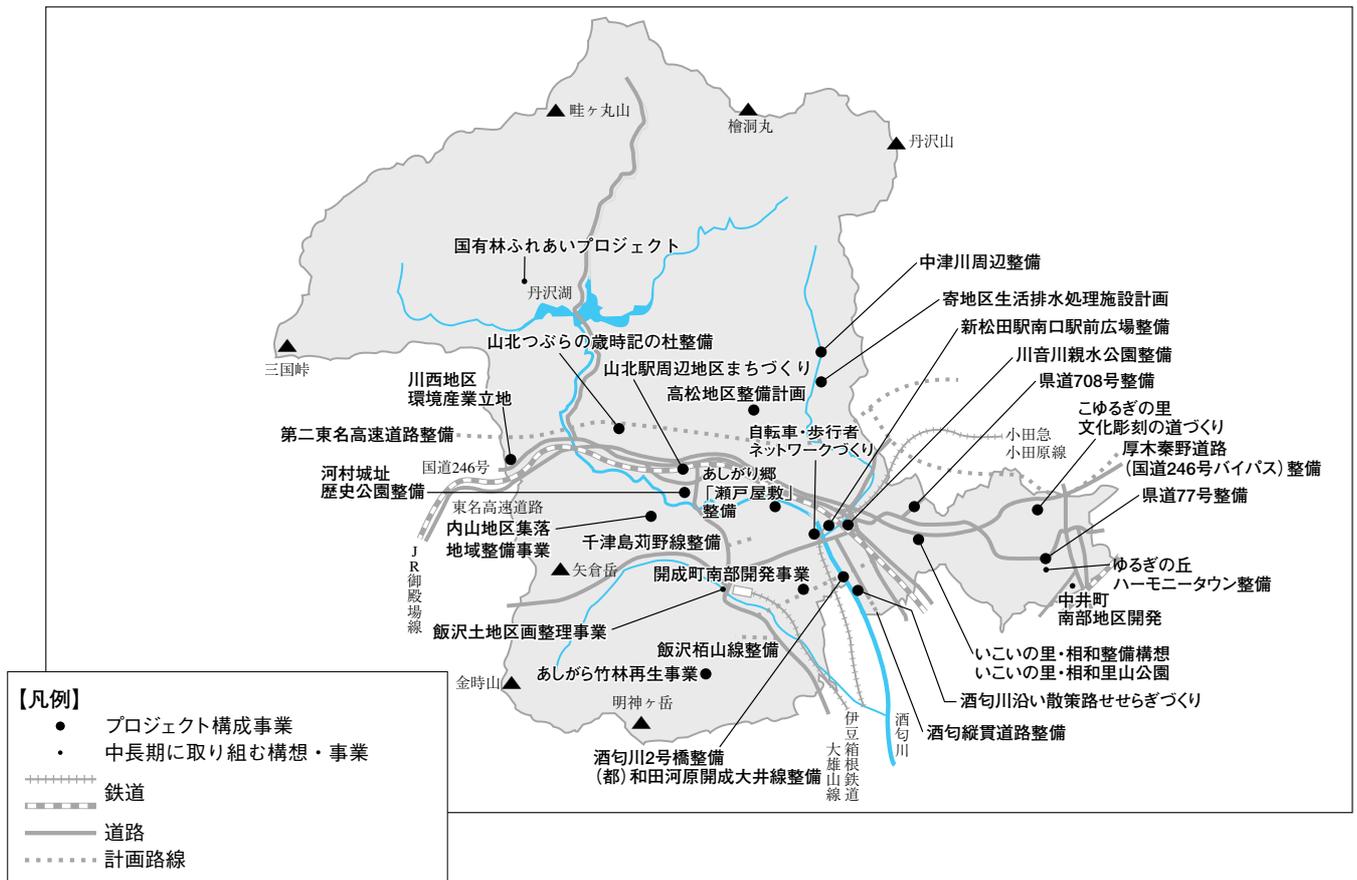
農産物直売や地場産品を使った名産品づくりなど地産地消^{*1}の取組みが進むとともに、農業への多様な担い手の確保や森林資源の有効活用を図り、農林業の活性化をめざします。

(4) 県民との協働・連携による水源の環境づくり

私有林の公的管理・支援^{*2}や都市部住民・地元住民の参加による森林保全活動など、豊かで活力ある森林づくりを進めるとともに、生活排水処理の改善や住民参加による不法投棄の防止対策を進めます。

足柄上
地区

3 地域構想図



* 1 地産地消…地元でとれた新鮮で安全な農林水産物を地元で消費すること。食に対する安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解を深める取組みとして期待されています。

* 2 私有林の公的管理・支援…水源の森林づくり事業では、手入れの行き届かなくなった森林を県が森林所有者に代わって整備する公的管理と、自ら整備を行っている森林所有者を県が支援する公的支援により、水源かん養機能の高い森林づくりを推進しています。

■ 地域プロジェクト

1 産業や定住を支える基盤整備と企業誘致による活力づくり

① 道路網など都市基盤の整備推進

企業立地を促進し、人々の生活に便利で快適な環境を整備するために、酒匂川流域などの道路網を整備するとともに、総合交通ネットワークの形成を図り、駅前広場や市街地の土地区画整理など都市基盤整備を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 酒匂川2号橋の整備推進 (県)	設計	用地買収・橋りょう整備		事業実施
2 交流幹線道路網の整備 (県)		整備		事業実施
3 (都) 和田河原開成大井線の整備 (南足柄市、大井町、開成町)	計画策定	一部整備 未整備箇所の調査、研究		事業連携
4 飯沢栢山線、向田狩野線の整備 (南足柄市)	道路整備、用地買収	道路橋りょう、用地買収		事業連携
5 中井町役場周辺の整備 (中井町、民間)	関係機関などと方針協議	整備計画策定 地権者交渉		事業支援
6 新松田駅南口駅前広場の整備 (松田町)	地権者交渉	地権者交渉、用地測量	設計、用地買収	事業支援
7 山北駅周辺地区のまちづくり (山北町)	町道・交通広場整備 クリーンエネルギー導入事業	整備計画策定	事業実施	事業支援
8 鉄道網の強化・沿線地域の活性化 (市町)	御殿場線沿線地域活性化の検討	事業実施	大雄山線延伸の調査検討	事業支援・連携



開成駅・酒匂川2号橋建設地周辺

②企業立地の促進

地域内の雇用を拡大し、地域の経済基盤を充実していくため、市町の開発計画を土地利用制度などの面から協力支援するとともに、県、市町が連携して企業立地を促進します。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 工場・研究所などの立地促進 (県、市町)		誘致活動		事業実施 ・連携
		経済的支援		
2 山北諸湖産業プロジェクトの推進 (山北町、民間)		諸湖工業団地企業誘致活動		事業支援
		丸山地区企業誘致活動		
		平山地区工業用地など造成	企業誘致	
3 開成町南部開発事業の推進 (開成町、民間)		計画策定・土地造成		事業支援
		土地区画整理事業		
4 山北町川西地区への環境産業立地 (山北町、民間)		事業化調査・地元調整等		事業支援

足柄上
地区



グリーンテクなかい

③農山村地域の基盤整備の推進

農業を振興し、農山村地域を活性化し、定住を促進するなど魅力ある農山村地域の創造に向けて、計画的な土地利用や生産環境の整備を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 内山地区集落整備事業の推進 (南足柄市、民間)		地元調整、基本計画策定		事業支援
			実施計画策定	
2 いこいの里・相和整備構想の推進 (大井町、民間)		整備計画策定		事業支援
		実施設計		
			整備	
3 高松地区整備計画の推進 (山北町、民間)		整備計画策定		事業支援
		実施計画策定・基本設計等		
4 岸地区中山間地域総合整備事業の推進 (山北町)		実施設計		事業支援
			事業実施	
5 農業生産基盤などの整備 (県)		農村振興総合整備事業(開成北部地区) 農道整備事業(井ノ口東、下怒田地区等)		事業実施

2 観光基盤の整備と地域資源の活用による交流の地域づくり

① 観光・交流基盤の整備推進

豊かな自然環境を生かし、都市部との魅力ある交流空間を形成するために、田園・丘陵・森林・水辺に回遊・体験型の拠点やスポット、ルートの整備を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 花と水の交流圏づくり拠点施設の整備(あしがり郷・瀬戸屋敷) (開成町)	施設整備、情報機器整備 施設オープン			事業支援
2 花と水の交流圏の観光・交流スポットなどの整備				
・ あしがら花紀行 (南足柄市)	狩川遊歩道、福沢地区農道など整備			事業支援
・ 蔵島湿生公園 (中井町)	案内板の設置			事業支援
・ 酒匂川沿い散策路・せせらぎづくり (大井町)		水路整備・公園整備		事業支援
・ 七滝と里山めぐりコース (大井町)		施設整備		事業支援
・ 西平畑公園 (松田町)		進入路改良		事業支援
・ 中津川周辺 (松田町)		花木植栽等		事業支援
・ 歴史と自然にふれあう公園 (山北町)		河村城址散策道整備		事業支援
・ 大野山・桜の里づくり (山北町)		散策道・植栽・東屋の整備		事業支援
・ あじさいネットワーク (開成町)		あじさいの植替え		事業支援
3 山北つぶらの歳時記の杜整備				
・ 簡保総合レクセンター (国)	県・町との協議調整			事業連携
・ 山北つぶらの公園 (県)	環境調査		公園整備	事業実施
・ 大野山ふれあい牧場(仮称) (県)		牧場整備		事業実施
・ 山北町ふるさと館 (山北町)		実施設計		事業支援
4 水源地域交流基盤の整備 (山北町)	ふれあい交流広場整備 中川温泉・森林と清流の広場などの整備			事業支援



あしがり郷・瀬戸屋敷主屋



大野山の乳牛放牧風景

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
5 こゆるぎの里文化彫刻の道づくり (中井町)	整備計画の策定	整備		事業支援
6 いこいの里・相和里山公園の整備 (大井町)	基本設計、測量	実施設計	整備	事業支援
7 川音川親水公園の整備 (松田町)	関係機関との調整	基本設計	実施設計、整備	事業支援
8 河村城址歴史公園の整備 (山北町)	整備計画策定	史跡整備	公園整備	事業支援

足柄上
地区

②観光・交流ソフト事業の推進

住民が地域への誇りを持って都市住民などとの交流を活発に展開していくため、交流拠点やスポットを活用して、イベント開催や情報提供・発信などを行い、観光・交流面から地域の活性化を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 花と水の交流圏づくり・情報発信PR事業の推進 (県、市町、民間)	ガイドマップの作成、ホームページ運営等			事業実施 ・連携
2 酒匂川流域を中心とした都市づくり (県、市町、民間)	酒匂川流域の都市づくりに向けた協働の取組み	自転車・歩行者ネットワークの形成		事業実施 ・連携
3 あしがら塾（田園文化発信）事業の推進 (県)	ワークショップ講座	イベント開催		事業実施
4 水源地域交流事業の推進 (県、山北町、民間)	交流イベント開催等			事業実施 ・連携
5 あしがら花紀行の推進 (市町、民間)	花づくりイベントの連携開催			事業連携
6 フィルムコミッション事業の推進 (市町、民間)	撮影誘致、ロケ活動誘致			事業支援 ・連携

民との協働

あしがら花紀行

農家など地域住民が主体となって、花による地域おこしとして、四季折々に咲く花のエリアづくりや開花時期に合わせたイベントを開催し、都市部との交流拡大を図っています。



沿道の花アオイ

3 農山村の資源を生かした元気づくり

①地産地消の推進

都市近郊という条件を生かし、地産地消による農林業の活性化を進めていくために、特産品の開発・普及やブランドの確立をめざす施策を行うとともに、消費者の体験・交流型農業の仕組みづくりを進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 足柄の特産品の開発 (県、民間)	調査・試作	商品化検討	商品化・普及	事業実施 ・支援
2 新規茶園の造成 (市町、民間)	推進体制整備 (開成町)	事業化	新植・改植事業(南足柄市)	事業支援 ・連携
3 観光農業の推進 (市町、民間)	栽培者組織化、技術指導	技術指導、面積拡大	体験農業実施	事業支援

②農業の多様な担い手の育成と確保

兼業農家が多く荒廃農地が増加している地域の現状を踏まえ、中高年都市住民の農作業への参加を進めるとともに、女性農業者や新規就農者への支援や、農作業受委託組織による農業経営の効率化など、農業を支える人材・組織づくりを進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 中高年ホームファーマー*1の育成 (県)	農園開設・研修実施			事業実施
2 女性農業者の農業経営への参画推進 (県)	農業技術習得支援	講習会、家族経営協定締結支援		事業実施
3 新規就農者の育成・支援 (県)	農業技術習得支援			事業実施
4 農作業受委託組織の事業促進 (県、民間)	農業技術習得支援、組織化・育成			事業実施 ・連携

③森林資源の有効活用の促進

県産木材の需要拡大を図っていくために、県有林整備から発生する間伐材などの需要流通を開拓していくとともに、林道開設などにより木材生産環境を整備し、森林資源の持続的な保全の取組みを進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 県有林資源活用事業の推進 (県)	県産材の生産と供給			事業実施
2 林道開設事業の推進 (県)	整備中路線の工事継続			事業実施
3 県産木造公共施設の整備 (山北町)	施設整備			事業支援

* 1 中高年ホームファーマー…中高年ホームファーマー事業とは、主として耕作されなくなった農地を県が農家から借り受け、借りた農地を耕作できる状態にし、中高年の方などに耕作していただくもので、県民の皆さんに健康と生きがいの場を提供し、併せて耕作放棄地を防止し農地の保全を図るものです。

4 県民との協働・連携による水源の環境づくり

① 県民との協働・連携による森林・里山保全の推進

水源地域の森林や里山の環境を保全していくために、私有林の公的管理・支援や森林整備事業を行うとともに、都市部や地元の住民が参加した森林づくり・里山づくりを進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 私有林の公的管理・支援 (県、南足柄市、松田町、山北町)	水源林の確保・整備			事業実施 ・支援
2 水源森林総合整備事業の推進 (県)	ダム上流など水源森林の整備			事業実施
3 県民参加の森林づくり (県、民間)	体験講座などの開催			事業実施 ・連携
4 里山づくりの推進 (県、市町、民間)	推進体制の整備、保全活動などの計画策定 保全活動・簡易な基盤整備(山田・柳地区)			事業実施 ・支援
5 あしがら竹林再生事業の推進 (県、民間)	竹林実態調査・整備試行	竹林整備・活用検討		事業実施 ・連携
6 ぶなの植樹・管理事業の推進 (南足柄市、民間)	ぶなの植栽管理			事業連携

足柄上
地区

民との協働

あしがら竹林再生事業

竹林ボランティアなど県民参加型の取組みを通して竹林の整備や竹材の活用を行うことにより、あしがら地域の荒廃竹林を再生し、地域の魅力を高め、地域の活性化を図ります。

地域住民による自立的な竹林管理や竹文化の発信、都市地域の県民との交流ができるようなしくみを構築することを目的とします。



② 水源地域などの生活環境整備の推進

水源地域の環境保全を図り、水質を確保していくために、生活排水処理施設の整備を促進するとともに、不法投棄の防止対策を地域の行政機関、団体、企業、住民が一体となって進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 生活排水処理施設整備の促進 (県、市町)	施設整備の促進			事業実施 ・支援
2 寄地区生活排水処理施設計画の推進 (松田町)	調査検討	関係機関との調整 全体計画見直し・事業認可		事業支援
3 清水・三保地区生活排水処理施設計画の推進 (山北町)	調査検討	関係機関との調整 全体計画見直し・事業認可		事業支援
4 不法投棄の防止対策の推進 (県、市町、民間)	キャンペーン事業などの実施			事業実施 ・支援 ・連携

足柄上地区で展開される主な取組み

「神奈川力構想・プロジェクト51」の実施計画に記載されている「主な施策・事業」及び「まちづくり事業」のうち、足柄上地区で展開される主なものを紹介します。

I 安心してらせる福祉・医療の基盤整備

「神奈川力構想・プロジェクト51」 137～142ページ

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・

- | | |
|------------------------------|----------------------------------|
| 1 地域医療の機能別整備 | 2 救急医療体制の強化 |
| 5 保健・医療・福祉人材の養成・確保 | 7 保健・医療・福祉現任者教育の充実と専門性の向上 |
| 8 生活習慣病対策の推進 | 9 8020運動（歯科保健）の推進 |
| 10 母子保健の推進 | 11 難治性疾患対策の充実 |
| 12 感染症対策の充実 | 13 エイズに関する教育、普及・啓発活動の充実と民間活動への支援 |
| 14 エイズに関する相談・検査及び医療体制の充実 | 18 地域における福祉コミュニティづくりの促進 |
| 20 権利擁護の推進 | 21 介護保険制度の定着と適切なサービスの提供 |
| 22 介護保険施設などの着実な整備 | 23 高齢者の介護予防などの取組みの充実 |
| 24 高齢者の社会参画活動への支援 | 25 身体・知的障害者の支援費制度に基づく福祉サービスの充実 |
| 26 身体・知的障害者の日常生活への支援の充実 | 27 身体・知的障害者の就労・社会参加の促進 |
| 28 障害特性を踏まえた民間障害福祉施設などの整備・充実 | 31 精神障害者福祉の充実 |
| 33 福祉のまちづくりの推進 | |

II 県民の安全・安心の確保

「神奈川力構想・プロジェクト51」 143～149ページ

【主な施策】

【取り組む内容】

35 安全で安心な食の確保	・ 養殖業に対する防疫と安全の指導 ・ 環境にやさしい農業の普及、助成 ・ 農産物トレーサビリティシステムを導入する団体への支援
42 緊急輸送路などの整備	・ 緊急輸送路となる橋りょうの整備（国道255号松田高架橋、県道78号（御殿場大井）足柄大橋の耐震対策）
46 治水対策の推進	・ 大河川の整備（酒匂川の護岸整備） ・ 都市河川の整備（要定川の護岸整備）
48 土砂災害防止施設などの整備	・ 砂防施設の整備（名納沢） ・ 急傾斜地崩壊防止施設の整備（谷峨地区、篠窪日陰地区） ・ 落石などの危険箇所の整備（県道725号（玄倉山北））
50 安全防災を支える農林水産業の推進	・ 災害を未然に防止する農業施設づくり（日影地区、鬼柳地区の用排水路） ・ 治山事業の推進（寄、箒沢、唐沢川）
72 交通安全施設などの整備	・ 県道78号（御殿場大井）の自転車歩行者道の整備 ・ 県道711号（小田原松田）の歩道整備

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 36 浴場のレジオネラ症発生防止対策の推進 | 38 消費者被害などの未然防止と救済 |
| 52 市町村地震防災対策への総合的支援 | 53 災害時広域応援体制の強化 |
| 63 身近な犯罪の予防・検挙活動の推進 | 70 生涯にわたる交通安全教育の推進 |
| 73 効果的な交通指導取締りの推進 | 78 警察施設・装備の整備 |

Ⅲ 未来を担う人づくり

「神奈川力構想・プロジェクト51」 150～154ページ

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

82	子育てを支える地域社会の基盤の充実	83	保育所などの整備・拡充の促進
84	多様な保育サービスの拡充	85	児童虐待の防止に向けた取り組みの促進
86	児童養護施設などにおける専門的ケアの充実	90	不登校・ひきこもり、いじめ・暴力行為などへの対応
94	学校と地域社会との交流の活性化	95	新しいタイプの高校の設置拡大
98	快適な教育環境の整備	99	県立学校などの防災対策の推進
106	青少年問題への総合的取り組みの推進	107	青少年を取り巻く社会環境の健全化の推進
109	教育相談の充実	110	家庭、地域の教育機能の充実
111	青少年の多様な体験活動の促進		

Ⅳ 産業振興による地域経済の活性化

「神奈川力構想・プロジェクト51」 155～160ページ

【主な施策】

【取り組む内容】

131	地域の特性を生かした産業の振興	・ 県西地域産業振興協議会を核とした地域からの産業振興（創業応援キャラバン、創業者育成塾、インキュベート施設整備の促進、大学技術の企業への紹介等）
133	かながわツーリズムの推進	・ 丹沢大山地域をモデル地区とした観光魅力づくりの推進
140	地産地消による農林水産業の振興	・ 林産物の販売促進や森林・林業に関する体験・学習拠点の整備 ・ 中高年ホームファーマーの育成 ・ 農産物流通施設などの整備の支援 ・ 食に関する教育を推進する地域活動を行う団体への支援
141	資源の有効活用による農林水産業の振興	・ 計画的な間伐にかかる協定の締結及び間伐材の集材・搬出の支援 ・ 私有林の森林整備への支援 ・ 公共施設における県産木材の利用促進 ・ 家畜排せつ物処理施設などの整備の推進
142	地域における農政の総合推進	・ 山村地域の生活環境整備への支援 ・ 鳥獣による農林水産業被害対策の推進
143	環境に配慮した農業生産基盤の確保と整備	・ 農村総合整備（金井島地区、開成北部地区）、山村振興対策（清水・北足柄地区） ・ 農道整備の推進（井ノ口東地区、下怒田地区、中村西地区、南足柄地区）
144	森林づくりを支える基盤の整備と森林の保全	・ 林道の計画的な整備（八丁神縄林道、桧山林道等） ・ 人工林の適正な整備と複層林や混交林などの多彩な森林づくりの推進 ・ 保安林機能の回復及び増進 ・ 崩壊地の復旧及び荒廃渓流の計画的な整備
147	地域に即した生産の振興	・ アユの種苗放流とワカサギ卵の確保などによる内水面漁業の振興 ・ みかんや茶の生産振興による傾斜地農業の活性化
151	多様な生物が生息する水辺環境の保全と創造	・ カワウやブラックバスなどによる在来魚への食害防止などの技術開発
155	都市と交流するふれあい農林業の展開	・ 大野山ふれあい牧場（仮称）の整備

足柄上
地区

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

120	ベンチャー企業の創出・育成	121	新規成長分野の産業振興
122	企業誘致の促進	125	産学公連携による事業化・商品化への支援
126	ものづくり高度化への支援	129	経営革新への支援
130	まちのにぎわいを創出する産業の振興	132	コミュニティビジネスの創出促進
146	農林水産業の経営基盤の強化	150	農地の持つ多面的機能の発揮
152	環境にやさしい農業の推進		

V 地域からの環境の保全と創造

「神奈川力構想・プロジェクト51」 161～164ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
160 新エネルギー導入の推進	・ 木質バイオマスエネルギーなどの活用
167 協働による環境保全活動の実践の推進	・ 鮎沢川・酒匂川流域環境保全行動の推進
174 県民との協働による水源の森林づくり	・ 水源地域の私有林の公的管理・支援の推進
175 丹沢大山などの自然環境の保全としくみづくり	・ 丹沢大山総合調査の実施 ・ 自然環境管理システムに基づいた新しい丹沢大山保全計画の策定 ・ ニホンジカなどの保護管理の推進 ・ ブナ林・林床植生の保全 ・ オーバーユース対策の推進 ・ 丹沢大山地域などにおける鳥獣保護区の指定、被害対策にかかる市町村への支援
177 自然とのふれあいと県民と一体となった森林の保全	・ 自然公園の整備と活用(丹沢大山国定公園、県立丹沢大山自然公園) ・ 県民参加による森林づくりの推進

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

156 廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	157 不法投棄の防止対策の推進
158 地球温暖化対策の推進	162 総合的な環境教育の推進
164 環境にやさしいライフスタイルの促進	165 事業者・消費者としての県の環境配慮への率行的取組み
166 参加と協働による環境保全のためのしくみづくり	169 環境に配慮した土地利用の推進
170 水環境保全対策の推進	176 都市と里山のみどりの保全と活用

VI 心豊かなくらしと共生社会の実現

「神奈川力構想・プロジェクト51」 165～170ページ

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

183 文化財の保存と活用	185 県立社会教育施設などの生涯学習機能の活用
186 学習内容の深化と成果を活用する場づくり	190 スポーツ活動を支えるしくみづくり
192 スポーツ活動の多様な場づくり	193 NPOなどとの協働・連携による公的サービスの推進
194 ボランティア活動支援の推進	195 NPOなどに関する情報提供・相談体制の充実
200 家庭と仕事などの両立支援	201 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重
203 地球市民意識の醸成と多文化理解の推進	204 非核・平和意識の普及
205 世界の地域との交流の推進	206 アジア地域などへの国際協力の推進
207 環境分野における人、技術、情報の国際交流の推進	208 外国籍県民とともに生きるしくみづくり
209 外国籍県民がくらしやすい環境づくり	210 県民の国際活動の支援
211 県民の国際活動との協働・連携の促進	215 県政への県民参加の充実

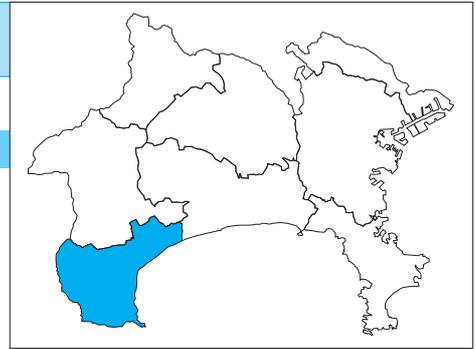
【主な施策】	【取り組む内容】
221 上流と下流の住民で支える水源地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域交流の里づくり ・水源地域上下流間交流の促進 ・水源地域が整備する交流促進施設、情報提供施設の整備への支援
224 酒匂連携軸整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・酒匂川流域を中心とした都市づくりの推進
225 富士箱根伊豆交流圏整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・御殿場線沿線地域の活性化及び構想の見直し
226 花と水の交流圏づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市町の施設整備への支援、情報発信やPR事業など
235 自動車専用道路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・第二東名高速道路、厚木秦野道路
237 交流幹線道路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・酒匂縦貫道路、県道74号（小田原山北）、県道77号（平塚松田）、県道78号（御殿場大井）、県道708号（秦野大井）
238 地域分断・交通のボトルネックの解消	<ul style="list-style-type: none"> ・橋りょうの新設（(都)和田河原開成大井線酒匂川2号橋）
239 道路施設の適正な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・橋りょうの修繕及び補強（県道74号(小田原山北)新大口橋の補修） ・舗装の補修（国道255号） ・安全施設の維持（県道78号（御殿場大井）の歩道補修）
241 計画的な宅地供給の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理の促進（ままた下怒田地区、開成町南部地区(仮称)）
248 水源地域の水環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム湖上流の砂防施設の整備（笹子屋沢、細川沢）
251 みどりを保全・活用するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりを生かしたがけ崩れ対策（谷峨地区、篠窪日陰地区の急傾斜地崩壊防止施設の整備）
252 都市公園などの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・県立都市公園などの整備（山北つぶらの公園）
253 うるおいのあるみち空間の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・段差のない歩道の整備（県道711号（小田原松田））
255 ひとや自然にやさしい水辺づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとや自然にやさしい川づくり（酒匂川、狩川の親水護岸整備）

定橋上
地区

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ……

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 232 公共交通整備の総合的な推進 | 243 良質な都市型住宅の供給と住環境の整備 |
| 244 安全・安心に配慮した住まいづくり | 249 下水道整備の推進 |
| 254 都市景観の保全と創造 | 256 環境への負荷を軽減するまちづくり |

VIII 西湘地区



■ 地域の将来像

いきいき観光交流都市・西湘

豊かな自然、歴史や文化が支える“やすらぎと
活力あふれるまち・西湘”をめざして

1 地域の課題

西湘地区は、富士・箱根・伊豆に連なる豊かな自然、歴史的遺産などの地域資源に恵まれ国際的な観光地として発展してきましたが、近年、宿泊観光客数の伸び悩みや中心市街地の空洞化など、地域経済の停滞が見られることから、一層の地域活性化に向けた取組みが必要です。

(1) 地域の資源を生かした観光振興

西湘地区は、海、山、川、湖、温泉の豊かな自然、歴史や文化など観光資源に恵まれ、全国有数の国際観光地・箱根、城下町宿場町小田原やさがみの小京都・湯河原をかかえています。地域では、観光客誘致のための様々な観光行事に取り組んでおり、年間3,000万人前後の観光客が訪れていますが、観光客数、特に宿泊観光客は減少傾向にあることから、一層の観光振興に努める必要があります。

(2) 産業振興と中心市街地活性化

商店や工場などの事業所数、小売業商品販売額などが減少傾向にあり、また、中心部の百貨店の撤退や郊外大型商業施設の出店などにより中心市街地の活力が低下していることから、中心市街地の総合的かつ魅力ある整備に努める必要があります。また、みかん園などの耕作放棄地の増加、後継者や担い手の不足など農林水産業を取り巻く環境が厳しい状況にあります。

(3) 交流・連携を促進する道路網などの整備

小田原厚木道路、西湘バイパスと国道（1号、135号）の接続部などにおいて渋滞が発生していますが、道路網は、生活基盤、産業基盤としての役割だけでなく、観光のための回遊ルートや災害時の緊急輸送路としての役割があることから、広域的な道路網などの整備に努める必要があります。

地区の数値データ（指標）

基礎データ

・総人口	249,923人	（ 2.9%）
・総面積	254.92km ²	（10.6%）

※（ ）内は全県に占める割合

○入込観光客数

（暦年）（単位：千人）

	2001	2002	2003
日帰り	24,095 (18.0%)	23,817 (17.5%)	24,698 (17.7%)
宿泊	6,051 (47.6%)	5,939 (46.2%)	5,878 (45.8%)
計	30,146 (20.5%)	29,756 (20.0%)	30,576 (20.1%)

（「神奈川県入込観光客数調査報告書」
（神奈川県観光振興対策協議会）より作成）

○外国人入込観光客数

（暦年）（単位：人）

	2001	2002	2003
箱根町・宿泊	61,345	66,225	52,576

（「箱根町調べ」より作成）

○小売業の年間商品販売額

（単位：億円）

	1997	1999	2002
	3,359 (4.3%)	3,256 (3.7%)	3,192 (3.8%)

（「神奈川県商業統計調査結果報告」より作成
西暦は調査実施年を示す）

○事業所数

（単位：事業所）

	1991	1996	2001
	14,739 (4.6%)	14,713 (4.5%)	13,684 (4.4%)

（「事業所・企業統計調査（総務省）」より作成）

○中心市街地流動客数

（単位：人/日）

	2001	2002	2003
	141,262	112,438	134,710

（「小田原市主要商店街流動客調査」より作成）

○都市計画道路の整備率

（単位：%）

	2001	2002	2003
	61.3	63.5	64.2

（「都市計画課調べ」より作成）

2 地域の将来ビジョン

自然、歴史、文化、産業などの多彩な地域資源を活用するとともに、静岡県などの隣県との交流も深めながら、「観光」を軸とした活力とやすらぎが感じられ、首都圏、さらには、海外から多くの人々が訪れる観光交流都市・西湘の実現をめざします。

(1) 地域資源を生かし世界に開かれた観光の魅力づくり

国内外から多くの人々が訪れるようにするため、西湘地区内外との交流・連携を深めながら、自然、歴史や文化などの恵まれた地域資源を生かした観光地としての魅力の向上をめざすとともに、外国人観光客への対応や歩く観光、体験型観光などの新たな観光ニーズにも対応した多様な観光振興を図ります。

(2) 活力ある産業づくりと魅力ある中心市街地づくり

地域の交流拠点にふさわしい市街地の魅力と活力を再生するため、小田原駅周辺などの整備や魅力ある商店・商店街づくりをめざすとともに、多彩な産業が集積するよう新たな企業誘致をめざします。また、人々が地場の商品や産品にふれる機会が増えるよう、地場産業や農林水産業と消費者との交流の促進を図ります。

(3) 交流・連携を支える道路網などの整備

人やものの交流、回遊性や防災面の機能を高め、都市の機能や自然のやすらぎを享受することができるようにするため、広域的な道路網などの整備、充実を図ります。

西湘地区

3 地域構想図



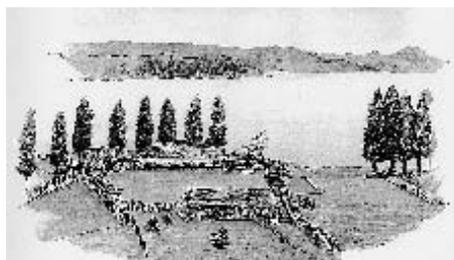
■ 地域プロジェクト

1 地域資源を生かし世界に開かれた観光の魅力づくり

①歴史・文化・伝統とのふれあい

貴重な史跡や歴史的建造物の保存活用に取り組むとともに、伝統的な街並みの整備や散策ルートづくりを進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 小田原城跡及び歴史的街並み整備				
・ 史跡小田原城跡の整備と花の名所づくり (小田原市)		馬屋曲輪の整備		事業支援
		散策路整備、花ラベル設置、植栽(花木・芝)		
・ 歴史的な景観資源を生かした景観形成 (小田原市)		景観形成指針などの策定		事業支援
		景観形成整備		
・ 近代建造物などを保全活用した地域づくり (県、小田原市、民間)		近代建造物などの保全・活用、新たな活用手法の検討		事業実施 ・ 連携
2 街かど博物館の整備 (小田原市)		整備		事業支援
3 箱根関跡の保存整備 (箱根町)		整備		事業支援
4 歴史的観光資源の発見・創造				
・ 人車鉄道活用事業の推進 (民間)		事業実施		事業支援



箱根関跡の全景

民との協働

街かど博物館の整備

街かど博物館は、かまぼこ、漬け物、菓子、塩干、木工などの地場産業に関わる工場、店舗などの協力のもと、観光客や市民が小田原の産業文化に触れることができる博物館として整備し、街なかの回遊性の向上を図るものです。

これにより、商業資源と観光資源を連携させて、街なかの魅力の向上を図ることで、地域産業の一層の振興と、中心市街地の活性化を進めます。



②海辺・水辺やみどりと花とのふれあい

美しい観光資源である海岸の保全・整備に取り組むとともに、酒匂川などの水系を環境と共生した親水性豊かなふれあいの場として整備します。また、みどり豊かな自然公園などを自然体験型のレクリエーションの拠点として整備するとともに、「花」と「水」をテーマとした観光・交流スポットの整備を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 真鶴港みなとまちづくりの推進 (県、真鶴町、民間)		物揚場の改良など施設整備 みなとまちづくり協議会の活動		事業実施 ・ 連携
2 ひとや自然にやさしい水辺づくり				
・ 酒匂川・早川多自然型護岸の整備 (県)		多自然型護岸整備(酒匂川)		事業実施
		多自然型・親水護岸整備(早川水辺プラザ)		

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
・ 西湘海岸の整備 (県)	相模灘沿岸海岸保全地域計画の策定			事業実施
	真鶴港海岸(琴ヶ浜)護岸工			
	小田原海岸(養浜工)			
	小田原漁港海岸(御幸の浜)防波突堤・潜堤整備			
・ ひとや自然にやさしい溪流づくり (県、湯河原町)	早川、須雲川(溪流保全工)			事業実施 ・ 連携
	藤木川(遊歩道整備)			
3 魅力ある都市公園などの整備				
・ 小田原西部丘陵公園 (県)		整備		事業実施
・ 小田原こどもの森公園わんぱくらんど (小田原市)		基盤整備・植栽		事業支援
4 自然公園の整備と活用				
・ 県立真鶴半島自然公園 (県、真鶴町)	遊歩道の柵・木階段などの補修			事業実施 ・ 支援
	保全利用基本計画の策定、公園計画の見直し			
	公園歩道などの整備			
・ 県立奥湯河原自然公園 (県、湯河原町)	歩道、池峯園地の整備等			事業実施 ・ 支援
・ 自然公園区域内自然探勝歩道 (県)	外輪山周廻歩道などの整備			事業実施
5 広葉樹林化の促進 (箱根町)	国・県道沿線の山林の広葉樹林化			事業支援
6 花と水の交流圏の観光・交流スポットの整備				
・ さつきの郷づくり (湯河原町)	植栽地除根・整地整備			事業支援
	広場・園路などの整備			
・ モミジの郷づくり (湯河原町)	歩道整備			事業支援
	園地整備			
・ 小田原健康ウォーキングコースの整備 (小田原市)	説明板・案内板などの設置			事業支援
7 西さがみ連邦共和国*1 散策道(仮称)の整備				
・ 片浦ウォーキング・トレイルの整備 (市町)	関係機関・団体との協議			事業支援
	整備構想・整備計画			
	サイン整備・道路整備			
8 酒匂川流域を中心とした都市づくり (県、市町、民間)	酒匂川流域の都市づくりに向けた協働の取組み			事業実施 ・ 連携
	自転車・歩行者ネットワークの形成			
9 温泉資源の保護と適正利用の推進 (県)	保護対策、温泉知識の普及、調査研究など			事業実施

西湘地区



みなとまちづくり(真鶴港)



さつきの郷づくり

*1 西さがみ連邦共和国…我が国有数の景勝地・保養地として知られ、歴史的にも深いつながりのある小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町の1市3町が、広域連携を深めながら、新しい型の地域づくりを推進するために組織したものです。

③世界に向けた観光誘客と情報提供の推進

近県や市町と連携を図りながら国内外からの観光客の誘致に取り組むとともに、地域の特色を生かした観光交流空間づくりを進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 海外からの観光客誘致の促進				
・ 国際観光見本市への出展参加 (県、市町、民間)		見本市への出展参加		事業実施 ・ 連携
・ 海外旅行会社を招待したツアーの実施 (県、市町、民間)		ツアーの実施		事業実施 ・ 連携
・ 海外メディアを活用した誘客宣伝の実施 (県、市町、民間)		国外の新聞・雑誌への広告掲載		事業実施 ・ 連携
2 外国人旅行者受け入れ体制の充実 (民間)		観光客実践もてなしモデル事業の実施		事業支援
3 県西地域観光誘客宣伝の実施 (県、市町、民間)		テレビによる観光宣伝		事業実施 ・ 連携
4 花と水の交流圏づくり・情報発信PR事業の推進 (県、市町、民間)		ガイドマップの作成・ホームページの運営等		事業実施 ・ 連携
5 西さがみ連邦共和国・観光交流空間づくり*1 (県、市町、民間)		アクションプログラムの策定・実施 活動啓発事業		事業実施 ・ 支援
6 西さがみ観光物産展の開催 (県、市町)		観光案内、製品の紹介・販売		事業実施 ・ 支援

2 活力ある産業づくりと魅力ある中心市街地づくり

①地域に根ざした商工業の振興

魅力ある商店やにぎわいのある街づくりに努める商店街団体などの支援や既存産業の競争力強化を図るとともに、コミュニティビジネスなどの創業を支援します。また、伝統工芸品産業の振興などに努めるとともに、企業立地の優遇制度などを利用し、工業団地への企業誘致を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 商工業の競争力強化 (民間)		新商品開発など経営革新 商店街施設整備・活動事業		事業支援
2 コミュニティビジネス*2などの創業支援 (県、市町、民間)		セミナーなどによる啓発・創業支援 コミュニティビジネス中間支援組織の構築		事業実施 ・ 連携
3 地場産業の振興				
・ ウッドクラフト展の開催 (民間)		事業実施		事業支援
・ 小田原箱根木製品フェアの開催 (民間)			事業実施	事業支援
・ 伝統的工芸品産業の振興 (民間)		後継者育成等		事業支援
・ 木工芸技術者の育成 (県、民間)		研修実施		事業実施 ・ 連携
4 新たな産業集積の促進 (県、小田原市)		工場、事業場などの進出促進支援		事業実施 ・ 連携

* 1 西さがみ連邦共和国・観光交流空間づくり…リーディングプロジェクトとして、「箱根駅伝街道魅力アップ事業」「西さがみ散策ネットワーク形成事業」「ビジット西さがみ推進事業」を実施。なお、本事業は、2004(平成16)年10月、国土交通省が実施する「観光交流空間づくりモデル事業」に選定されています。

* 2 コミュニティビジネス…県では、「地域の課題解決やニーズ充足のため、地域資源を活用しながら、地域住民自らが主体となって継続的に実施する地域密着型ビジネス」としています。

②活力と魅力ある中心市街地のまちづくり

広域交流拠点として小田原駅周辺の整備を進め、魅力ある中心市街地づくりに努めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 広域交流拠点の整備促進				
・ 小田原駅東口駅前広場などの整備 (小田原市)	広場再整備、人工地盤新設			事業支援
・ お城通り地区再開発 (小田原市、民間)	事業化計画策定	調査・設計	施設整備	事業支援
・ 小田原駅西口東町線街路整備 (小田原市)	用地取得 街路築造・電線共同溝整備			事業支援
・ 公共サイン整備 (小田原市)	案内板設置			事業連携
・ 城下町ホール（仮称）の整備 (小田原市)	基本構想	基本・実施設計、文化財調査、用地取得		事業支援
2 中心市街地活性化対策の推進				
・ 小田原TMO*1事業の推進 (民間)	TMO事業の推進			事業支援
・ 空き店舗を活用した商店街づくり (民間)	女性プラザの運営 チャレンジショップの運営			事業支援

西湘地区



小田原駅東口駅前広場整備

* 1 TMO…Town Management Organization（タウンマネジメント機関）の略。地域を構成する様々な主体が参加するまちづくりの運営を横断的・総合的に企画調整し、中心市街地の活性化と維持に主体的に取り組む機関をいいます。

③地産地消*1による農林水産業の振興

交流型農業の推進や体験教室の開催などにより地産地消の推進、農林水産業の理解促進に努めるとともに、小田原漁港の海業施設などの整備を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 交流型農業の推進				
・ オーナー制度などの推進 (民間)	制度確立	オーナー募集		事業支援
・ グリーンツーリズム*2拠点(早川地区)の整備 (小田原市)		地元調整・計画策定		事業支援
2 安全で安心な農林水産物の提供				
・ 漁獲物の鮮度保持施設の整備 (民間)	殺菌冷海水装置などの整備			事業支援
・ 農産物の生産流通確認システム(トレーサビリティシステム*3)の導入 (民間)	システム導入	システム推進		事業支援
3 食と農林水産業の理解促進				
・ 食育実践地域活動の推進 (小田原市)		体験学習・ボランティアの育成		事業支援
・ 全国豊かな海づくり大会地域大会の開催 (県、小田原市、民間)	地域プレ大会事業の実施	地域大会の開催	大会の成果の継承	事業実施 ・ 連携
・ 体験漁業の開催 (民間)		事業実施		事業支援
4 小田原ふれあいの海辺(小田原漁港)の整備				
・ 蓄養水面の確保と生産流通加工拠点の整備 (県、小田原市、民間)	防波堤・蓄養水面などの整備			事業実施 ・ 連携
・ 交流拠点の整備 (県、小田原市)	多目的広場・潜堤などの整備			事業実施 ・ 連携
	地下横断道路の整備			
5 岩漁港整備 (真鶴町)	基本計画策定、実施設計等			事業支援
6 森林の整備と活用				
・ 水源林の整備 (県、小田原市)	水源林の確保・整備			事業実施 ・ 支援
・ 県有林資源の活用 (県)	県産材の生産・供給			事業実施
・ 間伐などの森林整備 (県、市町、民間)	間伐・造林などの実施・支援			事業実施 ・ 支援
7 野猿などの有害鳥獣対策 (県、市町、民間)		野猿の追払等		事業実施 ・ 支援



小田原ふれあいの海辺(小田原漁港)イメージ

* 1 地産地消…地元でとれた新鮮で安全な農林水産物を地元で消費すること。食に対する安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解を深める取組みとして期待されています。
 * 2 グリーンツーリズム…みどり豊かな自然や美しい景観、個性豊かな伝統文化や人情味あふれる日常生活など、都会にはないゆとりとやすらぎを求めて、農村にゆっくり滞在することを目的とした旅行のことです。
 * 3 トレーサビリティシステム…食品などの生産、加工、流通などの各段階で原材料の出所や製造元、販売先などの記録を記帳・保管し、食品とその情報を追跡できるようにすることで、食品の安全の確保や問題食品の追跡・回収を容易にし、食品の安全や品質、表示に対する消費者の信頼確保に役立てるものです。

3 交流・連携を支える道路網などの整備

①広域的な道路網の整備

人やものの交流、回遊性や防災面の機能を高めるとともに、多様な交流・連携を支えるため、地域間を連絡する広域的な道路網の整備を進めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 交流幹線道路網の整備 (国、県)		調査・整備		事業実施 ・支援
		国道1号(小田原箱根道路)、酒匂縦貫道路、小田原環状道路、県道739号(真鶴半島公園)、(都)湯河原箱根仙石原線等		
2 広域農道の整備 (県)		広域農道小田原湯河原線の整備		事業実施

②ひとにやさしいみちづくり

幅が広く電柱や段差のない、だれもが歩きやすい歩道の整備を進めるとともに、街路樹の整備など道路緑化の推進に努めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 うるおいのあるみち空間の形成				
・ 街路樹の整備 (県)		県道72号(松田国府津)などの整備		事業実施
・ 幅の広い歩道の整備 (県)		国道255号、県道720号などの整備		事業実施
・ 電線の地中化 (県)		国道255号などの整備		事業実施
・ 段差のない歩道の整備 (県)		県道72号、県道711号などの整備		事業実施

③自然災害に強いまちづくり

地震、洪水、津波・高潮、土石流・がけ崩れなどの自然災害から観光客を含めた地域住民の生命・財産を守るとともに、広域的な道路網の機能を維持するため、治水対策の推進、津波高潮対策の推進や土砂災害防止施設などの整備に努めます。

構成事業名	2004	2005	2006	県の関わり
1 治水対策の推進 (県)		山王川大雄山線橋りょう架替 森戸川護岸整備		事業実施
2 津波高潮対策の推進 (県)		小田原海岸(防波柵、防潮扉) 湯河原海岸(人工リーフ)		事業実施
3 土砂災害防止施設などの整備				
・ 砂防施設の整備 (県)		ダム工(樺沢、勘三郎沢、米神清水川、宮城野沢)		事業実施
・ 地すべり防止施設の整備 (県)		アンカー工(早雲山)		事業実施
・ 落石など危険箇所の整備(国道1号、135号など) (県)		落石などの危険箇所の整備		事業実施
4 凍雪害対策の推進 (県)		調査		事業実施
		活動拠点整備		

西湘地区で展開される主な取組み

「神奈川力構想・プロジェクト51」の実施計画に記載されている「主な施策・事業」及び「まちづくり事業」のうち、西湘地区で展開される主なものを紹介します。

I 安心してらせる福祉・医療の基盤整備

「神奈川力構想・プロジェクト51」 137～142ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
33 福祉のまちづくりの推進	・都市公園のバリアフリー化の推進
・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・	
1 地域医療の機能別整備	2 救急医療体制の強化
5 保健・医療・福祉人材の養成・確保	7 保健・医療・福祉現任者教育の充実と専門性の向上
8 生活習慣病対策の推進	9 8020運動（歯科保健）の推進
10 母子保健の推進	11 難治性疾患対策の充実
12 感染症対策の充実	13 エイズに関する教育、普及・啓発活動の充実と民間活動への支援
14 エイズに関する相談・検査及び医療体制の充実	18 地域における福祉コミュニティづくりの促進
20 権利擁護の推進	21 介護保険制度の定着と適切なサービスの提供
22 介護保険施設などの着実な整備	23 高齢者の介護予防などの取組みの充実
24 高齢者の社会参画活動への支援	25 身体・知的障害者の支援費制度に基づく福祉サービスの充実
26 身体・知的障害者の日常生活への支援の充実	27 身体・知的障害者の就労・社会参加の促進
28 障害特性を踏まえた民間障害福祉施設などの整備・充実	31 精神障害者福祉の充実

II 県民の安全・安心の確保

「神奈川力構想・プロジェクト51」 143～149ページ

【主な施策】	【取り組む内容】
35 安全で安心な食の確保	・養殖業に対する防疫と安全の指導
36 沿場のレジオネラ症発生防止対策の推進	・温泉資源の保護と適正利用の推進
42 緊急輸送路などの整備	・緊急輸送路となる道路の整備（国道1号、国道135号の道路法面の防災対策、国道135号（洗頭川）の確保、国道138号（瀬戸沢）の確保） ・緊急輸送路と連携する緊急物資受入港の機能充実（真鶴港の防災施設の整備）
46 治水対策の推進	・都市河川重点整備「かながわSafetyリバー50」（山王川の護岸整備） ・大河川の整備（酒匂川の多自然型護岸整備） ・都市河川の整備（森戸川の護岸整備）
47 海岸保全施設の整備	・津波・高潮対策の推進（小田原海岸、真鶴港海岸、湯河原海岸） ・侵食対策の推進（小田原海岸の養浜の整備） ・漁港海岸の侵食防止（小田原漁港）
48 土砂災害防止施設などの整備	・砂防施設の整備（椿沢、勘三郎沢、米神清水川、宮城野沢） ・地すべり防止施設の整備（早雲山） ・急傾斜地崩壊防止施設の整備（聖ヶ窪地区、宮の前地区、府川地区）
49 水辺施設の保全の推進	・港湾施設の保全（真鶴港）
50 安全防災を支える農林水産業の推進	・災害を未然に防止する農業施設づくり（曾我谷津地区、曾我別所地区の水路兼用農道、鬼柳地区の用排水路） ・治山事業の推進（元箱根） ・災害に強い漁港の整備（小田原漁港）
72 交通安全施設などの整備	・県道723号（関本小涌谷）の交差点改良
・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・	
38 消費者被害などの未然防止と救済	52 市町村地震防災対策への総合的支援
53 災害時広域応援体制の強化	63 身近な犯罪の予防・検挙活動の推進
70 生涯にわたる交通安全教育の推進	73 効果的な交通指導取締りの推進
78 警察施設・装備の整備	

Ⅲ 未来を担う人づくり

「神奈川力構想・プロジェクト51」 150～154ページ

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業

82	子育てを支える地域社会の基盤の充実	83	保育所などの整備・拡充の促進
84	多様な保育サービスの拡充	85	児童虐待の防止に向けた取り組みの促進
86	児童養護施設などにおける専門的ケアの充実	90	不登校・ひきこもり、いじめ・暴力行為などへの対応
94	学校と地域社会との交流の活性化	95	新しいタイプの高校の設置拡大
98	快適な教育環境の整備	99	県立学校などの防災対策の推進
106	青少年問題への総合的取り組みの推進	107	青少年を取り巻く社会環境の健全化の推進
109	教育相談の充実	110	家庭、地域の教育機能の充実
111	青少年の多様な体験活動の促進		

Ⅳ 産業振興による地域経済の活性化

「神奈川力構想・プロジェクト51」 155～160ページ

【主な施策】

【取り組む内容】

131	地域の特性を生かした産業の振興	・ 県西地域産業振興協議会を核とした地域からの産業振興（創業応援キャラバン、創業者育成塾、インキュベート施設整備の促進、大学技術の企業への紹介等） ・ 箱根寄木細工の後継者育成事業などに対する助成 ・ 業種別組合などが行う新商品開発、販路開拓などの事業に対する支援 ・ 木工芸技術者の育成
133	かながわツーリズムの推進	・ テレビ放映による観光宣伝（県西地域） ・ 国際観光展への出展などによる国際観光客の誘致（県西地域）
140	地産地消による農林水産業の振興	・ 漁獲物の鮮度保持施設の整備に対する支援 ・ 学校給食への導入などをめざした「魚を食べること」への理解促進 ・ 全国豊かな海づくり大会を通じた「魚を食べること」の普及の推進
141	資源の有効活用による農林水産業の振興	・ 計画的な間伐にかかる協定の締結及び間伐材の集材・搬出の支援 ・ 私有林の森林整備への支援 ・ カタクチイワシなどの付加価値向上のための技術開発
143	環境に配慮した農業生産基盤の確保と整備	・ 農道整備の推進（広域農道小田原湯河原線、上曽我地区、早川石橋地区、六本松地区）
144	森林づくりを支える基盤の整備と森林の保全	・ 林道の計画的な整備（宮城野林道等）
145	水産基盤の整備	・ 漁港の整備（小田原漁港） ・ 市町営漁港の整備 ・ 漁港区域の海岸整備（小田原漁港海岸） ・ 魚礁などの設置による漁場造成
147	地域に即した生産の振興	・ 栽培漁業の推進による沿岸漁業の振興 ・ 資源管理型漁業の推進による沿岸・沖合漁業の振興 ・ アユの種苗放流とワカサギ卵の確保などによる内水面漁業の振興 ・ みかんや茶の生産振興による傾斜地農業の活性化
151	多様な生物が生息する水辺環境の保全と創造	・ カワウやブラックバスなどによる在来魚への食害防止などの技術開発
154	都市住民も参加した海業の推進	・ 都市と漁村との交流活動の推進 ・ 漁業経営へ遊漁の積極的導入 ・ 漁業・遊漁・海洋レジャーの利用調整

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業

120	ベンチャー企業の創出・育成	121	新規成長分野の産業振興
122	企業誘致の促進	125	産学公連携による事業化・商品化への支援
126	ものづくり高度化への支援	129	経営革新への支援
130	まちのにぎわいを創出する産業の振興	132	コミュニティビジネスの創出促進
142	地域における農政の総合推進	146	農林水産業の経営基盤の強化
150	農地の持つ多面的機能の発揮	152	環境にやさしい農業の推進

西湘地区

V 地域からの環境の保全と創造

「神奈川力構想・プロジェクト51」 161～164ページ

【主な施策】

【取り組む内容】

167	協働による環境保全活動の実践の推進	・ 鮎沢川・酒匂川流域環境保全行動の推進
174	県民との協働による水源の森林づくり	・ 水源地域の私有林の公的管理・支援の推進
177	自然とのふれあいと県民と一体となった森林の保全	・ 自然公園の整備と活用（県立真鶴半島自然公園、県立奥湯河原自然公園、自然公園区域内自然探勝歩道）

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・

156	廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	157	不法投棄の防止対策の推進
158	地球温暖化対策の推進	160	新エネルギー導入の推進
162	総合的な環境教育の推進	164	環境にやさしいライフスタイルの促進
165	事業者・消費者としての県の環境配慮への率先的取組み	166	参加と協働による環境保全のためのしくみづくり
169	環境に配慮した土地利用の推進	170	水環境保全対策の推進
175	丹沢大山などの自然環境の保全としくみづくり	176	都市と里山のみどりの保全と活用

VI 心豊かなくらしと共生社会の実現

「神奈川力構想・プロジェクト51」 165～170ページ

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・

183	文化財の保存と活用	185	県立社会教育施設などの生涯学習機能の活用
186	学習内容の深化と成果を活用する場づくり	190	スポーツ活動を支えるしくみづくり
192	スポーツ活動の多様な場づくり	193	NPOなどとの協働・連携による公的サービスの推進
194	ボランティア活動支援の推進	195	NPOなどに関する情報提供・相談体制の充実
200	家庭と仕事などの両立支援	201	異性に対する暴力の根絶と人権の尊重
203	地球市民意識の醸成と多文化理解の推進	204	非核・平和意識の普及
205	世界の地域との交流の推進	206	アジア地域などへの国際協力の推進
207	環境分野における人、技術、情報の国際交流の推進	208	外国籍県民とともに生きるしくみづくり
209	外国籍県民がくらしやすい環境づくり	210	県民の国際活動の支援
211	県民の国際活動との協働・連携の促進	215	県政への県民参加の充実

【主な施策】	【取り組む内容】
224 酒匂連携軸整備の推進	・酒匂川流域を中心とした都市づくりの推進
225 富士箱根伊豆交流圏整備の推進	・御殿場線沿線地域の活性化及び構想の見直し ・ウエスト4実行委員会への支援
226 花と水の交流圏づくりの推進	・市町の施設整備への支援、情報発信やPR事業など
227 相模湾沿岸の地域資源を生かした魅力ある地域づくり	・相模湾沿岸地域保全等構想の策定
234 みなとまちづくりの推進	・真鶴港の再整備
237 交流幹線道路網の整備	・国道1号(小田原箱根道路)、国道135号、酒匂縦貫道路、小田原環状道路、(都)湯河原箱根仙石原線、県道709号(中井羽根尾)、県道739号(真鶴半島公園)、(都)城山曾比線
239 道路施設の適正な維持管理	・舗装の補修(県道72号(松田国府津))
242 既成市街地の再整備による都市機能の更新	・市街地再開発の促進(小田原駅東口お城通り地区)
244 安全・安心に配慮した住まいづくり	・高齢者・障害者向け公営住宅の整備、改善の推進(県営南鴨宮団地)
245 的確な公営住宅の整備	・公営住宅の的確な整備(県営南鴨宮団地)
247 安全で良質な水の安定供給の推進	・県営水道の充実(イタリー水源の小水源浄水処理改善対策)
249 下水道整備の推進	・酒匂川流域下水道の整備(左岸処理場、右岸処理場の整備)
250 下水道施設・資源の有効活用	・酒匂川流域下水道処理場の上部を利用した緑地整備 ・下水道資源の有効活用
251 みどりを保全・活用するまちづくり	・みどりを生かしたけがれ対策(聖ヶ窪地区の急傾斜地崩壊防止施設の整備)
252 都市公園などの整備	・県立都市公園などの整備(小田原西部丘陵公園) ・近代建造物と邸園を保全活用した地域づくり
253 うるおいのあるみち空間の形成	・街路樹の整備(県道72号(松田国府津)) ・幅の広い歩道の整備(国道255号、県道720号(怒田開成小田原)) ・電線の地中化(国道255号) ・段差のない歩道の整備(県道72号(松田国府津)、県道711号(小田原松田))
254 都市景観の保全と創造	・相模湾沿岸における「景観まちづくりのための指針」の策定
255 ひとや自然にやさしい水辺づくり	・ひとや自然にやさしい川づくり(早川の親水護岸整備) ・ひとや自然にやさしい海岸づくり(真鶴港海岸の自然回復型海岸の整備) ・ひとや自然にやさしい溪流づくり(早川、須雲川の溪流保全の整備、藤木川の遊歩道整備)
257 新エネルギーを活用した都市整備	・新エネルギーを活用した公園整備(小田原西部丘陵公園)

西湘地区

・・・ 各地区共通に取り組む主な施策・事業 ・・・

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 232 公共交通整備の総合的な推進 | 243 良質な都市型住宅の供給と住環境の整備 |
| 256 環境への負荷を軽減するまちづくり | |

計画の推進にあたって

- 地域プロジェクトの推進にあたっては、県は直接行う事業の着実な推進を図るほか、市町村や民間が行う事業への財政的な支援や技術的な支援、市町村や民間が行う事業と共通目的のもとで連携して県事業を進めるなど、さまざまな方法で位置づけられた事業を着実に実行していきます。
- また、地域の環境変化に的確に対応し、県民の皆さんや市町村などとの協働・連携による計画の着実な推進を図るため、各地域で県と市町村が連携して推進する体制を整備するとともに、推進の過程で柔軟に対応していくことも含め適切な進行管理を行い、その内容を県民の皆さんに明らかにしていきます。

付 属 資 料

神奈川県総合計画審議会答申

平成16年11月24日

神奈川県知事 松沢 成文 殿

神奈川県総合計画審議会
会長 小林 重敬

地域計画（案）について（答申）

平成16年11月11日に諮問を受けた地域計画（案）について審議した結果、地域計画(案)を妥当なものとして評価いたしました。つきましては、地域計画(案)が、「神奈川力構想・プロジェクト51」と一体のものとして着実な推進が図られるよう求め、次のとおり答申します。

1 地域計画策定の経緯と評価

今回の地域計画は、地方分権改革が進展する状況の中で、地域づくりの主体である市町村との共同作品として策定が進められてきました。地域計画の策定にあたっては、「神奈川力構想・プロジェクト51」で示された「県土づくりの基本的方向」を踏まえ、県と市町村が議論を重ねながら、地域ごとの将来像を描くとともに、それぞれの地域づくりの主要な課題を明らかにしつつ、課題への対応や地域の個性ある発展に取り組む、県、市町村、民間の施策・事業を位置づけています。また、その策定過程においては、県民等の意見の反映に最大限努めてきました。

当審議会では、こうした策定過程を通じてまとめられた地域計画（案）について、地域計画策定専門部会における専門的な立場からの審議・検討を踏まえつつ、幅広い観点から地域計画全般にわたって審議を重ねてまいりました。

この地域計画（案）に対する答申にあたって、当審議会は次のとおり評価し、意見を述べます。

(1) 神奈川の地域のすがたについて

○ 計画の策定にあたっては、「かながわ新総合計画21」の県土の将来構想を継承しつつ、「神奈川力構想・プロジェクト51」においても位置づけた3つの地域政策圏の考え方を、県としての広域的な地域政策の基本に据えるとともに、各地域においては県と関係市町村が、それぞれの地域の現状や課題に対応した地区計画を策定することにより、多様で個性的な地域づくりの方向が明らかにされたものと考えます。

○ 地区計画の地域区分設定については、人々の通勤・通学圏や商圈などの生活の広がり等が大きく変動していないことから、これまでと同様に8地区に区分しており、適当と考えますが、さらに今回の地域計画においては、地域区分にとらわれることなく、地域政策圏ごとに広域的な取組みの考え方が示されていることは適切であると考えます。

(2) 各地区の将来像と地域プロジェクトについて

○ 地区別の計画においては、「地域の将来像」「地域プロジェクト」「主な施策・事業の地区での取組み」を掲げていますが、各地区の課題が明確にされ、それに対応した施策の方向が示されるなど、課題対応型の地域計画として策定されたことは、時代の変化に対応しつつ、地域の個性的發展をめざす計画づくりとして適切なものと評価します。

○ 各地区の計画の策定にあたっては、それぞれの地区で、地域計画策定推進会議を開催し、県と関係市町村の論議を通じて、地域の課題の設定や施策等の検討を行うなど、地域の主体性をより重視したことにより、それぞれの地域で特色ある計画づくりが行われたものと評価します。

○ 地域の将来像では、概ね10年後の2015年を見通して、地域の課題を踏まえ、地域の個性を生かした地域形成の将来展望を掲げるとともに、各種の数値データを示すことにより、県民が地域の変化を容易に把握できるような工夫がなされたと考えます。

○ それぞれの地域の将来像は、地域づくりに向けた県と市町村との共通の将来方向を示すものとして意義があると考えますが、また、それを実現するため、それぞれの地域の持つ個性や活力を生かした取組みとして、地域プロジェクトが設定されていることは、実行を重視したシンプルな計画づくりとして適切なものと考えます。

○ 地域プロジェクトについては、計画や調査段階のものと事業実施段階のものとの明確化や、県と市町村・民間の事業主体の役割分担、さらに市町村事業等の県の関わりが明らかにされるなど、その工

程や取組み内容に表記のうえでも工夫がされ、県民の立場に立った分かりやすい計画づくりが図られたと考えます。

- 今回の地域計画では、各地区において重点的に取り組むべき課題に対応した、県と市町村、民間の連携による施策・事業をとりまとめ、とくに「神奈川力構想・プロジェクト51」で据えた〈民との協働〉の基本的視点に立った具体的な取組みを、各地区でコラムとして掲げていますが、こうした公民連携した施策展開は、今後の地域づくりの方向として、適切であると考えます。

(3) 地域計画の策定手続きについて

- 今回の地域計画の策定にあたっては、「神奈川力構想・プロジェクト51」での本審議会の答申を受け、早期に地域計画を策定するとの方針に立って作業が進められましたが、「神奈川力構想・プロジェクト51」の策定時に寄せられた地域計画への意見を生かすとともに、2回にわたる県民参加を実施し、提案された意見等についてもできる限り地域計画（案）に反映させるなど、参加による地域計画づくりの取組みも適切に行われたものと評価します。

- 各地区ごとに県と市町村による地域計画策定推進会議を設け、地域づくりの主体である市町村と、課題の抽出や将来ビジョンの設定などから共同で作業を進めるとともに、移動知事室や首長懇談会を通じ、知事と市町村の首長との直接対話による意見交換を実施するなど、対等・協力の関係にある県と市町村との共同作品とするための努力がされていると考えます。

2 地域計画推進にあたっての留意事項

今後の地域計画の推進にあたっては、特に次の点に留意するよう求めます。

(1) 時代の変化に対応した地域計画の柔軟な推進

- 神奈川は、時代の変化の兆しがいち早く現れる地域であり、今後とも社会経済状況を注視していく必要がありますし、また、国の三位一体の改革を含む地方行財政制度改革の動向等についても地域に大きな影響を及ぼすことから、的確な対応が求められます。

- こうしたことから、地域計画の推進にあたっては、地域計画策定専門部会で提起された中長期的な課

題を踏まえつつ、「神奈川力構想・プロジェクト51」と一体のものとして、時代の変化や県民ニーズの動向などを的確に把握し、様々な変化に柔軟に対応した施策展開を図る必要があります。

- 計画の地域区分の設定についても、今後の人口動態等の社会の変化や、市町村合併等の動向、広域的な課題への対応などを勘案し、新たな地域区分の設定について検討することが必要です。

- また、今回は、2015年を目標年次とした計画づくりを進めてきましたが、それ以降の本格的な人口減少時代に向けた新たな社会システムや地域政策のあり方、社会資本形成のあり方などについて、国等の政策動向も注視しながら、今後の地域計画づくりにあたっての課題として十分に検討することが必要です。

(2) 市町村と連携した地域計画の推進

- 地域計画の着実な推進に向け、「地域主権実現のための中期方針」に基づき、広域自治体としての県の機能と役割を見据えながら、対等・協力の関係にある県と市町村が、より一層、連携強化し、主体的な地域づくりを進められるよう、施策・事業の推進に取り組む必要があります。

(3) 適切な進行管理による地域計画の推進

- 地域計画は、「神奈川力構想・プロジェクト51」と一体のものとして推進することを基本とし、その進行管理にあたっては、地域計画に位置づけられた地域プロジェクトの進捗状況を公開するための方法の検討や、事業主体の多様性に配慮した公表の方法など、県民にとってより分かりやすいものとなるよう工夫を重ねていくことが必要です。

(4) 意見等の地域計画への反映の継続的努力

- 地域計画の策定過程で寄せられた県民の意見や要望の多くは、地域計画に反映されたものと考えますが、現時点で反映できないものや、継続的な検討事項とされた意見であっても、地域計画の推進過程で対応が可能なものは、その具体化を図るよう求めます。

以上、答申にあたって意見を述べましたが、当審議会としては、別添の地域計画(案)を全体として妥当なものとして評価し、「2 地域計画推進にあたっての留意事項」に十分配慮しつつ、地域計画の着実な推進に最大限の努力を図られるよう求めます。

地域計画の策定経過

年 月 日	経 過
2003(平成15)年 7月31日～ 8月29日	総合計画への位置づけを含め市町村と検討
2003(平成15)年10月24日～11月19日	地域計画策定を想定し市町村と意見交換
2003(平成15)年12月10日～ 2004(平成16)年 1月 9日	地域計画策定を前提に市町村から意見聴取
2004(平成16)年 3月26日	第78回総合計画審議会 (審議事項)・「地域計画策定の基本的考え方」の審議
2004(平成16)年 3月31日	「地域計画策定の基本的考え方」決定
2004(平成16)年 5月14日	第79回総合計画審議会 (審議事項)・地域計画策定基本方針の審議
2004(平成16)年 5月20日	地域計画策定基本方針決定
2004(平成16)年 6月 3日～ 8月 4日	地域計画に係る知事・副知事と市町村長との懇談
2004(平成16)年 6月24日	第1回地域計画策定専門部会 (審議事項)・地域計画素案(骨子)の審議
2004(平成16)年 7月22日	地域計画素案(骨子)公表
2004(平成16)年 7月26日～ 8月31日	県民参加の実施
2004(平成16)年 9月 1日	第2回地域計画策定専門部会 (審議事項)・地域計画素案の審議
2004(平成16)年 9月 9日	第80回総合計画審議会 (審議事項)・地域計画素案の審議
2004(平成16)年 9月13日	地域計画素案公表
2004(平成16)年 9月17日～10月17日	県民参加の実施
2004(平成16)年10月13日	第3回地域計画策定専門部会 (審議事項)・地域計画案の審議
2004(平成16)年10月19日	第81回総合計画審議会 (審議事項)・地域計画案の審議
2004(平成16)年11月11日	諮 問 ・知事から総合計画審議会会長に諮問
2004(平成16)年11月12日	第4回地域計画策定専門部会 (審議事項)・地域計画答申案の審議
2004(平成16)年11月19日	第82回総合計画審議会 (審議事項)・地域計画答申案の審議
2004(平成16)年11月24日	答 申 ・総合計画審議会会長から知事に答申
2004(平成16)年12月21日	県議会による議決
2004(平成16)年12月22日	「神奈川力構想・地域計画」として決定

神奈川県総合計画審議会委員名簿 (2004年4月～)

(50音順、敬称略)

会 長	小林 重敬	横浜国立大学大学院工学研究院教授
副 会 長	※上條 茉莉子	コペルネット株式会社代表取締役
副 会 長	※鈴木 佑司	法政大学法学部教授
	(地域計画策定専門部会部会長)	
委 員	麻生 文雄	神奈川県農業協同組合中央会会長
	飯田 誠	神奈川県議会議員
	磯貝 捷彦	神奈川県議会議員
	※磯野 弥生	東京経済大学現代法学部教授
	※江口 隆裕	筑波大学大学院教授
	大川 裕	社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会会長
	小澤 良明	神奈川県市長会会長 (小田原市長)
	北澤 宏一	独立行政法人科学技術振興機構理事
	※栗原 彬	明治大学文学部教授
	白石 俊雄	日本労働組合総連合会神奈川県連合会会長
	鈴木 恒夫	神奈川県議会議員
	高梨 昌芳	神奈川県商工会議所連合会会頭
	竹内 英明	神奈川県議会議員
	田中 忠一	神奈川県医師会会長
	富田 光男	神奈川県議会議員
	※橋本 廸生	横浜市立大学医学部附属病院医療安全管理学教授
	林 英樹	社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会会長
	平本 さとし	神奈川県議会議員
	藤原 まり子	博報堂生活総合研究所客員研究員
	星野 剛士	神奈川県議会議員
	マリ クリスティーナ	異文化コミュニケーター
	蓑茂 寿太郎	東京農業大学教授
	宮村 忠	関東学院大学工学部教授
	恵 小百合	江戸川大学社会学部環境デザイン学科教授
	毛内 良一	神奈川県消費者団体連絡会事務局長
	守屋 大光	神奈川県町村会会長 (葉山町長)
	八木 正幸	株式会社浜銀総合研究所理事
特別委員	※秋本 福雄	東海大学工学部教授
	※鹿住 倫世	高千穂大学経営学部助教授
	※勝野 武彦	日本大学生物資源科学部教授
	※北村 喜宣	上智大学法学部教授
	※小林 宏一	東洋大学社会学部教授
	※清 昶一郎	関東学院大学経済学部教授
	※曾 徳深	横浜華僑総会会長
	※竹中 千春	明治学院大学国際学部教授
	※田代 洋一	横浜国立大学大学院国際社会科学科教授
	※治田 友香	シーズ=市民活動を支える制度をつくる会プログラムディレクター
	※久常 節子	慶應義塾大学看護医療学部教授
	※米村 恵子	江戸川大学社会学部教授
退任委員 (役職名は委員就任時のもの)		
前 委 員	あかま二郎	神奈川県議会議員 (2004年5月まで)
	阿部 絢子	社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会会長 (2004年5月まで)
	伊藤 とおる	神奈川県議会議員 (2004年5月まで)
	杉山 信雄	神奈川県議会議員 (2004年5月まで)
	藤井 深介	神奈川県議会議員 (2004年5月まで)
	真壁 忠利	日本労働組合総連合会神奈川県連合会会長 (2004年11月まで)

※は地域計画策定専門部会委員

県民参加の概要

ご意見・ご提案の総数 **633** 件（延べ件数）

計画の策定にあたっては、地域計画（素案骨子）及び地域計画素案策定後の二段階で集中的な県民参加を実施しました。実施にあたっては、県民参加用冊子等を配布するなど多様な媒体を活用した情報提供を積極的に行い、様々な方法でご意見・ご提案をいただくとともに、県民参加のプロセスを重視した「透明性の高い計画づくり」に努めました。

1 広報の実績

- ・パンフレットや冊子の作成
「地域計画（素案骨子）」
「地域計画素案」
- ・「県のたより」
- ・テレビ tvk「TRY! 神奈川」
- ・ラジオ RFラジオ日本「かながわ情報BOX」
- ・新聞 神奈川新聞 他
- ・インターネット（神奈川県ホームページ）

2 県民参加の状況

●意見聴取方法別内訳

方 法	件 数
手 紙 ・ 電 話	148
フ ァ ク ス	230
e - m a i l	114
意 見 交 換 会 等	141
合 計	633

●集中県民参加期間

第1次	2004(平成16)年 7月26日～ 8月31日
第2次	9月17日～10月17日

3 ご意見などの反映状況

皆さんからいただいたご意見などの反映状況を明らかにするため、県民参加意見整理台帳を作成しました。

この意見整理台帳は、県政情報センターや各地区県政情報コーナーに備え付け、閲覧できるようにしました。また、県のホームページでも閲覧することができるようにしました。

神奈川力構想・地域計画

「活力ある地域社会・生きがいのあるくらしの創造」をめざして

編集・発行 神奈川県企画部政策課
〒231-8588 横浜市中区日本大通 1
電 話 045-210-3061 ・ 3064
F A X 045-210-8819
e-mail keikaku.384@pref.kanagawa.jp
U R L <http://www.pref.kanagawa.jp/menu/keikaku.htm>

制作・印刷 朝日オフセット印刷株式会社
〒230-0048 横浜市鶴見区本町通 1-22
電 話 045-511-0141
